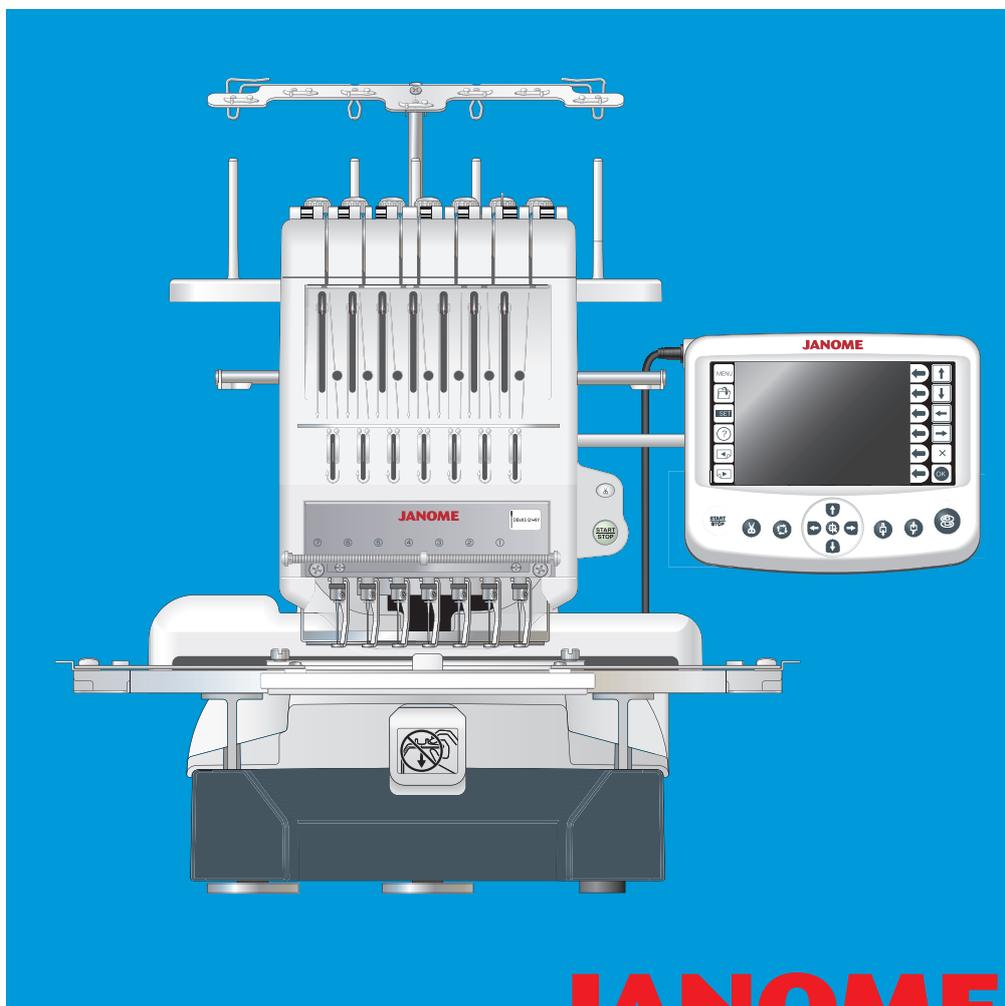


# 取扱説明書



**JANOME**

# 安全上のご注意

- ◆ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- ◆ここに示した注意事項は、刺しゅう機を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。
- ◆お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られるところに保管してください。
- ◆この刺しゅう機は、日本国内向けです。 For use in Japan only.

危害・損害の程度を表わす表示	 <b>警告</b> この表示の欄は「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。	 <b>注意</b> この表示の欄は「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。
----------------	---	---

本文中の図記号の意味		△記号は、気を付けていただきたい「注意」の内容です。図の中には具体的な注意内容を表示しています。(左図の場合は一般的な注意)
		⊘記号は、行ってはいけない「禁止」の内容です。図の中には具体的な禁止内容を表示しています。(左図の場合は分解禁止)
		●記号は、必ず実行していただく「強制」の内容です。図の中には具体的な指示内容を表示しています。(左図の場合は一般的な強制)

 <b>警告</b> 感電・火災の恐れがあります。	
 <b>禁止</b> ストープ、アイロンの近くなど温度の高いところでは使用しないでください。ミシンの使用温度は5℃～35℃です。	 <b>必ず実行</b> 一般家庭用、交流電源 100 V でご使用ください。
 <b>禁止</b> スプレー製品などを使用した部屋や、引火しやすい物の近くでは使用しないでください。	 <b>必ず実行</b> 電源プラグは定期的に乾いた布で拭き、ほこりなどを取り除いてください。
 <b>禁止</b> 電源コードを傷つけたり、加工したり、はさみ込んだり、たばねたり、引っ張ったり、無理に曲げたり、ねじったり、重い物をのせたり、高温部に近づけたりしないでください。電源コードのコードおよびプラグが破損した場合は、使用しないでください。	 <b>必ず電源プラグを抜く</b> 以下のようなときは、電源スイッチを切り、電源プラグを抜いてください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・刺しゅう機のそばを離れるとき</li> <li>・刺しゅう機を使用したあと</li> <li>・刺しゅう機使用中に停電したとき</li> </ul>

 <b>注意</b> 感電・火災・けがの原因となります。	
 <b>分解禁止</b> お客様自身での分解はしないでください。	 <b>必ず実行</b> 電源プラグを抜くときは、コードを引っ張らず電源プラグを持って抜いてください。
 <b>接触禁止</b> 操作中は、針から目を離さないようにし、針・はずみ車・天びんなどすべての動いている部分に手を近づけないでください。	 <b>必ず実行</b> 以下のことをするときは、電源スイッチを切ってください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・枠保持セットを取り付けるとき</li> <li>・上糸、下糸をセットするとき</li> </ul>
 <b>禁止</b> ぬい中に刺しゅう枠を押したり、引っ張ったりしないでください。針折れの原因になります。	 <b>注意</b> お子様のご使用になるときや、お子様の近くでご使用されるときは、特に安全に注意してください。
 <b>禁止</b> 曲がったり、先のとびれた針は、ご使用にならないでください。	 <b>必ず電源プラグを抜く</b> 以下のことをするときは、電源スイッチを切って電源プラグを抜いてください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・針を交換するとき</li> <li>・お手入れを行うとき</li> </ul>
 <b>禁止</b> この刺しゅう機を使用するときは、付属の専用電源コードを使用してください。付属の専用電源コードは、この刺しゅう機以外の電気製品には使用しないでください。	 <b>必ず電源プラグを抜く</b> 刺しゅう機に以下の異常があるときは、速やかに使用を停止し、電源スイッチを切り、電源プラグを抜いてお買い上げの販売店にて点検、修理、調整をお受けください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・正常に作動しないとき</li> <li>・水に濡れたとき</li> <li>・落下などにより破損したとき</li> <li>・異常な臭い、音がするとき</li> <li>・電源コード、プラグ類が破損、劣化したとき</li> </ul>
 <b>必ず実行</b> 針は、確実に固定してください。針が押さえや針板にあたり、けがの原因になります。	

# 目次

## はじめに

- 刺しゅう機の設置注意事項 ..... 2
- 刺しゅう機の据え付け ..... 3
- お取り扱いについてのお願い ..... 4

## お使いになる前に

- 各部の名まえ ..... 5 ~ 6
- 標準付属品 ..... 7 ~ 8
- 糸立て台の組み立て方 ..... 9
- 糸立て台の取り付け方 ..... 9
- フェルトと糸こまのセット ..... 10
- 枠保持セットの取り付け方 ..... 11
- RCS の取り付け方 ..... 12
- 電源のつなぎ方 ..... 13
- 刺しゅう機と PC の接続 ..... 14
- ボビンケースの取り出し方 ..... 15
- ボビンの取り出し方 ..... 15
- 下糸の巻き方 ..... 16
- ボビンの入れ方 ..... 17
- ボビンケースの入れ方 ..... 17
- 上糸の通し方 ..... 18 ~ 20
- 芯地 ..... 21
- テンプレート ..... 21
- 刺しゅう枠に布を張るとき ..... 22
- 刺しゅう枠の取り付け方 ..... 23

## コントロールパネル操作

- 操作ボタンのはたらき ..... 24
- 初期化モード ..... 25
- データ（ファイル）の呼び出し ..... 26

## ぬってみましょう

- めい実行モード ..... 27 ~ 30
- 刺しゅう枠の外し方 ..... 31
- 布地の外し方 ..... 31

## 糸調子の合わせ方

- 糸調子の合わせ方 ..... 32
- 下糸の糸調子 ..... 32

## 針の取りかえ方

- 針の取りかえ方 ..... 33

## RCS の操作

- 操作ボタンのはたらき ..... 34
- 画面操作キーのはたらき ..... 35
- ヘルプモード ..... 36
- RCS 取り外し ..... 37
- 電源投入時 ..... 38
- モードの選び方 ..... 38
- 模様の選び方 ..... 39
- めい始め ..... 40
- めい位置の調節 ..... 40
- 機能説明 ..... 41 ~ 42

## 文字刺しゅう

- 文字選択画面 ..... 43
- 機能説明 ..... 44 ~ 45
- 文字の組み合わせ ..... 46
- めい実行画面の機能説明 ..... 47 ~ 48
- 色替えの設定 ..... 49

## 編集刺しゅう

- 編集画面 ..... 50
- 機能説明 ..... 51 ~ 58
- 編集例（模様と文字の組み合わせ） ..... 59 ~ 61

## ぬってみましょう（内蔵模様）

- めい位置の確認 ..... 62
- めいはんいの確認 ..... 62
- めいスタート ..... 63

## 機能設定（コントロールパネル）

- 機能設定（マイセット） ..... 64 ~ 68

## 機能設定（RCS）

- 機能設定（マイセット） ..... 69 ~ 79

## ファイルの保存

- ファイルの保存 ..... 80
- 新規フォルダの作成 ..... 81

## ファイルオープン

- ファイルオープン ..... 82 ~ 83
- フォルダの削除 ..... 84
- フォルダ内のデータ（ファイル）の削除 ..... 84

## USB メモリ（市販品）

- USB メモリのセット ..... 85
- データの読み出し方 ..... 85

## 刺しゅう機のお手入れ

- かまの掃除 ..... 86
- ボビンケースの掃除 ..... 86
- 上糸糸道の掃除 ..... 87
- 糸切り部の掃除 ..... 88
- 注油 ..... 89 ~ 90

## エラーメッセージ（コントロールパネル）と

### ブザー音

- エラーメッセージ ..... 91
- ブザー音の種類 ..... 92

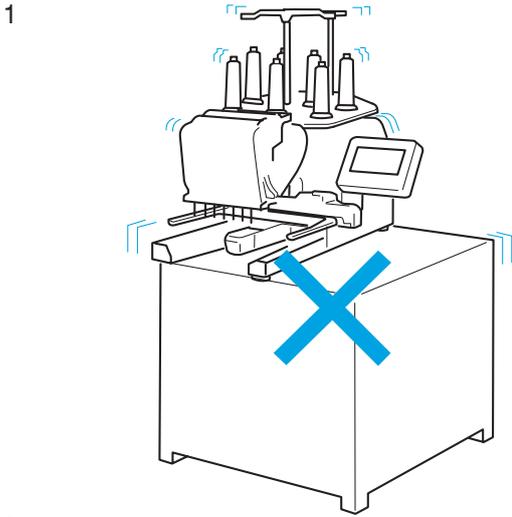
## トラブルシューティング

- 不調の原因と処置 ..... 93 ~ 95

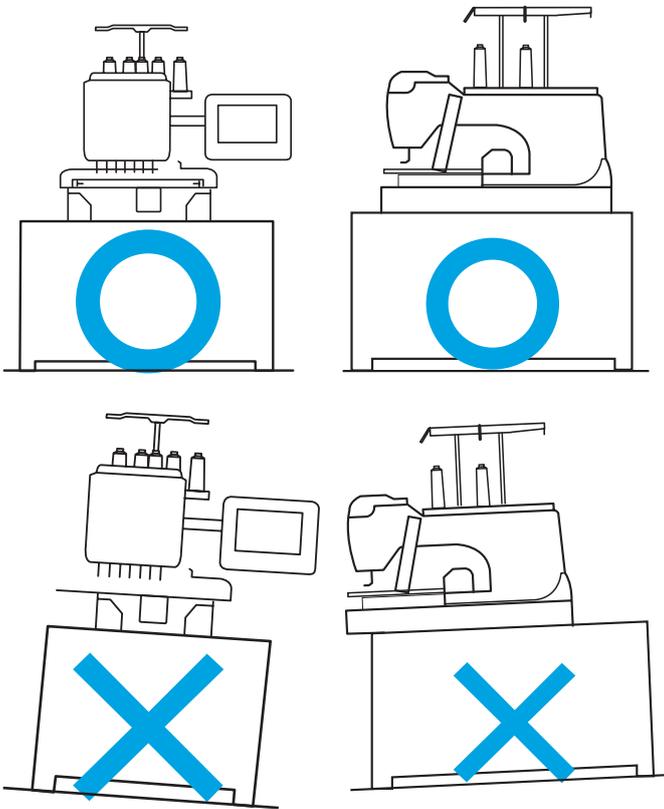
# はじめに

## ●刺しゅう機の設置注意事項

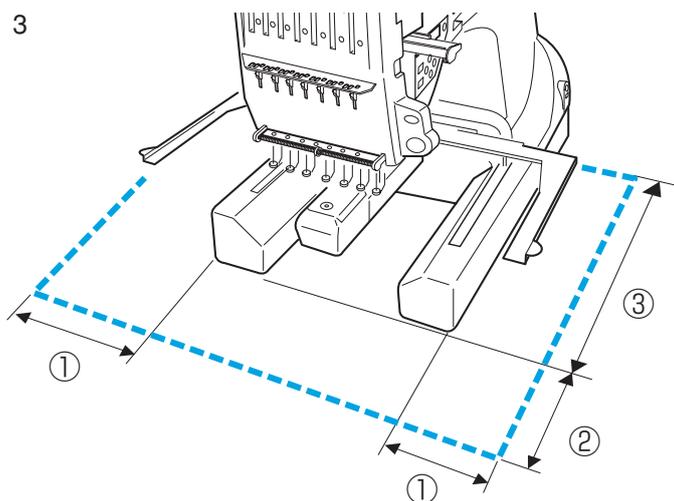
1 十分な強度のある場所に置いてください。



2 水平な場所に置いてください。



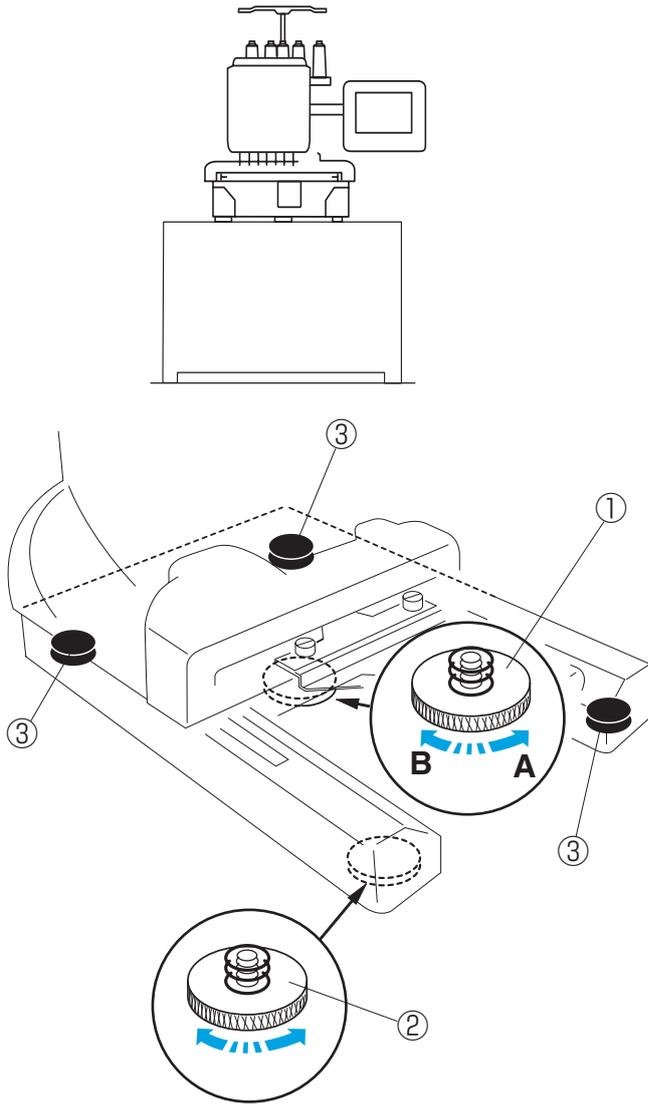
3 刺しゅう枠が動くはんいを十分に確保してください。



- ① 20cm
- ② 20cm
- ③ 30cm

## ● 刺しゅう機の据え付け

刺しゅう機が水平でガタつきがないように脚の高さを調節して据え付けます。



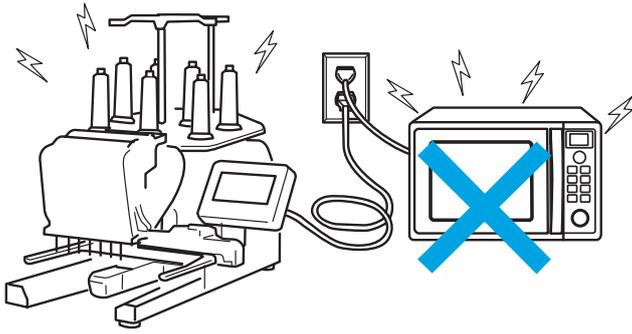
- 1 高さ調節ネジ 1 を A 方向にまわして、押し込んでおきます。  
①高さ調節ネジ 1
- 2 刺しゅう機を平らな面に置きます。  
高さ調節ネジ 2 をまわして、3 個のゴム脚の高さに合わせます。  
②高さ調節ネジ 2  
③ゴム脚
- 3 高さ調節ネジ 1 を B 方向にまわして、4 箇所の脚の高さに調節します。

※ 刺しゅう機の四隅を押したときガタつきがないか確認してください。  
ガタつきがある場合には、手順 1 から 3 をもう一度行い、脚の高さ調節をします。

## はじめに

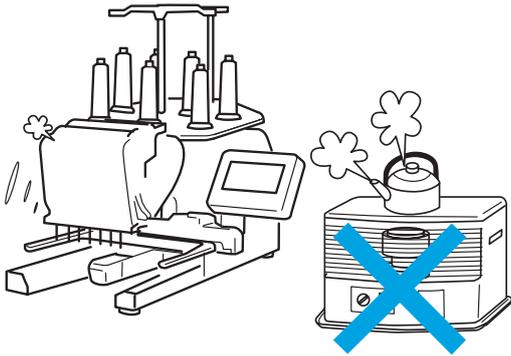
### ●お取り扱いについてのお願い

1



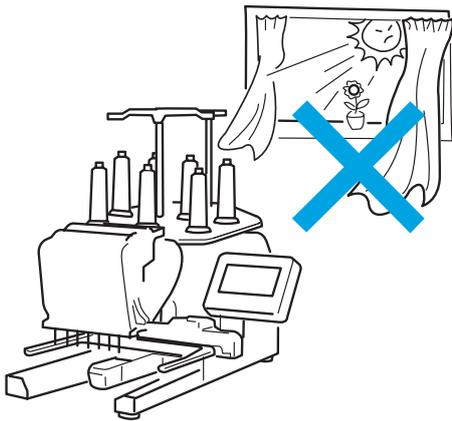
1 ノイズを発生するもの（電子レンジなど）の近くで使用しないでください。ノイズを発生するものと同じ所から電源をとらないでください。  
また、振動やノイズの影響を受け易い精密機器やモニター、テレビ等の近くへの設置は避けてください。

2



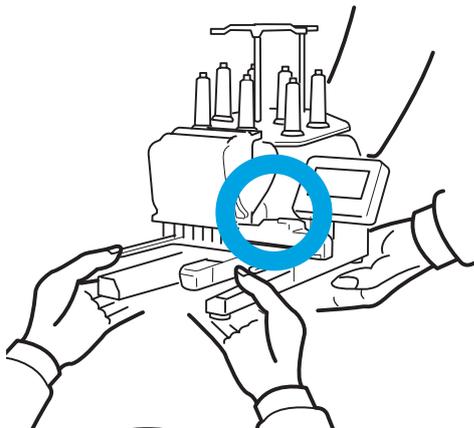
2 ホコリや湿気を避けてください。

3



3 直射日光や風が直接刺しゅう機に当たらないようにしてください。

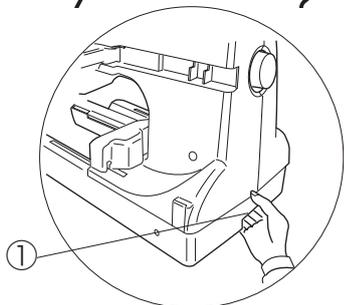
4



4 刺しゅう機を移動するときには、二人以上で持って移動させてください。

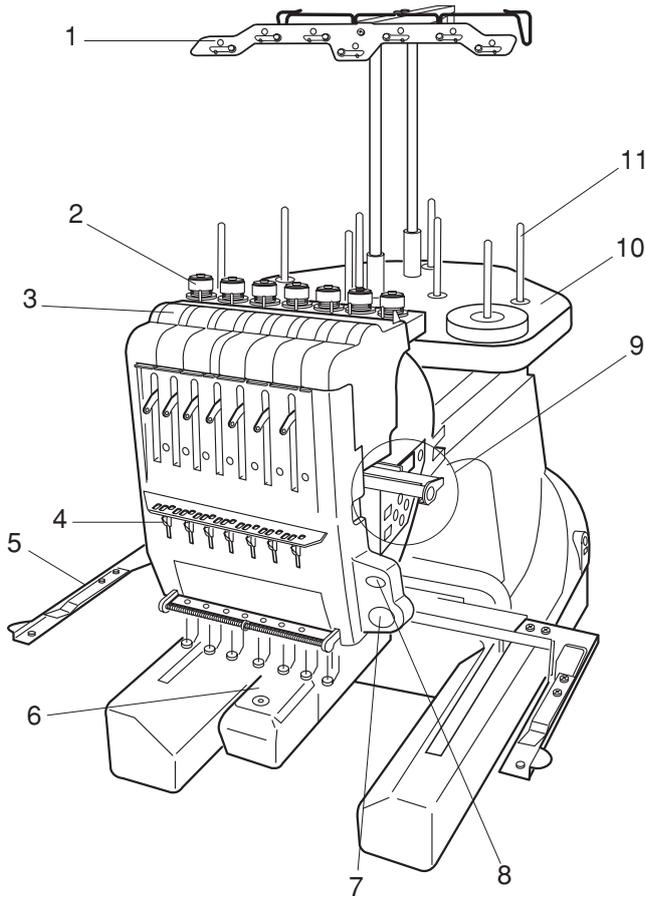
※ 刺しゅう機はすみ車側に持ち運び用の手掛け部があります。

① 持ち運び用手掛け部



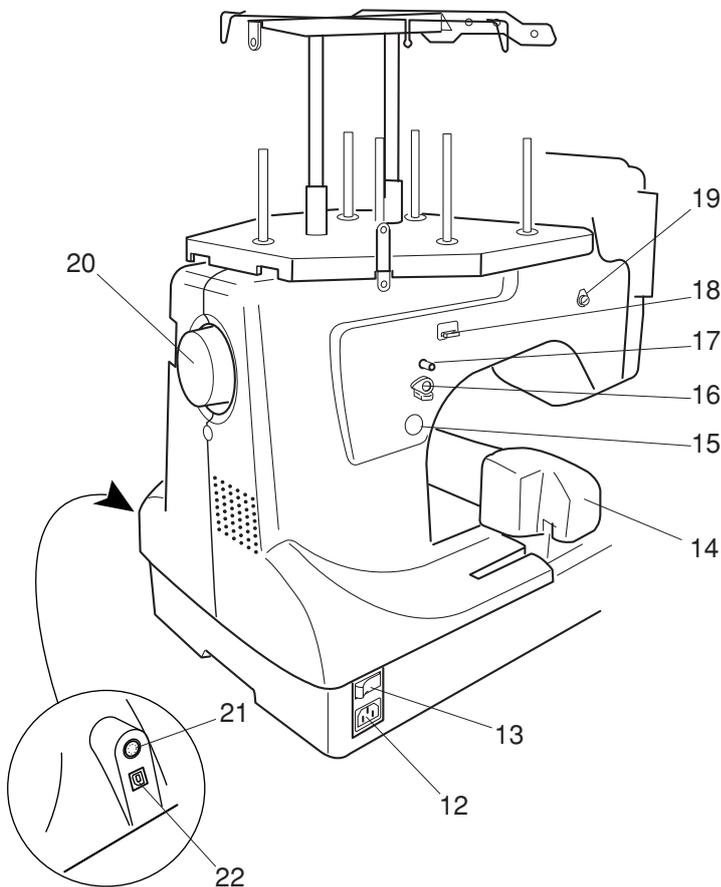
# お使いになる前に

## ●各部の名まえ



- 1 糸掛け (付属品を組み付けます。)
- 2 プリテンション
- 3 糸調子
- 4 糸取りバネ
- 5 枠保持セット (付属品を取り付けます。)
- 6 針板
- 7 スタート/ストップボタン
- 8 糸切りボタン
- 9 コントロールパネル
- 10 糸立て台 (付属品を組み付けます。)
- 11 糸立て棒 (付属品を組み付けます。)

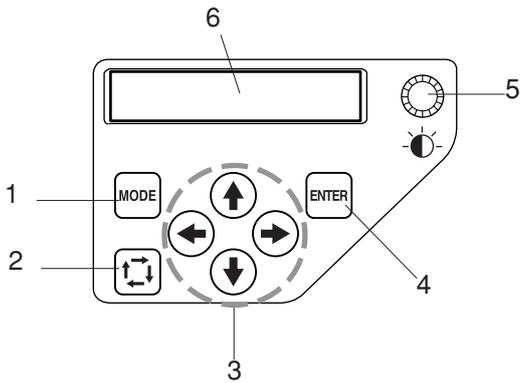
※糸掛け、糸立て台、糸立て棒の組み付け方は 9 ページ、枠保持セットの取り付け方は 11 ページをごらんください。



- 12 プラグ受け
- 13 電源スイッチ
- 14 キャリッジ
- 15 糸巻きスイッチ
- 16 糸巻きレバー
- 17 糸巻き軸
- 18 下糸巻き糸切り
- 19 糸巻き糸案内
- 20 はずみ車
- 21 RCS 端子差し込み口
- 22 USB ポート

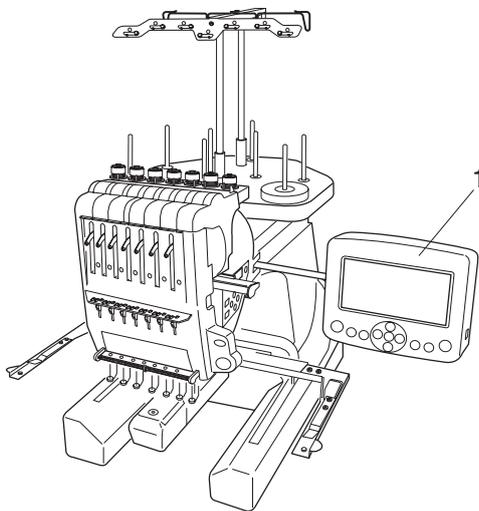
# お使いになる前に

## コントロールパネル



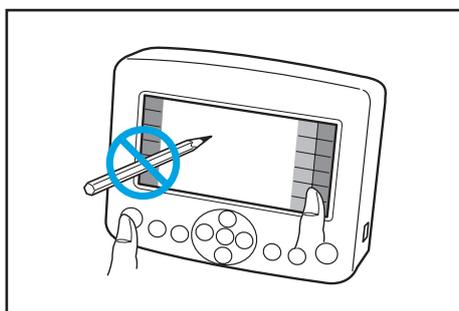
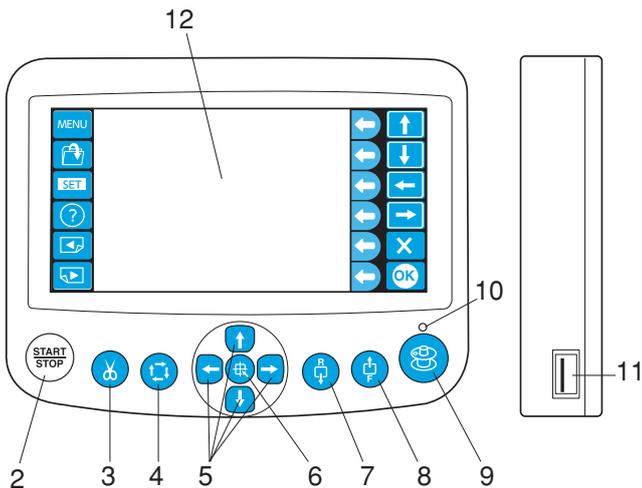
- 1 モードボタン
- 2 めいはんい確認ボタン
- 3 ジョグボタン
- 4 ENTER ボタン
- 5 輝度調節ダイヤル
- 6 液晶表示画面

## RCS(リモートコンピュータースクリーン)



- 1 RCS
- 2 スタート/ストップボタン
- 3 糸切りボタン
- 4 めいはんい確認ボタン
- 5 ジョグボタン
- 6 枠移動(中心)ボタン
- 7 針後進ボタン
- 8 針前進ボタン
- 9 糸巻きボタン
- 10 糸巻きランプ
- 11 USBポート
- 12 液晶表示画面

※ 付属の RCS は 7 針刺しゅう機専用です。  
他の機種には使用できません。



## 《お願い》

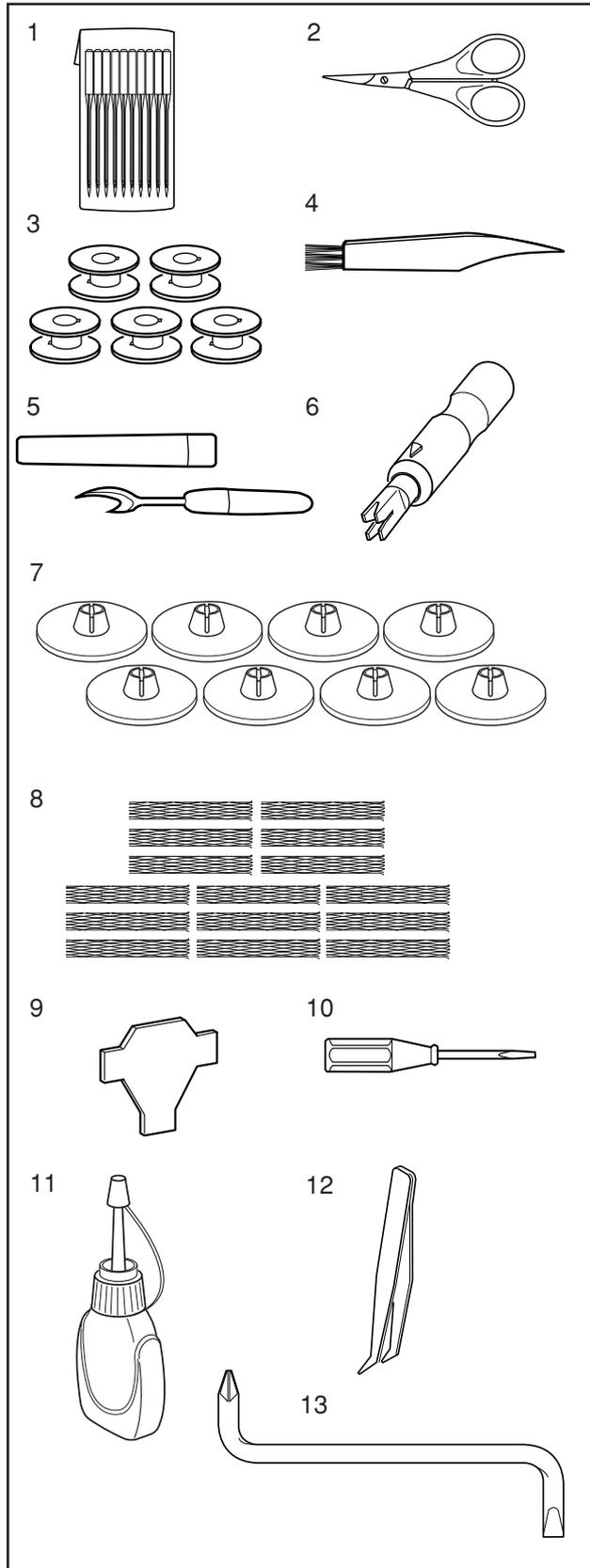
液晶表示画面をさわるときは、指で軽くタッチしてください。

先のとがった物(えんぴつなど)では画面をタッチしないでください。故障の原因になります。

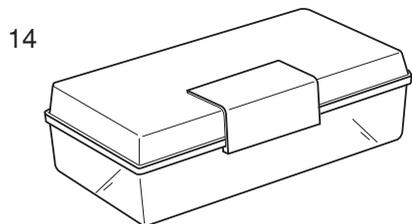
また、スタート/ストップボタンを押すときも軽く押してください。

# お使いになる前に

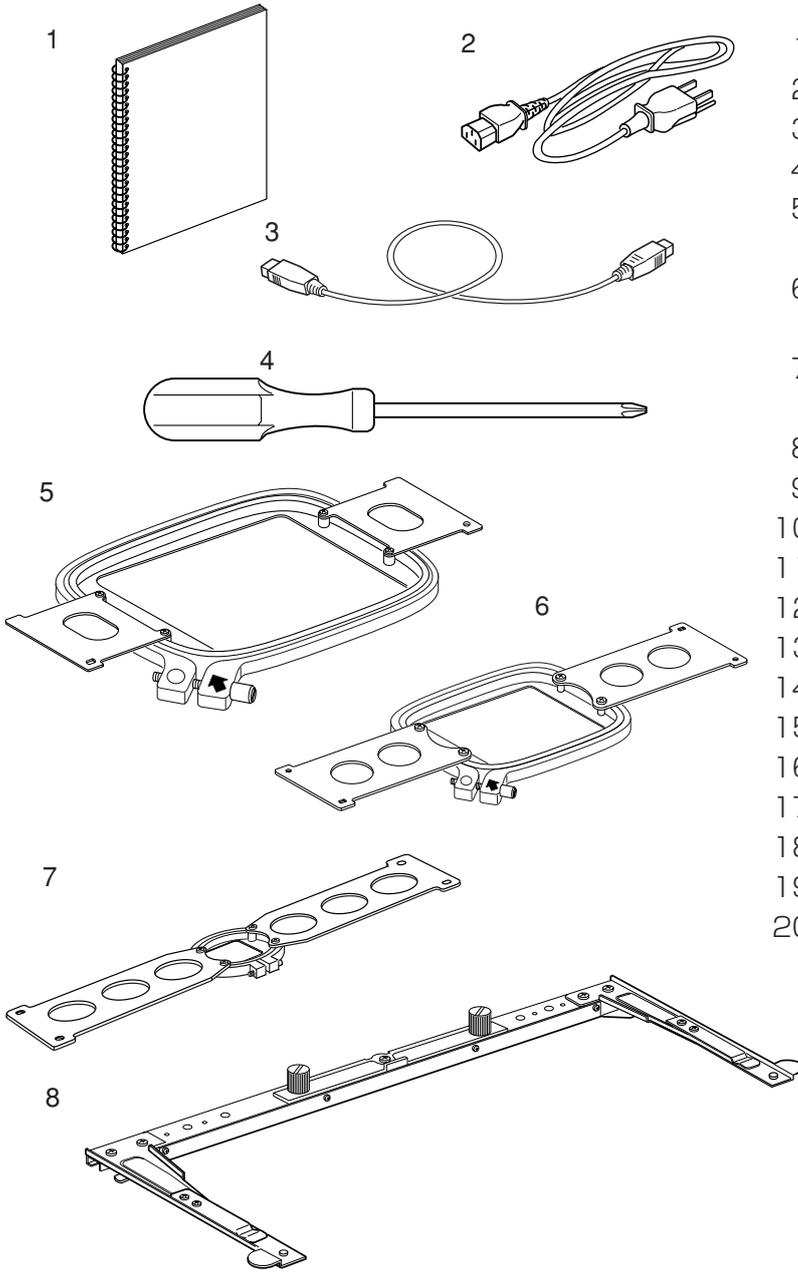
## ●標準付属品



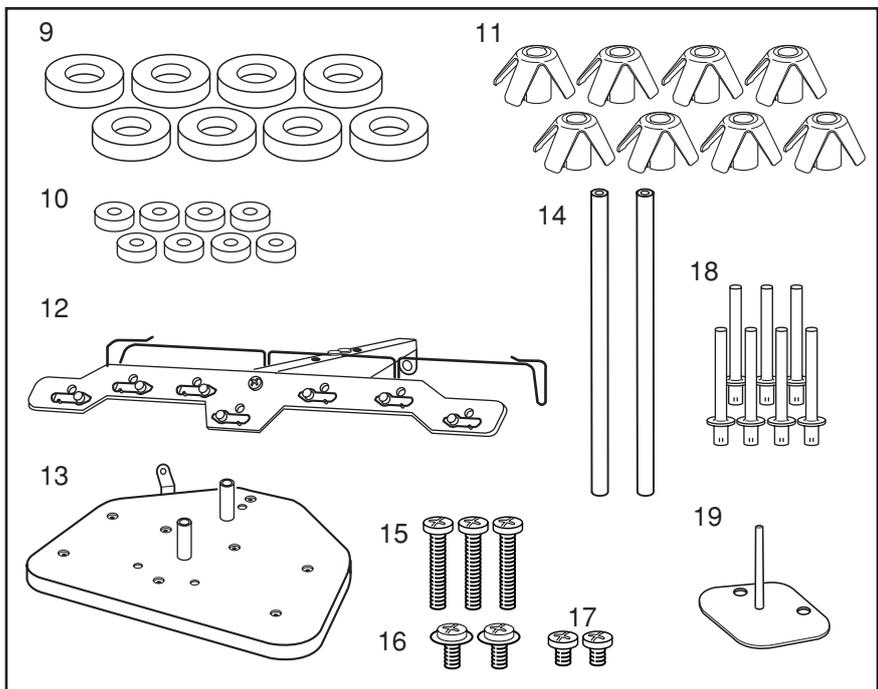
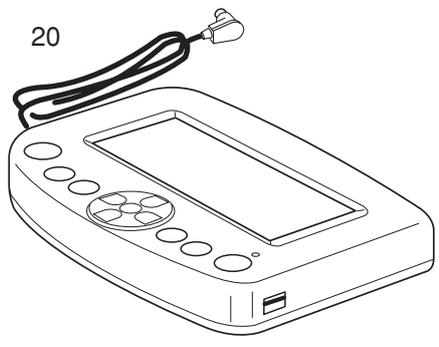
- 1 針 (DB×K5Q1-NY 10本)
- 2 はさみ
- 3 ボビン (5個)
- 4 ミシンブラシ
- 5 シームリッパー
- 6 針糸通し
- 7 糸こま押さえ (大) (8個)
- 8 糸こまネット (15個)
- 9 ドライバー
- 10 ドライバー (小)
- 11 油さし
- 12 ピンセット
- 13 オフセットドライバー
- 14 付属ケース



# お使いになる前に



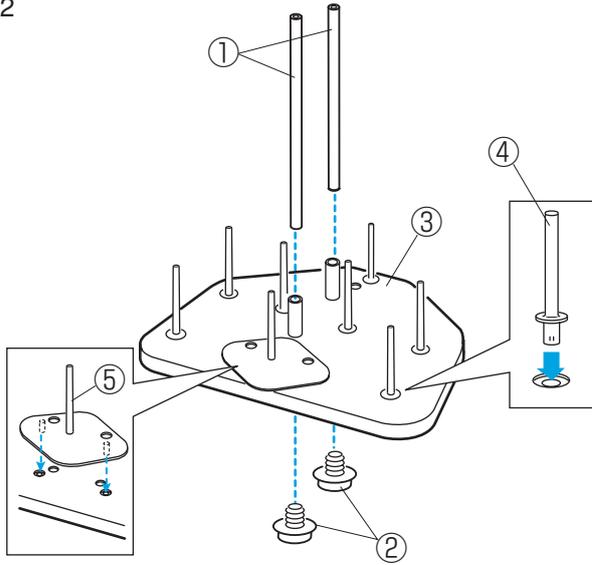
- 1 取扱説明書
- 2 電源コード
- 3 USB ケーブル
- 4 ドライバー (大)
- 5 M1 大枠 (240mm×200mm)  
(テンプレート付き)
- 6 M2 標準枠 (126mm×110mm)  
(テンプレート付き)
- 7 M3 小枠 (50mm×50mm)  
(テンプレート付き)
- 8 枠保持セット
- 9 フェルト (大) (8 個)
- 10 フェルト (小) (8 個)
- 11 糸こまホルダー (8 個)
- 12 糸掛け
- 13 糸立て台
- 14 支柱 (2 本)
- 15 ネジ (3 個) (糸立て台固定用)
- 16 ネジ A (2 個) (支柱固定用)
- 17 ネジ B (2 個) (糸掛け固定用)
- 18 糸立て棒 A (7 個)
- 19 糸立て棒 B (1 個)
- 20 RCS



# お使いになる前に

## ●糸立て台の組み立て方

1, 2



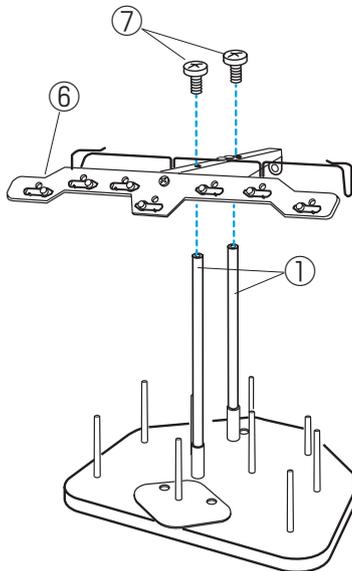
1 糸立て台に糸立て棒 A を差し込みます。  
支柱 2 本を糸立て台に取り付け、ネジ A (2 個)  
をしめます。

- ①支柱
- ②ネジ A
- ③糸立て台
- ④糸立て棒 A

2 糸立て台に糸立て棒 B を差し込みます。

- ⑤糸立て棒 B

3

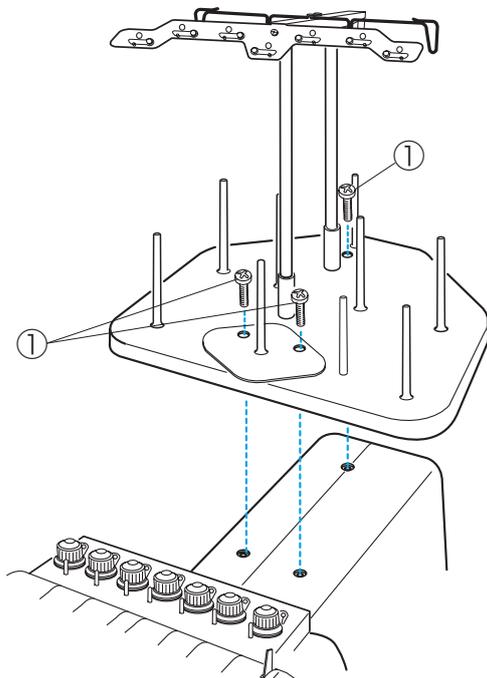


3 糸立て台の支柱に糸掛けをネジ B (2 個) で取  
り付けます。

※ ネジは付属のドライバー (大) でしっかりしめて  
ください。

- ⑥糸掛け
- ⑦ネジ B

## ●糸立て台の取り付け方

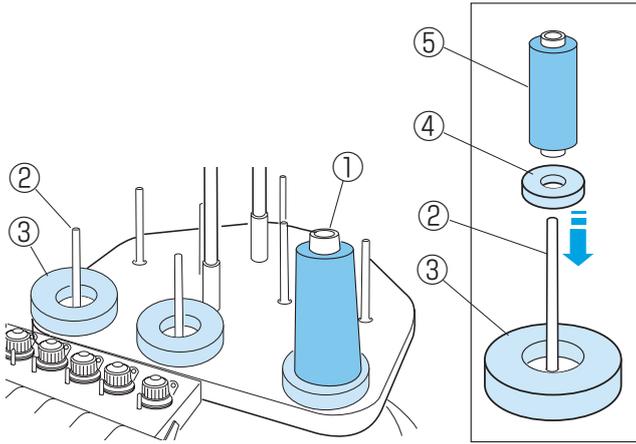


糸立て台を刺しゅう機に取り付け、ネジ (3 個) をし  
めます。

- ①ネジ

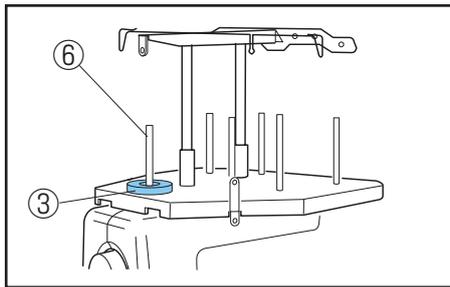
# お使いになる前に

## ● フェルトと糸こまのセット



糸立て棒にフェルト（大）を入れ、糸こまを立てます。  
 ※ 小さい糸こまを使用するときには、フェルト（大）にフェルト（小）を入れて、小さい糸こまをセットします。

- ①糸こま
- ②糸立て棒
- ③フェルト（大）
- ④フェルト（小）
- ⑤小さい糸こま
- ⑥下糸巻き用糸立て棒

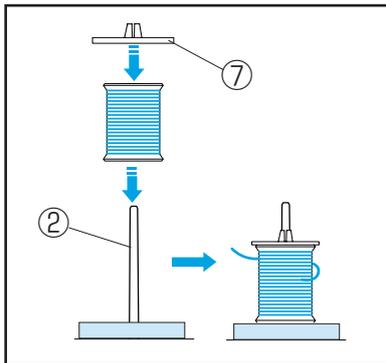


【1】

### 【1】 コマ巻きの場合

糸の端がうしろ側から左に出るようにして、糸立て棒に糸こまを入れ、糸こま押さえで糸こまを押さえます。

- ⑦糸こま押さえ

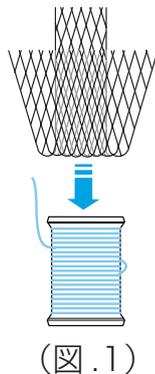
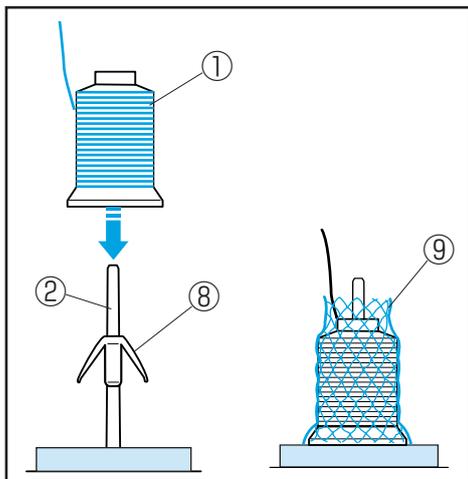


【2】

### 【2】 コーン巻きの場合

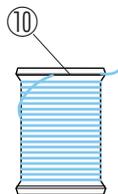
糸立て棒に糸こまホルダーを差し込み、糸こまをセットします。

糸があばれるときには、付属のネットを使用してください。



- ⑧糸こまホルダー
- ⑨ネット

※ 小さい糸こまを使用するときには、糸こまネットを糸こまの大きさに合わせ、折り曲げてください。(図.1)



(図.2)

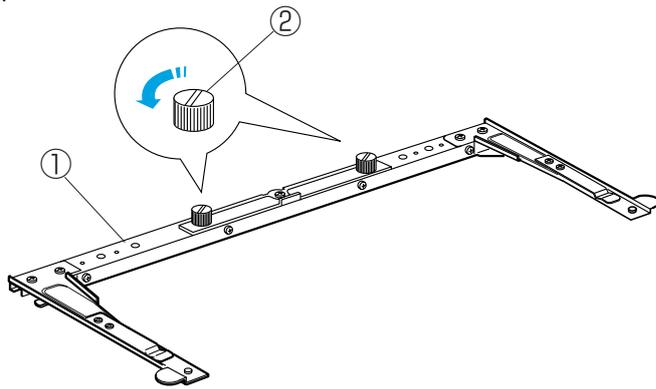
※ 糸こまを使用しないときも、糸がらみ防止のため、ネットをかぶせておくか、コマ巻き糸などは糸保持部にはさんでおいてください。(図.2)

- ⑩糸保持部

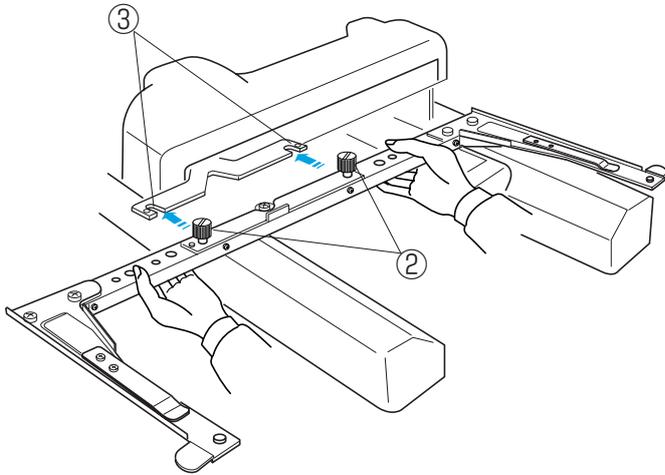
# お使いになる前に

## ● 枠保持セットの取り付け方

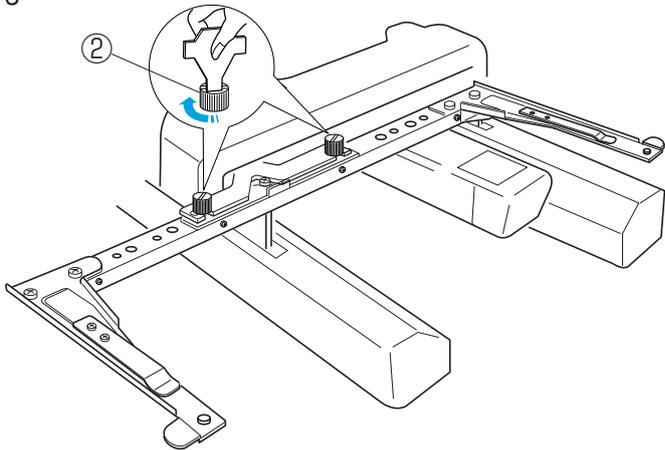
1



2



3



### ⚠ 注意

枠保持セットを取り付けるときには、必ず電源スイッチを切ってください。  
ケガの原因になります。

1 枠保持セットの取り付けネジ（2 個）をゆるめま  
す。

① 枠保持セット  
② 取り付けネジ

2 キャリッジの取り付け板切り欠きに枠保持セット  
の取り付けネジを差し込みます。

③ 取り付け板切り欠き

3 取り付けネジ（2 個）を付属のドライバーで、  
しっかりしめます。

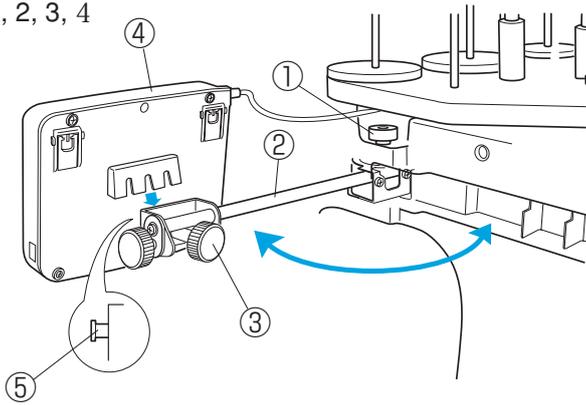
※ 刺しゅう機を運搬するときには、取り付けネジを  
ゆるめ、枠保持セットを外してから運んでくださ  
い。

# お使いになる前に

## ● RCS の取り付け方

### 【1】

1, 2, 3, 4



### 【1】 RCS の取り付け

1 ダイアル A をゆるめ、取り付け腕を引き出します。

①ダイアル A

②取り付け腕

2 ダイアル B をゆるめます。

③ダイアル B

3 RCS をピンに差し込みます。

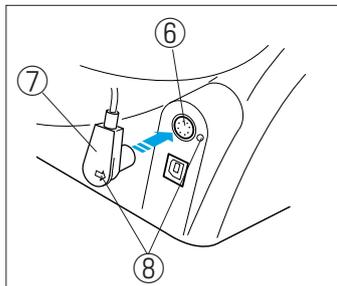
④ RCS

⑤ピン

4 ダイアル B をしめます。

※ RCS の位置調節は、ダイアル A をゆるめ、取り付け腕を動かして位置決めし、ダイアル A をしめます。

### 【2】



### 【2】 RCS 端子の接続

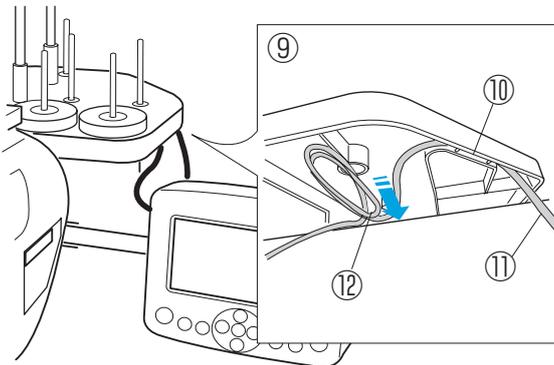
RCS 端子差し込み口と RCS 端子のマークを合わせて、コード端子を RCS 端子差し込み口に差し込みます。

⑥ RCS 端子差し込み口

⑦ RCS 端子

⑧ マーク

### 【3】



### 【3】 コードの始末

RCS のコードの始末は、端子側のコードを糸立て台裏側の収納部に挟み、余分なコードを収納します。

⑨糸立て台裏側

⑩収納部

⑪端子側のコード

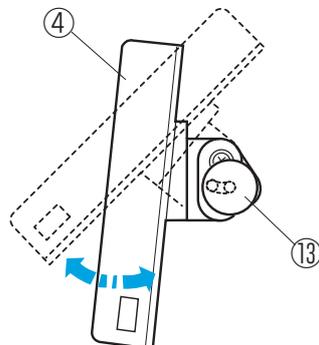
⑫余分なコード収納

### ⚠ 注意

コードは安全のため、糸立て台の裏側に必ず収納してください。たるんだコードを、刺しゅう枠が引っ掛ける恐れがあります。

### 【4】

1, 2



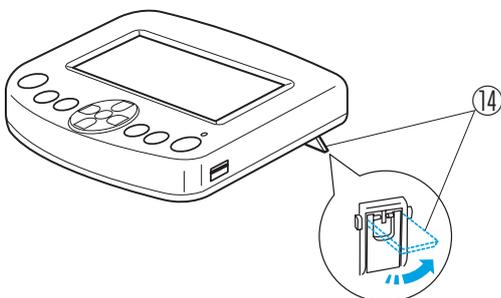
### 【4】 RCS の角度調節

1 ダイアル C をゆるめ、RCS を動かして、角度を決めます。

⑬ダイアル C

2 ダイアル C をしめます。

### 【5】



### 【5】 RCS の下置き使用

テーブル上に置いて使用する場合には、RCS 裏側の脚 (2 箇所) を立てて使用します。

⑭脚

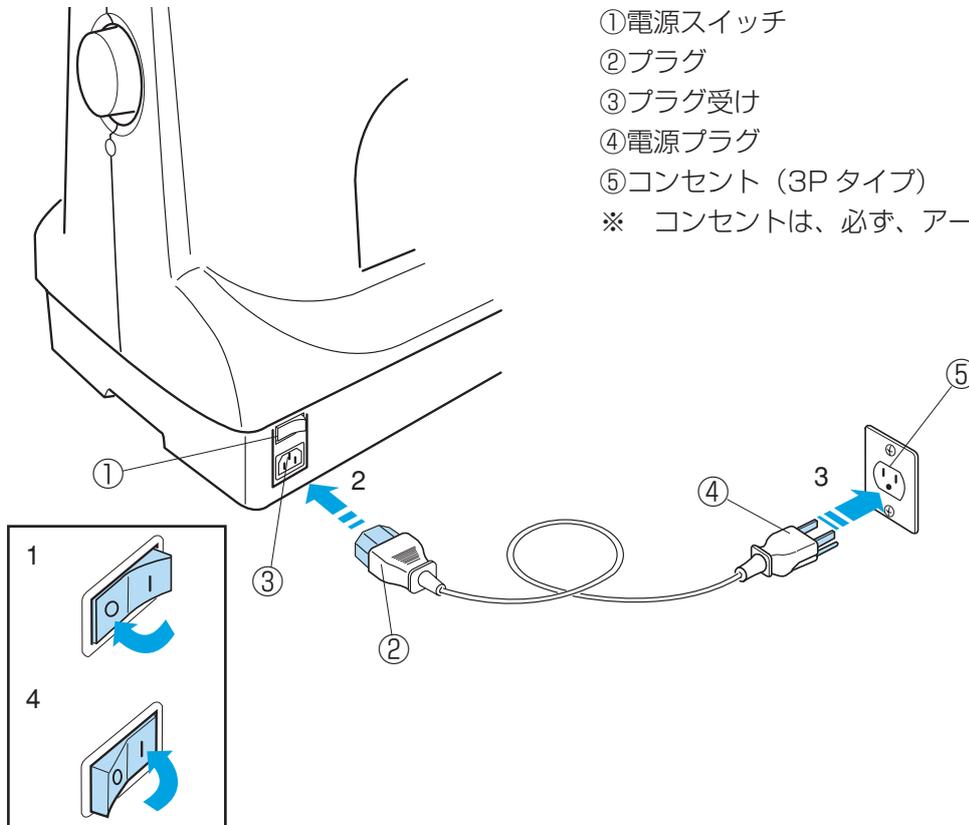
# お使いになる前に

## ●電源のつなぎ方

- 1 電源スイッチ ○ 側「OFF」を押して、電源を切ります。
- 2 プラグをプラグ受けに差し込みます。
- 3 電源プラグをコンセントに差し込みます。
- 4 電源スイッチ ▮ 側「ON」を押して、電源を入れます。

- ①電源スイッチ
- ②プラグ
- ③プラグ受け
- ④電源プラグ
- ⑤コンセント (3P タイプ)

※ コンセントは、必ず、アース付きを使用してください。



### ⚠ 警告

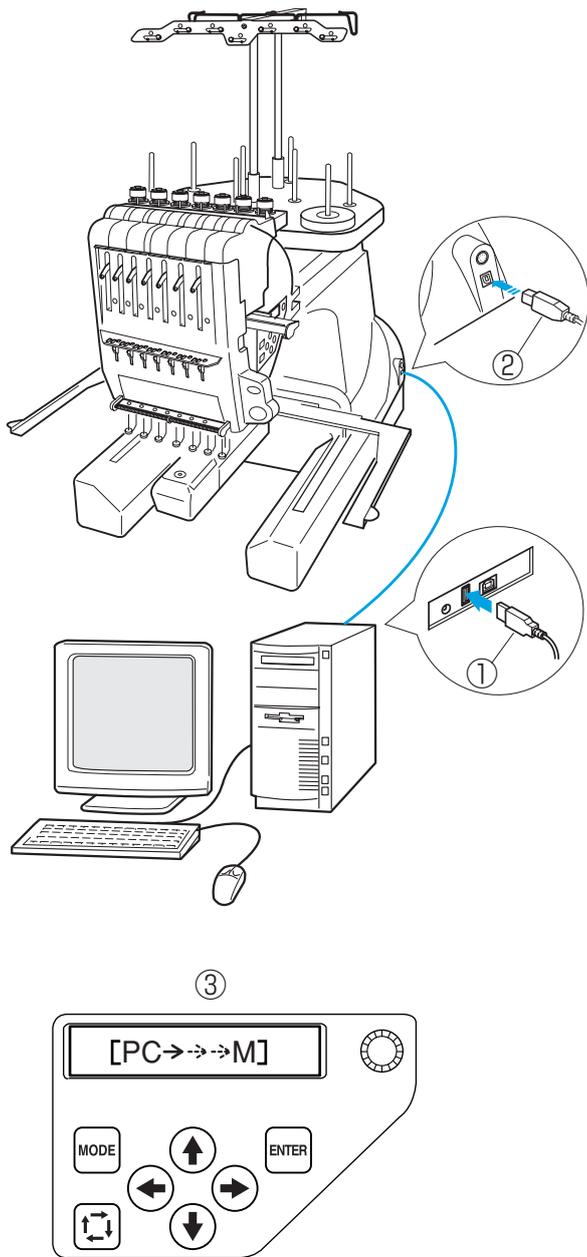
- ・一般家庭用電源 AC100V の電源をご使用ください。
- ・電源コンセントはアース付き (3P) を使用して、アース接続してください。アース接続がされないで、万一漏電した場合は、**感電、火災の原因になります。**
- ・以下のようなときには、電源スイッチを切って、電源プラグをコンセントから抜いてください。  
**感電、火災の原因になります。**
  - ・ 刺しゅう機のそばを離れるとき
  - ・ 刺しゅう機を使用したあと
  - ・ 使用中に停電したとき
  - ・ 正常に動作しないとき
- ・ 電源プラグは定期的には抜いて乾いた布でふき、ほこりなどを取り除いてください。  
ほこりなどが付着していると湿気等により絶縁不良となり、**火災の原因になります。**

### ⚠ 注意

- ・ 電源プラグを抜くときは、電源スイッチを切り、電源プラグを持って抜いてください。  
電源コードを引っ張って抜くと芯線の一部が断線して、**火災、故障の原因になります。**
- ・ 濡れた手で電源プラグの抜き差しはしないでください。**感電の原因となります。**
- ・ たこ足配線はしないでください。
- ・ 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。**火災、感電の原因になります。**

## お使いになる前に

### ● 刺しゅう機と PC の接続



#### 【USB の接続】

USB ケーブルを刺しゅう機とパソコン (PC) に接続します。

- ① USB コネクタ (小)
- ② USB コネクタ (大)
- ③ パソコンからの送信中表示

#### 【パソコン (PC) のデータの読み込み方】

この刺しゅう機は、パソコンと接続しデジタイザ MB (オプション) を使用してデータを読み込んだり、パソコン側から各種設定や操作ができるようになります。

操作方法については、デジタイザーの取扱説明書をごらんください。

#### ⚠ 注意

データ転送中は、電源スイッチを切ったり、USB ケーブルを抜かないでください。

メモリが破損する恐れがあります。

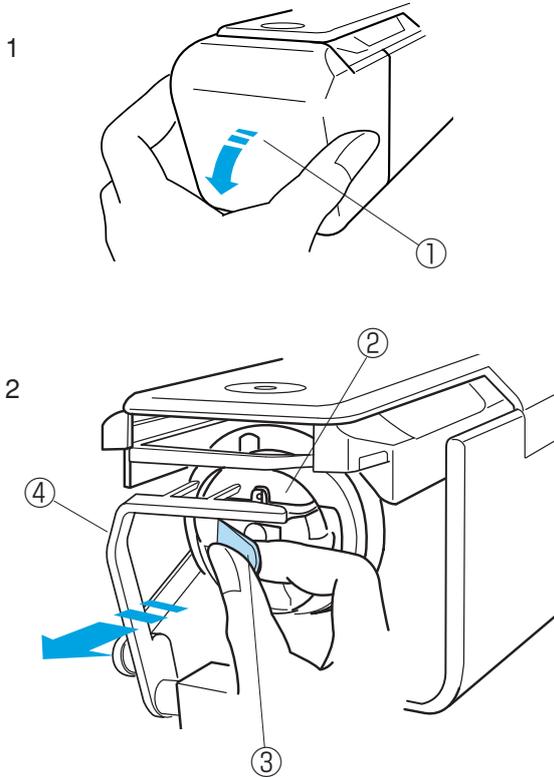
#### 【使用可能な刺しゅうデータの種類】

JANOME フォーマット (.jef) (.jef+) とタジマフォーマット (.dst) です。

※ タジマフォーマット (.dst) には、模様の色情報がありませんので、模様は Madeira(Rayon 40) の糸色順で表示されます。

## お使いになる前に

### ●ボビンケースの取り出し方



#### ⚠ 注意

ボビンケースを取り出すときには、必ず電源スイッチを切ってください。  
ケガの原因になります。

1 かまカバーを手前に開きます。

①かまカバー

2 ボビンケースのラッチをいっぱいにかけて持ち、ボビンケースを取り出します。

②ボビンケース

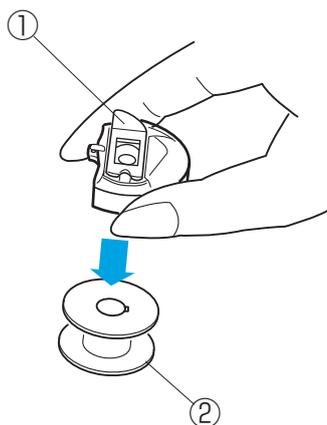
③ラッチ

#### ⚠ 注意

ボビンケースを取り出すときに、キーパーを引っ張らないでください。  
故障の原因になります。

④キーパー

### ●ボビンの取り出し方



ボビンケースのラッチをはなしてボビンケースを下に向けると、ボビンが取り出せます。

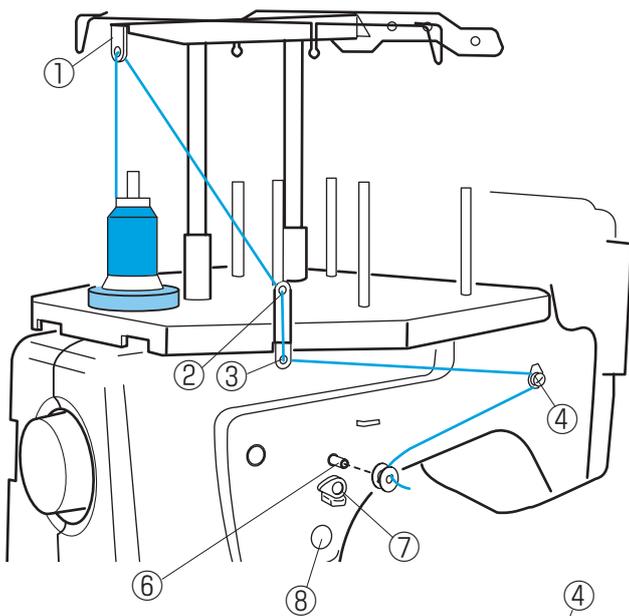
①ラッチ

②ボビン

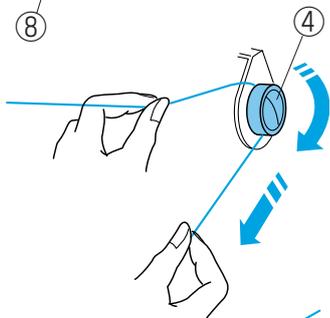
# お使いになる前に

## ●下糸の巻き方

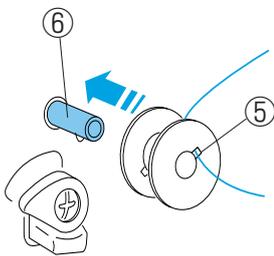
1



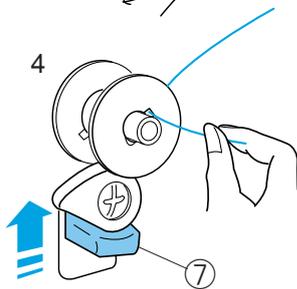
2



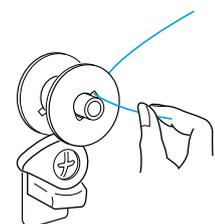
3



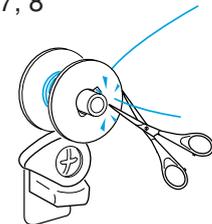
4



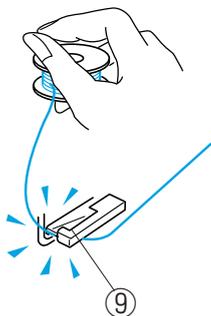
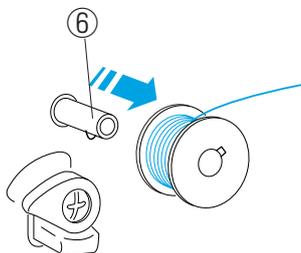
5



6, 7, 8



9



### 《お願い》

- ・下糸は、綿またはポリエステル糸（# 90 ~ 120）を使用してください。
- ・ボビンは必ず金属ボビンをご使用ください。他のボビンを使うと故障、ぬい不良の原因になります。

次の順序で下糸をボビンに巻きます。

- 1 糸立て棒に糸こまを立てます。  
糸案内 1、糸案内 2、糸案内 3 の順に通します。

- ①糸案内 1
- ②糸案内 2
- ③糸案内 3

- 2 糸巻き糸案内にかけます。

④糸巻き糸案内

- ※ 糸の端を両手で持ち、糸巻き糸案内に矢印方向にかけます。  
少し強めに引いて、糸巻き糸案内の下に確実にかけます。

- 3 ボビンの穴に内側から通し、糸巻き軸に差し込みます。

⑤ボビンの穴

⑥糸巻き軸

- 4 糸巻きレバーを上にあげます。

⑦糸巻きレバー

- 5 糸の端を軽くつまんだまま、「糸巻きスイッチ」を押します。

⑧糸巻きスイッチ

- 6 3重くらい巻きついたら、「糸巻きスイッチ」を押して、止めます。

- 7 つまんでいる糸をボビンのきわで切ります。

- 8 「糸巻きスイッチ」を押し、再スタートします。

- 9 糸を巻き終わると自動的に止まり、糸巻きレバーがもとの位置に戻ります。

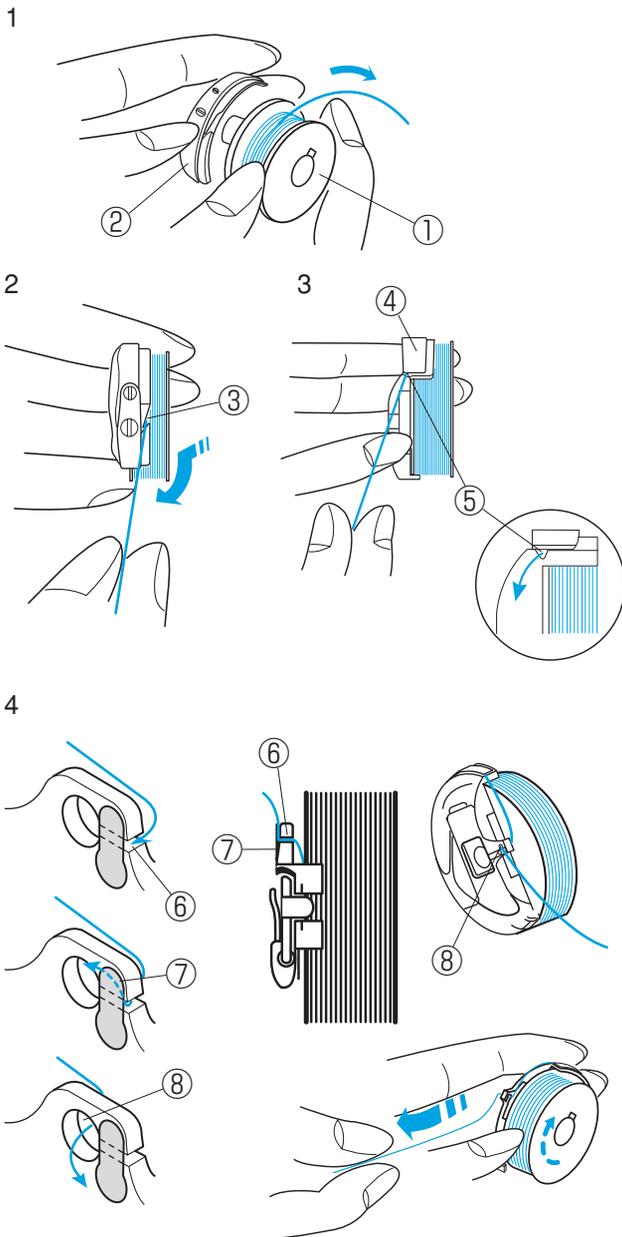
ボビンを糸巻き軸から外して下糸巻き糸切りで糸を切ります。

⑨下糸巻き糸切り

- ※ 切った糸はそのまま下糸巻き糸切りにかけておきます。

# お使いになる前に

## ●ボビンの入れ方



1 糸の端を向こう側へ5cmくらいたらしただまま、ボビンをボビンケースに入れます。

- ①ボビン
- ②ボビンケース

2 糸をボビンケースの切り口から通します。

- ③切り口

3 糸を引いて糸調子バネの下を通し、V溝に引き出します。

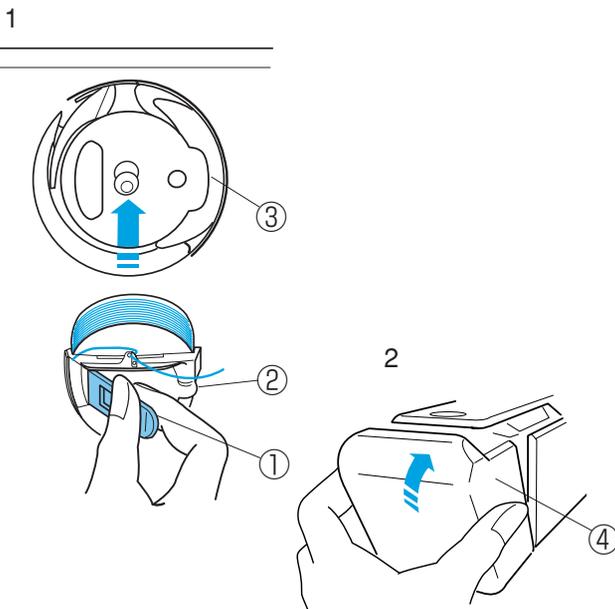
- ④糸調子バネ
- ⑤V溝

4 糸案内ガイド下側にあるスリットに入れ、糸案内ガイド左にあるバネとの間を通して、穴から糸を5cmくらい引き出します。

- ⑥スリット
- ⑦バネ
- ⑧穴

※ 糸を引き出すと、ボビンは時計方向に回転します。  
※ 糸は5cmくらい引き出してください。

## ●ボビンケースの入れ方



### ⚠ 注意

ボビンケースを入れるときには、必ず電源スイッチを切ってください。

ケガの原因になります。

1 ボビンケースのラッチをいっぱい開いて持ち、ボビンケースのツノ部をかまの凹部に合わせ奥まで入れてから、ラッチをはなします。

- ①ラッチ
- ②ツノ部
- ③かまの凹部

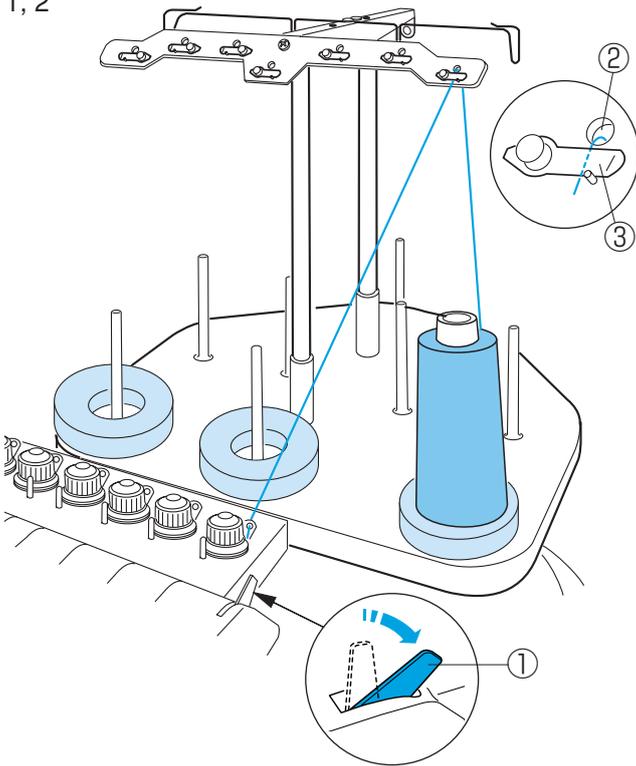
2 かまカバーを閉じます。

- ④かまカバー

# お使いになる前に

## ●上糸の通し方

1, 2



### 【例】1 番針への通し方

#### (通す前の準備)

糸調子レバーを向こう側にたおします。  
 ※ 正しく上糸を通すために、必ず行ってください。  
 ①糸調子レバー

※ 上糸にはレーヨン糸を推奨します。

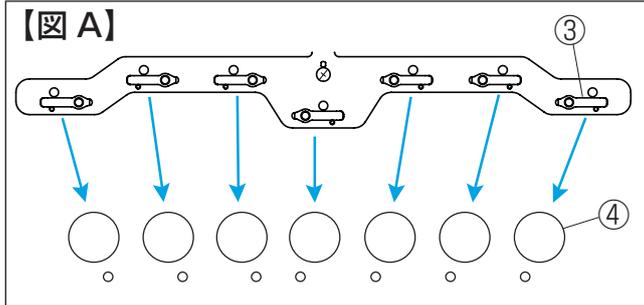
1 糸掛け穴の下から上側に通します。

②糸掛け穴

2 糸案内板の下側に糸を通します。

③糸案内板

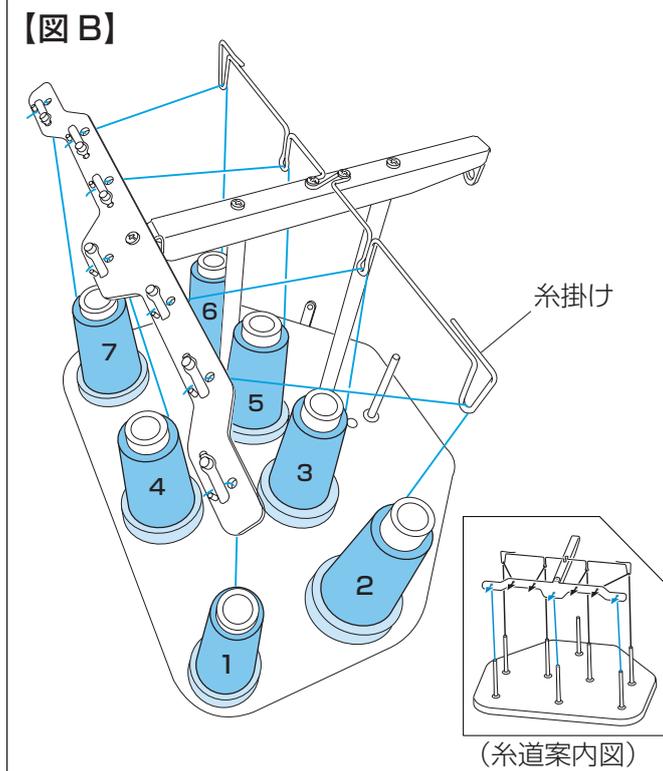
【図 A】



※ 図 A 位置の糸案内板を通した後は、矢印のプリテンションを使用します。

④プリテンション

【図 B】



### (2 番～7 番針の糸掛けの通し方)

① 4 番、7 番針の糸掛けは、上記 1 番と同じ真上の糸掛け穴に下から通し、糸案内板に通します。2 番針、3 番針、5 番針、6 番針の場合は、糸こまから引き出した糸を、糸掛けスタンドの真上の糸掛けにかけ、図 B の糸掛け穴の下から上側に通します。

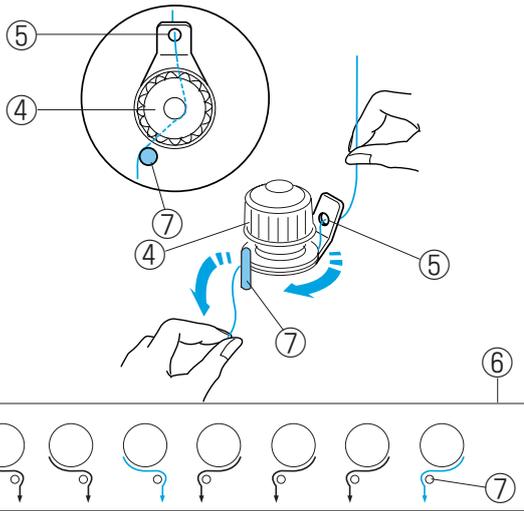
② 糸案内板の下側に糸を通します。

※ 図 B (糸立て台の糸道案内図) を参考に糸掛けをしてください。

※ 図 B の糸こまに付いている数字は使用する針を示しています。

## お使いになる前に

3



3 ガイド穴に通し、プリテンションの皿の間に通してガイドピンにかけます。

※ 糸道案内図を参考にガイドピンに糸をかけてください。

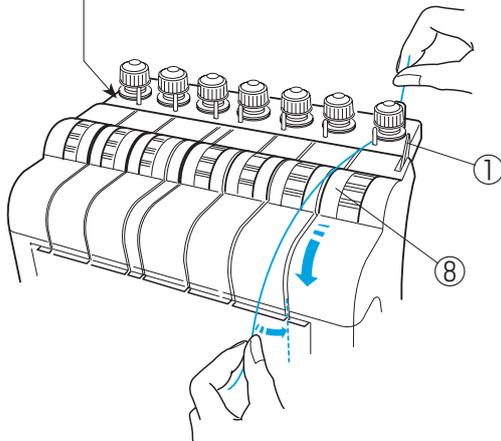
④プリテンション

⑤ガイド穴

⑥糸道案内図

⑦ガイドピン

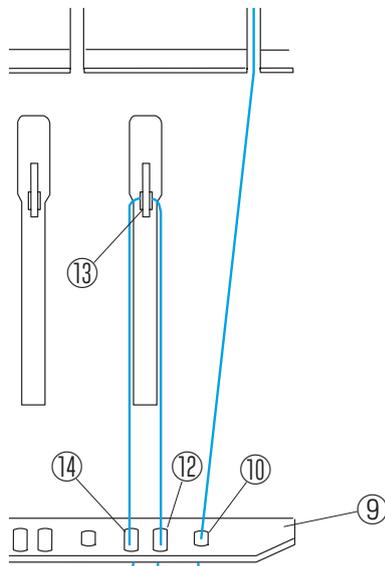
4



4 糸こま側の糸を持ち、糸調子に通し、溝にそってまっすぐおろします。

⑧糸調子

5, 6, 7, 8, 9



5 糸調子からまっすぐおろした糸を、糸道案内板上のいちばん右側の穴に上から下に通します。

⑨糸道案内板上

⑩いちばん右側の穴

6 糸取りバネに右から左に通します。

⑪糸取りバネ

7 糸道案内板上の右から2番目の穴に下から上に通します。

⑫右から2番目の穴

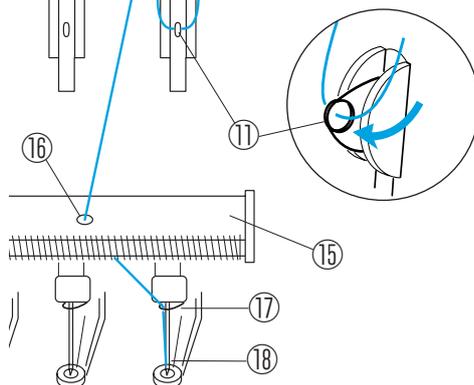
8 天びんに右から左に通します。

⑬天びん

9 糸道案内板上の右から3番目の穴に上から下に通します。

⑭右から3番目の穴

10, 11, 12



10 糸道案内板下のいちばん右側の穴に通します。

⑮糸道案内板下

⑯いちばん右側の穴

11 針棒糸掛けにかけます。

⑰針棒糸掛け

12 針に糸を通します。

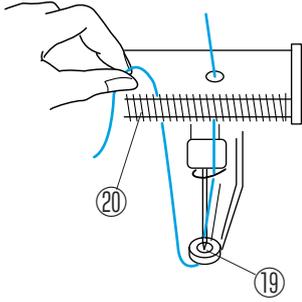
⑱針

※ 針には、付属の針糸通しを使って通します。

(針糸通しの使い方は20ページをごらんください。)

## お使いになる前に

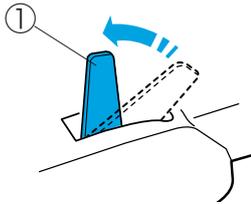
13



13 押さえ穴に通した後、糸を糸掛けバネにはさみ込みます。

- ⑱ 押さえ穴
- ⑳ 糸掛けバネ

14

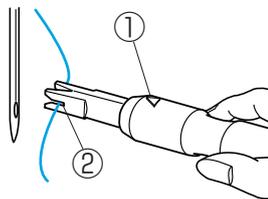


14 糸調子レバーを戻します。

- ① 糸調子レバー

### 【針糸通しの使い方】

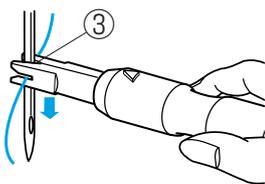
1



1 針糸通しの三角マークを上にして持ち、先端のY字みぞに糸を入れます。

- ① 三角マーク
- ② Y字みぞ

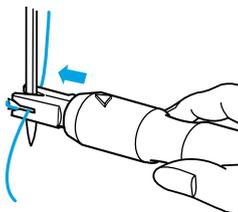
2



2 針糸通しのV字みぞを針の中ほどにあて、軽く押しつけながら下に滑らせます。

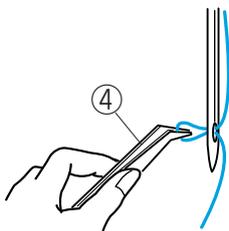
- ③ V字みぞ

3



3 糸通しピンが針穴に入ったら、針糸通しを押し糸を針穴に入れます。

4



4 針糸通しを外し、付属のピンセットで糸をうしろへ引き出します。

- ④ ピンセット

## お使いになる前に

### ●芯地

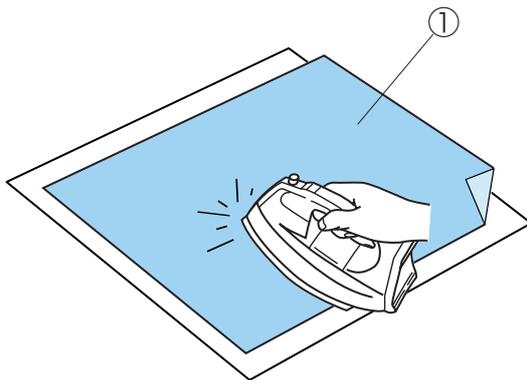
刺しゅうする布の裏側に芯地を貼ると、きれいに仕上がります。

うすい布や化繊布、または、ジャージーのような伸縮性のある布の場合は、必ず芯地を貼ります。

しっかりした厚い布は、芯地を貼らずにそのままぬえます。

芯地はアイロンで接着するタイプと、接着しないタイプがあります。

接着しないタイプの芯地は、アイロンをかけられない布やアイロンをかけにくい部分に刺しゅうするときにご使用してください。



接着するタイプの芯地

布の刺しゅうしない面(裏)と、芯地の光沢のある面(のり付き)を向かい合わせにし、角を折ってアイロン(中温)がけします。

※ 芯地の角を折っておくと、刺しゅうが終わったあとに芯地をはがしやすくなります。

① 芯地

### ●テンプレート

刺しゅう枠に布を張るとき、テンプレートの基準線を目安にして張ると便利です。

ます目のはんいで刺しゅうができます。

① 図柄模様のぬい原点位置

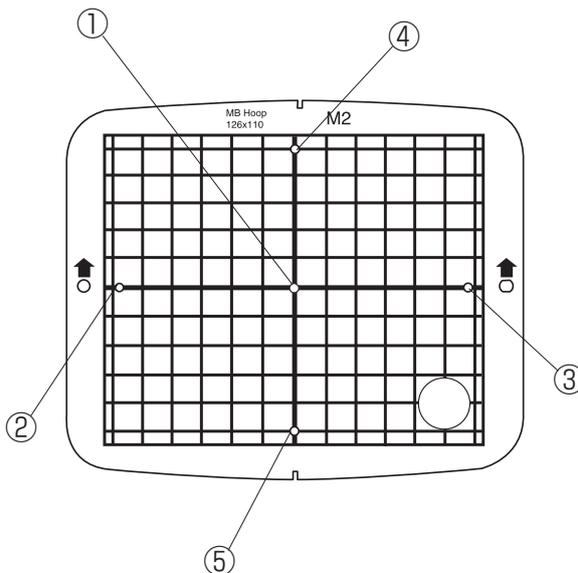
文字ぬい(縦、横書き)の中(中央)ぬい原点位置

② 文字ぬい(横書き)の左(先頭)ぬい原点位置

③ 文字ぬい(横書き)の右(最終)ぬい原点位置

④ 文字ぬい(縦書き)の左(先頭)ぬい原点位置

⑤ 文字ぬい(縦書き)の右(最終)ぬい原点位置

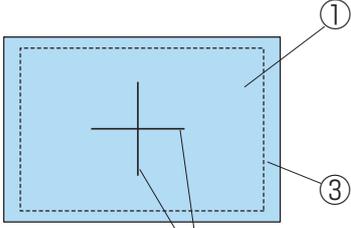


※ 文字ぬいの原点位置は47ページをごらんください。

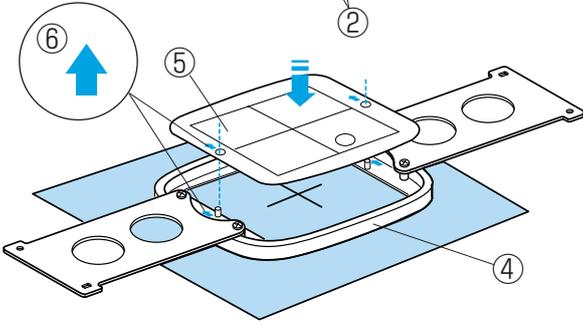
※ 矢印は刺しゅう枠に取り付ける方向を示しています。22ページをごらんください。

## お使いになる前に

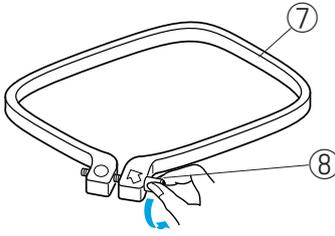
### ●刺しゅう枠に布を張るとき

- 

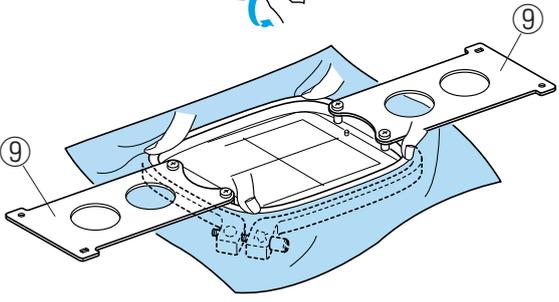
1 模様のぬい位置を決めるために、布に十字マークを付けます。  
※ 布の裏に芯地を貼ります。

  - ①布
  - ②十字マーク
  - ③芯地
- 

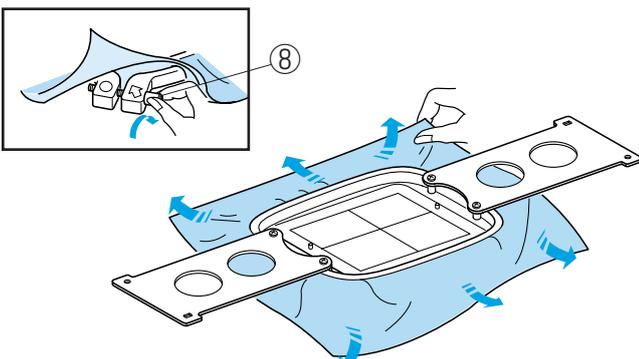
2 内枠の中にテンプレートを入れます。  
布の上に内枠をのせ、テンプレートと布の十字マークを合わせます。  
※ テンプレートと内枠にある矢印は、向こう向きにします。

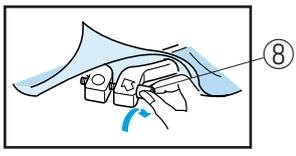
  - ④内枠
  - ⑤テンプレート
  - ⑥矢印
- 

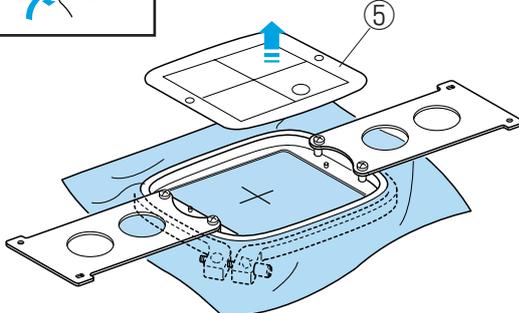
3 外枠の調節ネジをゆるめます。

  - ⑦外枠
  - ⑧調節ネジ
- 

4 布とテンプレートの基準線がズれないように、外枠にセットします。  
※ 刺しゅう枠を押し込むときは、枠の四隅を押ししてください。  
刺しゅう枠板は押さないでください。

  - ⑨刺しゅう枠板
- 

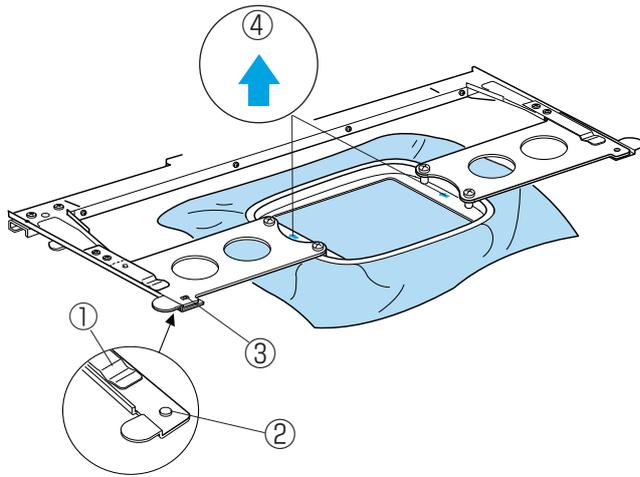
5 調節ネジを軽くしめ、布の端を引っ張って、刺しゅう枠内側のしわをなくします。
- 

6 調節ネジをしっかりしめます。
- 

7 テンプレートを外します。

## お使いになる前に

### ● 刺しゅう枠の取り付け方



両手で刺しゅう枠を持ち、刺しゅう枠をアームホルダーの奥まで差し込みます。

刺しゅう枠板の穴にホルダーの位置決めピンを入れます。

※ 刺しゅう枠の矢印が、向こう側を向いていることを確認してください。

- ①アームホルダー
- ②ホルダーの位置決めピン
- ③刺しゅう枠板の穴
- ④矢印

※ 刺しゅう枠を取り付けるときに、布地をアームホルダーにはさみ込まないように注意してください。

※ 刺しゅう時に余分な布地が摺動部等に、はさみ込まれないよう注意してください。

### 【オプション枠を使用するとき】

セットする刺しゅう枠の大きさに合わせ、左右の枠保持アームを枠保持台に取り付けます。

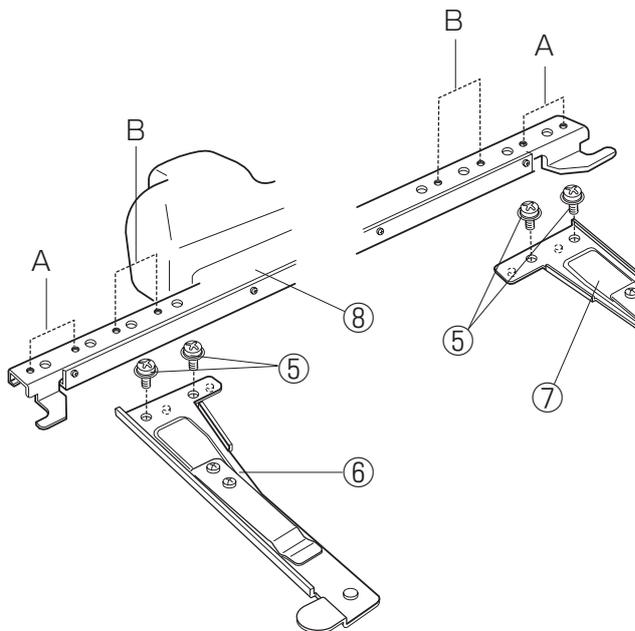
枠保持台をキャリッジに取り付けてから、刺しゅう枠をセットします。

セット位置 A.... M1 大枠：240mm× 200mm

M2 中枠：126mm×110mm

M3 小枠：50mm×50mm

セット位置 B.... タジマ製 刺しゅう枠（市販品）



### (枠保持アームの取り付け方)

1 ネジ（2個）を外します。

⑤ネジ

2 使用する刺しゅう枠のセット位置に枠保持アームを枠保持台にセットして、ネジをしめます。

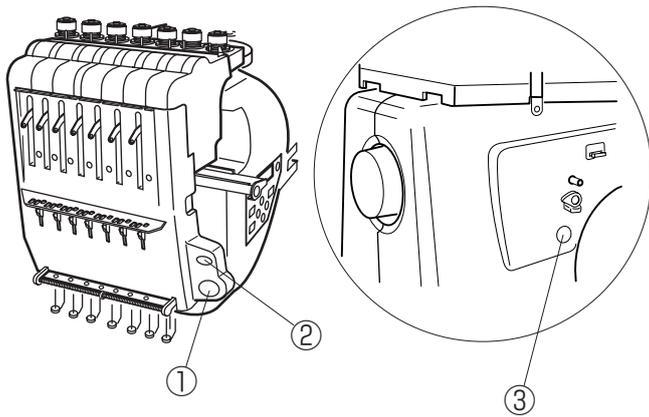
⑥左枠保持アーム

⑦右枠保持アーム

⑧枠保持台

# コントロールパネル操作

## ●操作ボタンのはたらき



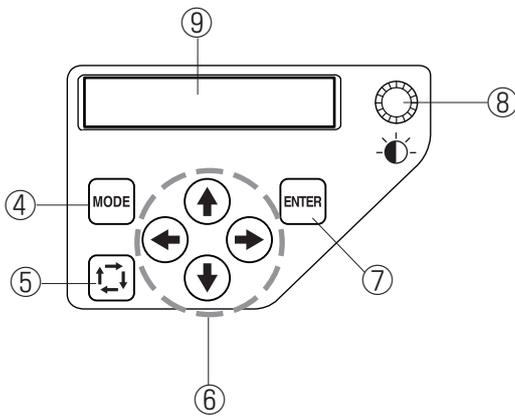
① スタート/ストップボタン  
ボタンを押すとスタートし、もう一度ボタンを押すと運転を止めます。

※ ボタンを押した1回目は [ H : M1 ? ] (刺しゅう枠確認表示) ができます。  
枠を確認して、もう一度「スタート/ストップボタン」を押してぬいます。

※ 運転中は、ボタンが赤色に点灯します。停止中は、緑色に点灯します。

②糸切りボタン  
上糸と下糸を切るときに使用します。

③糸巻きスイッチ  
下糸巻きのときに使用します。



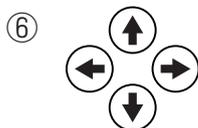
④ モードボタン  
モード選択または取り消しをします。  
・ぬい実行モード  
・項目選択モード  
・ステッチ数設定モード  
・色替設定モード  
・針番号指定モード  
・ファイル読み出しモード



⑤ ぬいはんい確認ボタン  
刺しゅうはんいの確認をします。



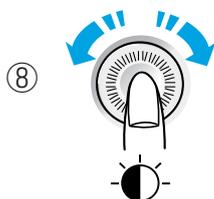
⑥ ジョグボタン  
刺しゅう位置の調節、または設定値の選択、変更をします。



⑦ ENTER ボタン  
設定を確定します。



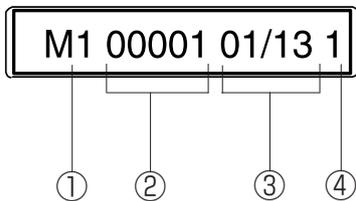
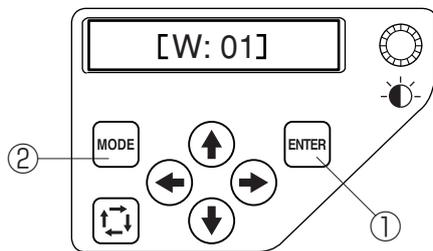
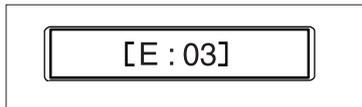
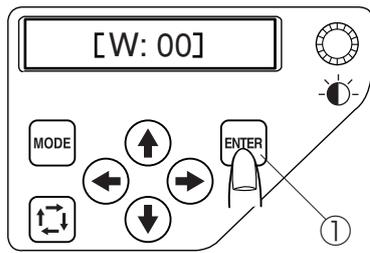
⑧ 輝度調節ダイヤル  
液晶表示画面のコントラストを調節します。  
右にまわすと、液晶表示画面が明るくなり、左へまわすと、液晶表示画面が暗くなります。



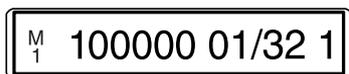
⑨ 液晶表示画面

# コントロールパネル操作

## ●初期化モード



(A)



電源を入れると、液晶表示画面に [ W:00 ] と表示します。  
「ENTER ボタン」を押すと、キャリッジ及び、1 番針棒が初期設定位置へ移動します。

※ [ E:03 ] が表示された場合は、「ENTER ボタン」を押します。  
針位置が初期設定位置へ移動し、キャリッジ及び、1 番針棒が初期設定位置へ移動します。

① ENTER ボタン

初期化が終わると [ W:01 ] と表示します。

リジューム機能確認表示です。

電源を切る前のぬい状態にする場合には、「ENTER ボタン」を押します。

① ENTER ボタン

最初から開始する場合には、「MODE ボタン」を押します。

② MODE ボタン

### 【画面の説明】

① 使用する枠記号表示

(枠の種類)

M1 (刺しゅうはんい ヨコ 240x タテ 200 mm)

M2 (ヨコ 126x タテ 110mm)

M3 (ヨコ 50x タテ 50mm)

T1 No.7 (D34mm) (タジマ製 933100239A00\*)

T2 No.9 (D54mm) (タジマ製 933100439A00\*)

T3 No.12 (D84mm) (タジマ製 933100639A00\*)

T4 No.15 (D112mm) (タジマ製 933100839A00\*)

T5 No.18 (D142mm) (タジマ製 933101039A00\*)

T6 200x115(78x168mm) (タジマ製 933200239A00\*)

\* 印は、市販品です。

S1 (ヨコ 37x タテ 59mm) ソックス枠 (大) (オプション)

S2 (ヨコ 28x タテ 50mm) ソックス枠 (小) (オプション)

H1 (ヨコ 100x タテ 90mm) 帽子枠 (オプション)

J1 No.11,12(D30mm)(オプション)

J2 No.6 (ヨコ 24x タテ 54mm) (オプション)

J3 No.13 (ヨコ 64x タテ 28mm) (オプション)

J4 No.8 (ヨコ 42x タテ 67mm) (オプション)

J5 No.3 (ヨコ 46x タテ 46mm) (オプション)

J6 No.2,9 (ヨコ 66x タテ 66mm) (オプション)

J7 No.1 (ヨコ 110x タテ 95mm) (オプション)

J8 No.7 (ヨコ 120x タテ 121mm) (オプション)

② 針数表示

※ 実行ステッチ数が 10 万針以上になった場合、6 桁で表示します。(A) 画面

③ 色替表示

01 (色替番号) /13 (色替数)

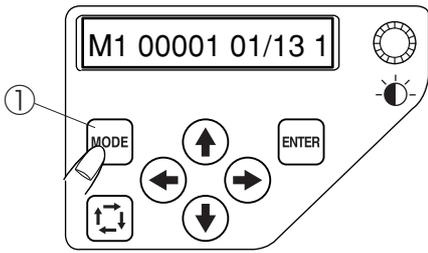
④ 使用する針棒番号表示

# コントロールパネル操作

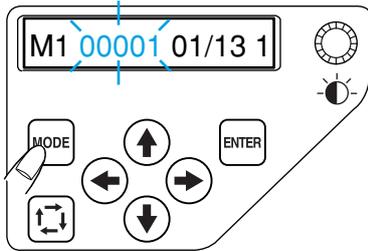
## ●データ（ファイル）の呼び出し

「MODE ボタン」を押して、設定項目を切りかえファイル呼び出しモードにします。

① MODE ボタン



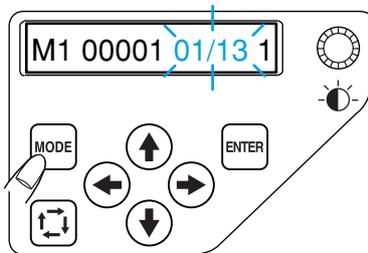
【1】



【1】 針数設定モード

(29 ページをごらんください。)

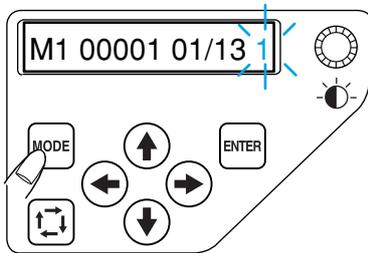
【2】



【2】 ぬい設定モード

(29 ページをごらんください。)

【3】



【3】 針番号設定モード

(30 ページをごらんください。)

【4】

【4】 ファイル呼び出しモード

1 ファイル呼び出しモードにしたら、「ENTER ボタン」を押します。

② ENTER ボタン

2 「ジョグボタン」の  または  でファイル呼び出します。

 ボタンを押すと、1つ前のファイルを表示します。

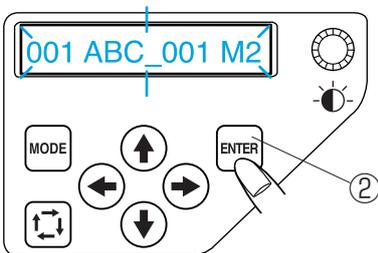
 ボタンを押すと、1つうしろファイルを表示します。

③ジョグボタン

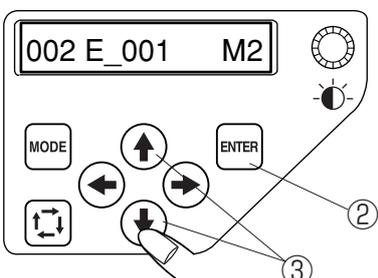
3 「ENTER ボタン」を押して、確定します。

② ENTER ボタン

1



2, 3

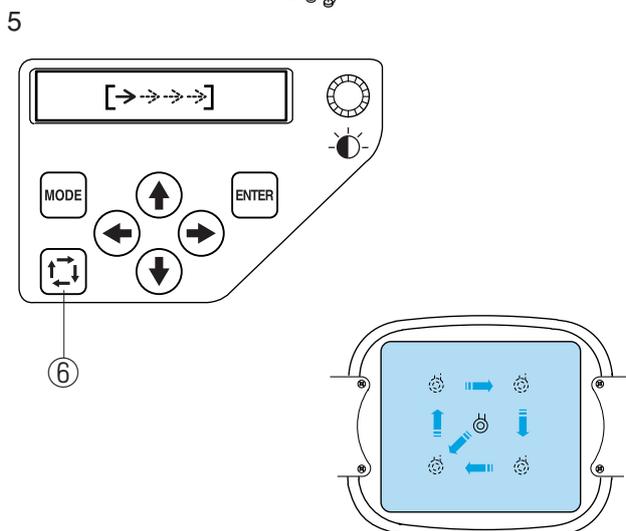
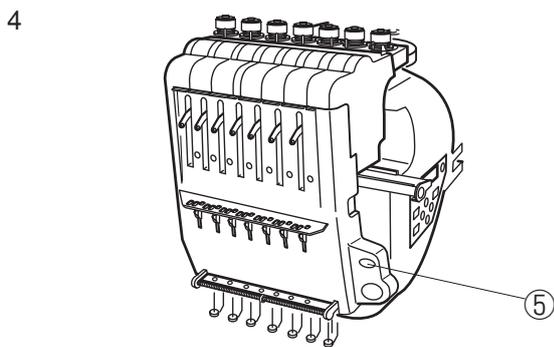
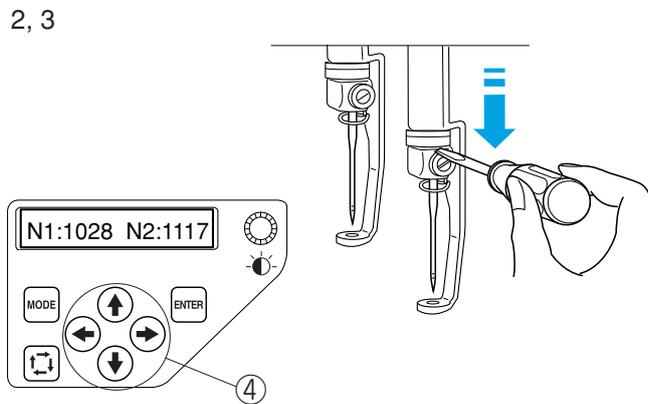
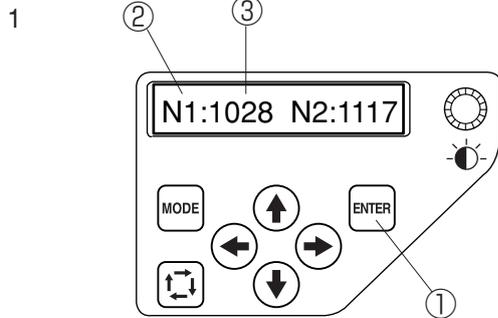
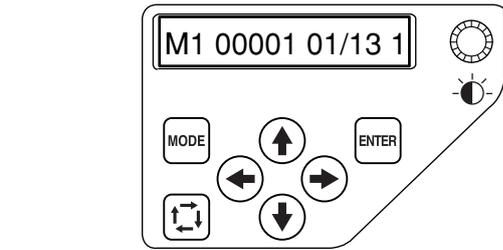


# ぬってみましょう

## ●ぬい実行モード

### 《お願い》

糸と布の組み合わせにより、仕上がり状態がかわりますので、試しぬいをしてください。



1 「ENTER ボタン」を押す毎に、針と糸色番号が表示されます。

- ① ENTER ボタン
- ② 針番号表示
- ③ 糸番号表示

2 ぬい始めの位置合わせをします。  
針止めにドライバーをあて、針と押さえをロックする位置までさげます。  
※ ロックする位置は「●ぬい位置の確認／(1)ぬい始めの位置合わせ」62 ページをごらんください。  
3 はずみ車を時計回りにまわし、針をさげてぬい位置を確認します。  
※ ぬい位置がずれているときには、「ジョグボタン」を押して、ぬい位置を合わせます。

- ④ジョグボタン

4 「糸切りボタン」を押して、針と押さえをもとに戻します。

- ⑤糸切りボタン

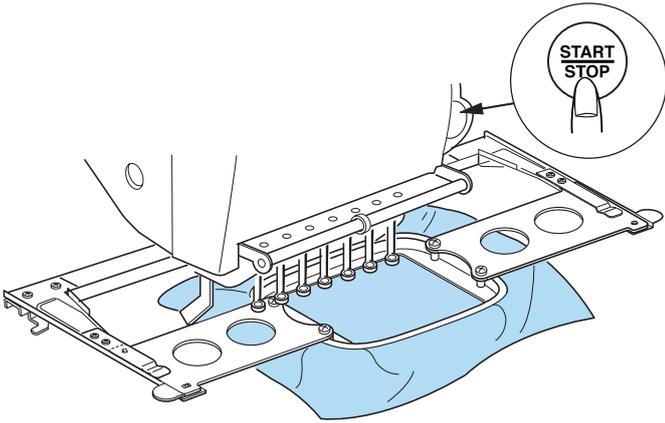
5 「ぬいはんい確認ボタン」を押して、ぬいはんいを確認します。

- ⑥ぬいはんい確認ボタン

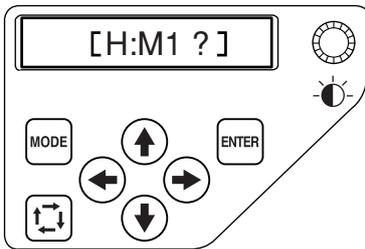
## ぬってみましょう

6

6 「スタート/ストップボタン」を押します。



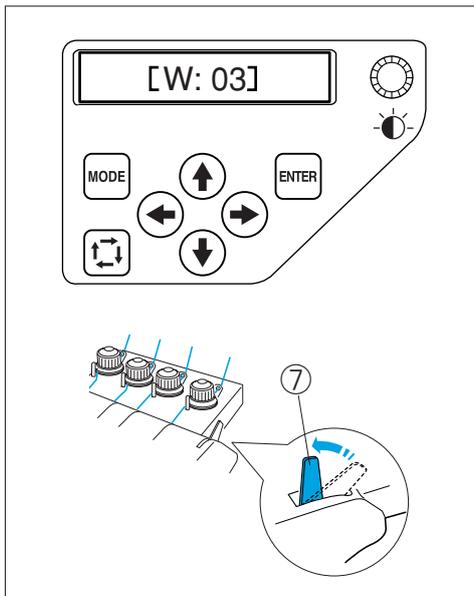
7



7 刺しゅう枠確認表示がでます。

枠を確認して、「スタート/ストップボタン」を押してぬいます。

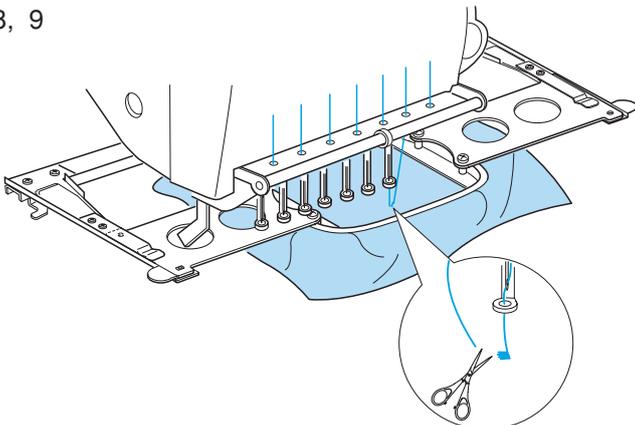
※ 「MODE ボタン」を押すと、もとの表示に戻ります。



※ 「スタート/ストップボタン」を押して、[W:03]（糸調子警告表示）が出たら、糸調子レバーを手前に引きます。

⑦糸調子レバー

8, 9

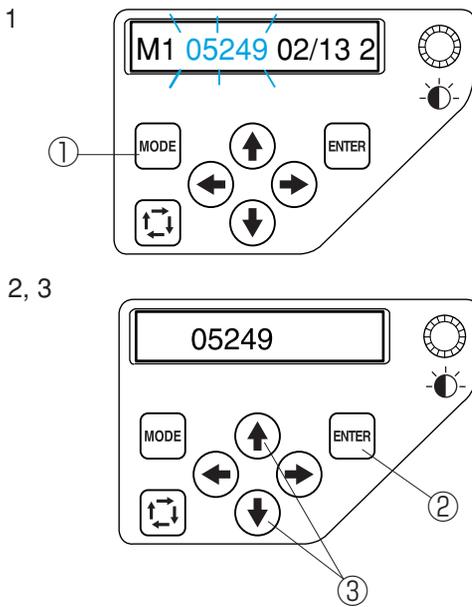


8 5～6針ぬったら「スタート/ストップボタン」を押して、止めます。  
ぬい始めの糸を切ります。

9 「スタート/ストップボタン」を押してぬいます。

# ぬってみましょう

## 【1】



## 【1】 針数設定モード

1 「MODE ボタン」を押し、針数設定モードにします。  
ぬい目を戻したり、進めたりすることができます。

① MODE ボタン

2 「ENTER ボタン」を押します。

② ENTER ボタン

3 「ジョグボタン」の または で行います。

ボタンを 1 回押すごとに、ぬわずに 1 針ずつぬい目を戻します。

ボタンを 1 回押すごとに、ぬわずに 1 針ずつぬい目を進めます。

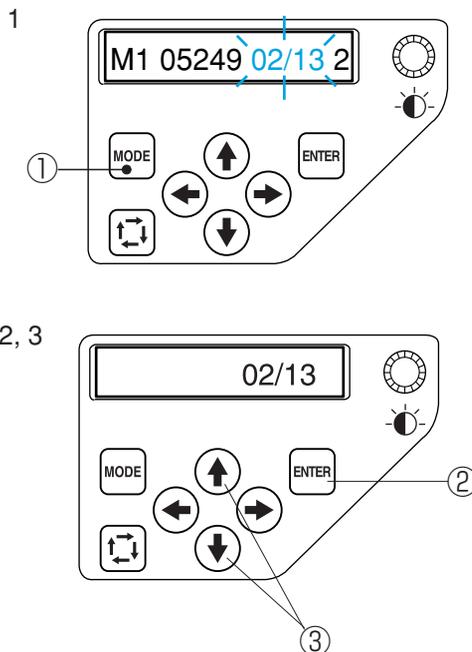
③ジョグボタン

※ 「ジョグボタン」を押し続けると連続して前進または後進します。

※ 「ENTER ボタン」を押すと、確定してぬい実行画面に戻ります。

※ 枠が移動しますので注意してください。

## 【2】



## 【2】 ぬい設定モード

1 「MODE ボタン」を押し、ぬい設定モードにします。  
ぬい設定を戻したり、進めたりすることができます。

① MODE ボタン

2 「ENTER ボタン」を押します。

② ENTER ボタン

3 「ジョグボタン」の または で行います。

ボタンを押すと、ぬい順序を 1 つうしろのぬいに設定されます。

ボタンを押すと、ぬい順序を 1 つ前のぬいに設定されます。

③ジョグボタン

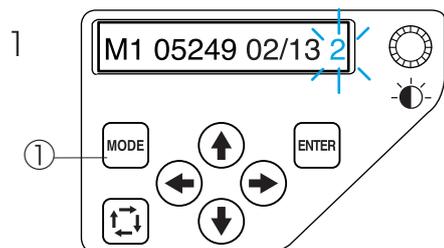
※ 「ENTER ボタン」を押すと、確定してぬい実行画面に戻ります。

※ 枠が移動しますので注意してください。

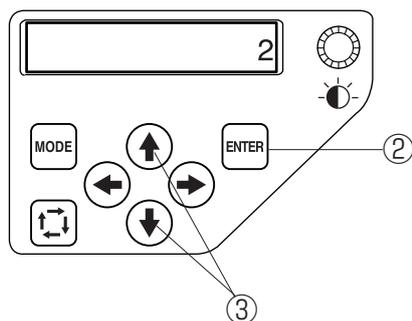


## ぬってみましょう

### 【3】



2, 3



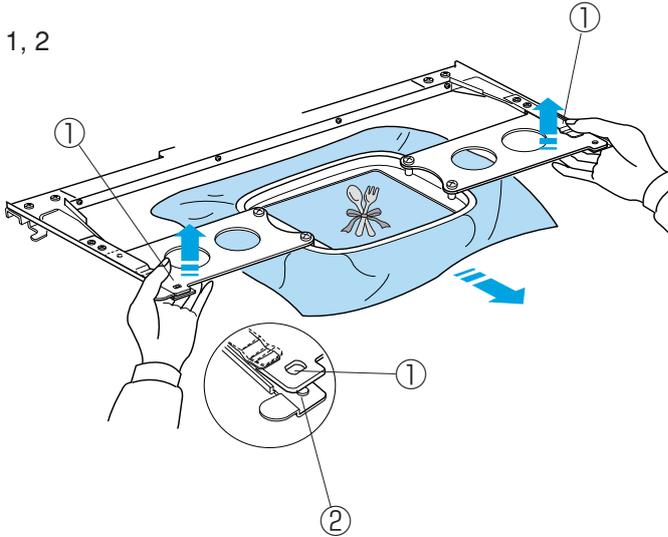
### 【3】 針番号設定モード

- 1 「MODE ボタン」 を押し、針番号設定モードにします。  
色替え毎の針番号の設定ができます。  
① MODE ボタン
  - 2 「ENTER ボタン」 を押します。  
② ENTER ボタン
  - 3 「ジョグボタン」 の  または  で行います。  
  
 ボタンを押すと、次の針番号を設定します。  
 ボタンを押すと、手前の針番号を設定します。  
  
③ジョグボタン
- ※ 「ENTER ボタン」 を押すと、確定してぬい実行画面に戻ります。  
※ 枠が移動しますので注意してください。

# ぬってみましょう

## ● 刺しゅう枠の外し方

1, 2



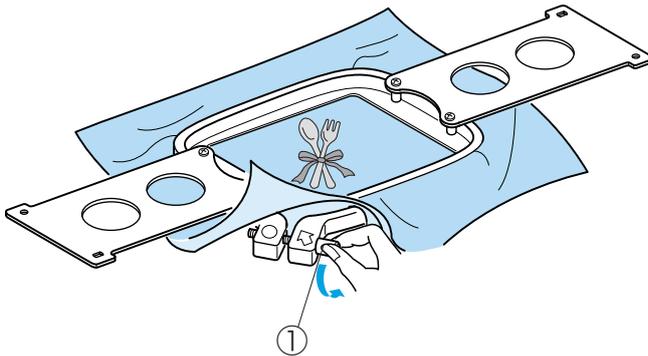
1 刺しゅう枠の左右の取り付け部を両手で持ちあげ、少し（ホルダーの位置決めピンが刺しゅう枠の穴から外れる程度）浮かせます。

①刺しゅう枠の穴  
②ホルダーの位置決めピン

2 そのまま、刺しゅう枠を手前に引いて取り外します。

## ● 布地の外し方

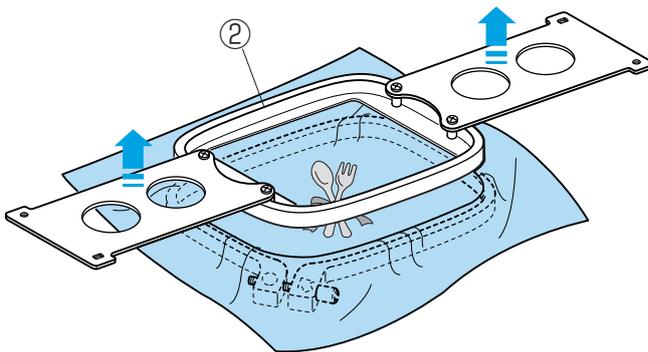
1



1 調節ネジをゆるめます。

①調節ネジ

2

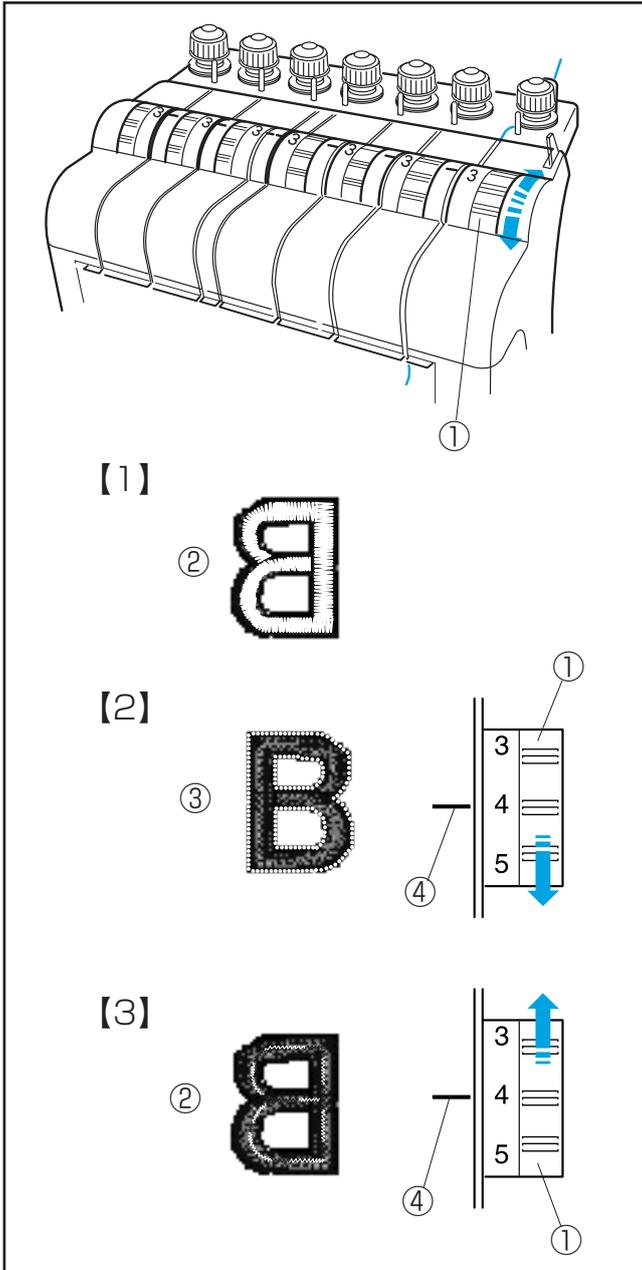


2 内枠を外し、布地を外します。

②内枠

# 糸調子の合わせ方

## ●糸調子の合わせ方



糸調子ダイヤルをまわして、糸調子を調節します。

①糸調子ダイヤル

### 【1】正しい糸調子

布の裏側に少し上糸が見えるくらいに、調節します。

②布の裏側

### 【2】上糸が強すぎる

布の表に下糸が出ます。

③布の表

糸調子ダイヤルをまわして、小さな数字を指示線に合わせます。

④指示線

### 【3】上糸が弱すぎる

上糸がたるんだり、糸締まりがゆるくなります。

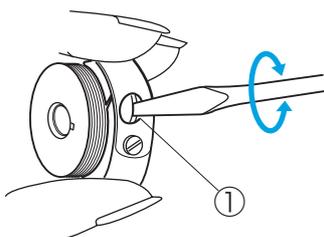
糸調子ダイヤルをまわして、大きな数字を指示線に合わせます。

## ●下糸の糸調子

調子ネジを右にまわすと、張力は強くなります。

調子ネジを左にまわすと、張力は弱くなります。

※ この調節は微妙ですのでネジを少しずつまわしてください。

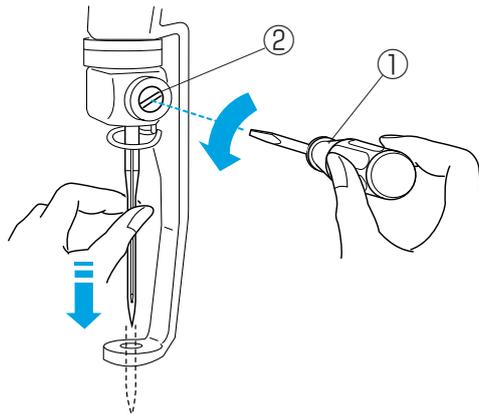


①調子ネジ

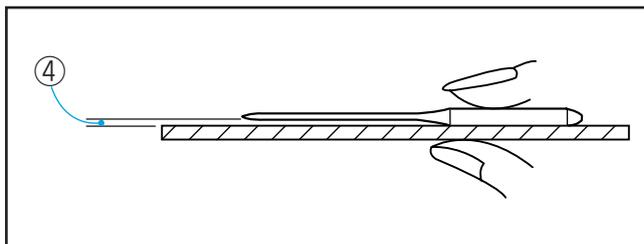
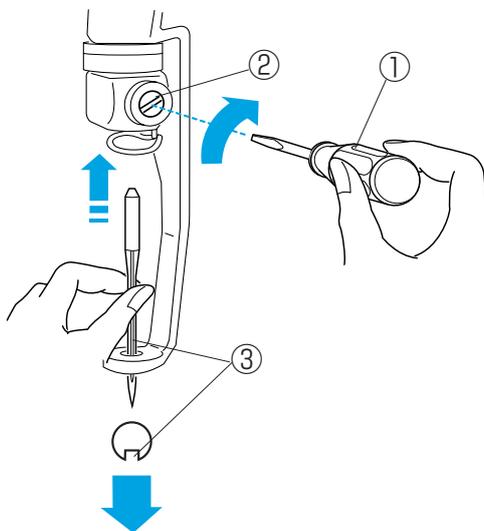
# 針の取りかえ方

## ●針の取りかえ方

【1】



【2】



### ⚠ 注意

針を取りかえるときには、必ず電源スイッチを切ってください。  
ケガの原因になります。

### 【1】 針の外し方

1 付属のドライバー（小）で針止めネジをゆるめ、針を外します。

①ドライバー（小）

②針止めネジ

### 【2】 針の取り付け方

2 新しい針を穴の奥に当たるまで差し込みます。  
このとき針の溝を正面に向けます。

3 ドライバー（小）で針止めねじをしっかりとめます。

③針の溝

### 【針の調べ方】

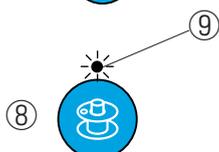
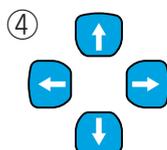
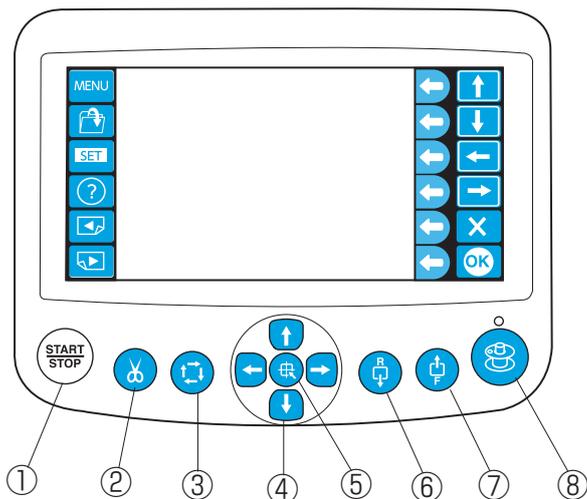
針を平らな面（針板など）に置いたとき、すき間が針先まで均等に見えるのが良い針です。

④すき間

### ⚠ 注意

針先が曲がったり、針先がつぶれているものは使わないようにしてください。  
ケガの原因になります。

## ●操作ボタンのはたらき



- ① スタート/ストップボタン  
ボタンを押すと一度目は「ミシンが動作します」と表示がでます。もう一度ボタンを押すとスタートします。  
運転中にボタンを押すと、運転を止めます。  
※ 運転中は、ボタンが赤色に点灯します。  
停止中は、緑色に点灯します。

- ② 糸切りボタン  
上糸と下糸を切るときに使用します。

- ③ めいはんい確認ボタン (62 ページ参照)  
めいはんいを確認します。

- ④ ジョグボタン (40、62 ページ参照)  
矢印の方向に、刺しゅう位置の調節ができます。

- ⑤ 枠移動ボタン  
刺しゅう枠が枠中心に移動します。

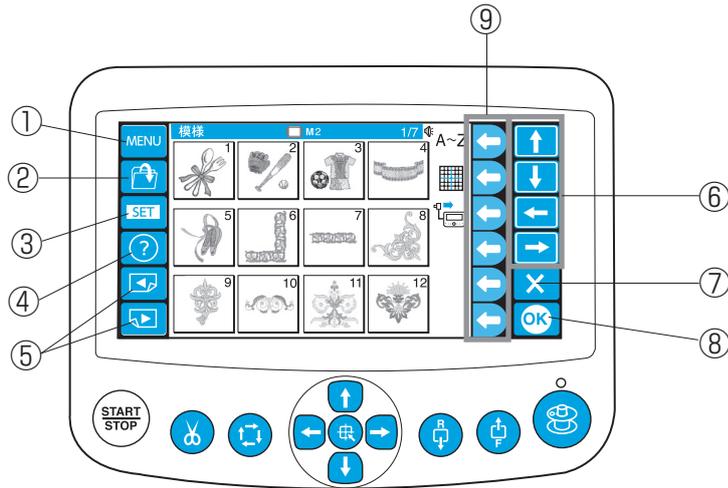
- ⑥ 針後進ボタン  
ボタンを 1 回押すごとに、めわずに 1 針ずつめい目を戻します。  
※ ボタンを押し続けると連続して後進します。  
※ 枠が移動するので注意してください。

- ⑦ 針前進ボタン  
ボタンを 1 回押すごとに、めわずに 1 針ずつめい目を進めます。  
※ ボタンを押し続けると連続して前進します。  
※ 枠が移動するので注意してください。

- ⑧ 糸巻きボタン (16 ページ参照)  
下糸巻きのとくに使用します。  
※ 糸巻き中は、糸巻きランプが点灯します。  
⑨糸巻きランプ

# RCS の操作

## ●画面操作キーのはたらき

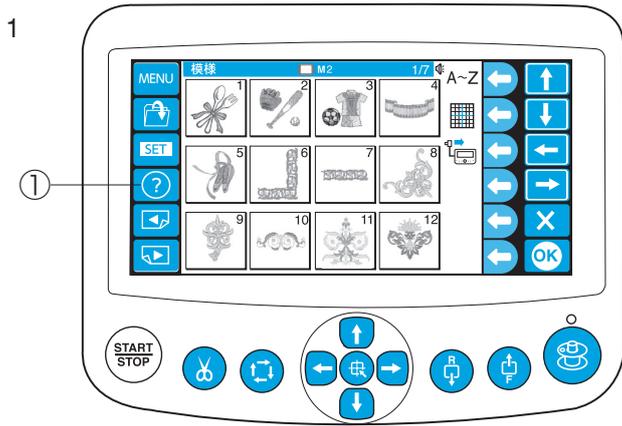


- ①  MENU キー  
以下のモード切りかえを行います。  
・内蔵模様モード  
・文字刺しゅうモード  
・編集刺しゅうモード  
・RCS の取り外し
- ②  ファイルオープンキー  
記憶した模様を読み出すことができます。
- ③  SET キー  
基本機能のセット状態をかえることができます。
- ④  ヘルプキー  
基本動作の説明を見ることができます。
- ⑤  ページキー  
画面の切りかえをします。  
 キーを押すと前のページが表示されます。  
 キーを押すと次のページが表示されます。
- ⑥  選択キー  
キーを押した方向の項目に切りかえます。
- ⑦  キャンセルキー  
現在選んでいるモードをやめて、他のモードを選択するときに押します。
- ⑧  OK キー  
各モードでの設定を確定します。
- ⑨  ファンクションキー  
ファンクションキーの左に表示された、各モードを選択します。

# RCS の操作

## ●ヘルプモード

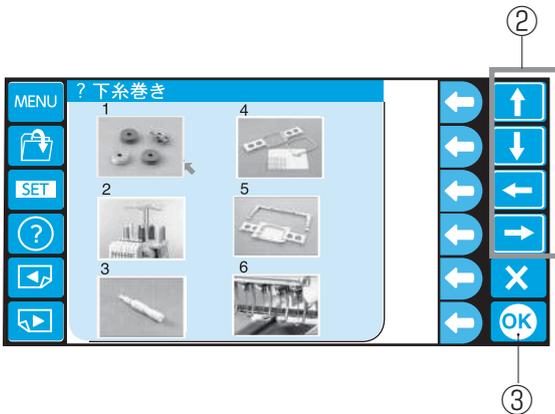
ヘルプモードにすると、下糸の巻き方などの基本操作（6項目）の動画を見ることができます。



1 「ヘルプキー」を押します。

①ヘルプキー

2, 3



2 「選択キー」で項目を選びます。

②選択キー

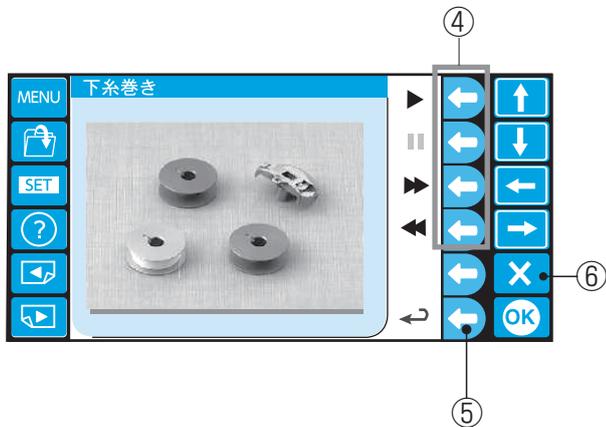
### 【項目】

- |        |          |
|--------|----------|
| 1 下糸巻き | 4 布の張り方  |
| 2 糸かけ  | 5 枠の取り付け |
| 3 糸通し  | 6 針の交換   |

3 「OK キー」を押します。

③ OK キー

4



4 再生するときは、ファンクションキー「▶」（再生）を押します。

停止させるときは、ファンクションキー「||」（停止）を押します。

早送り再生するときは、ファンクションキー「▶▶」（早送り再生）を押します。

巻き戻し再生するときは、ファンクションキー「◀◀」（巻き戻し再生）を押します。

④ファンクションキー「再生」、「停止」、「早送り再生」、「巻き戻し再生」

※ ファンクションキー「戻り」を押すと、ヘルプモードに戻ります。

⑤ファンクションキー「戻り」

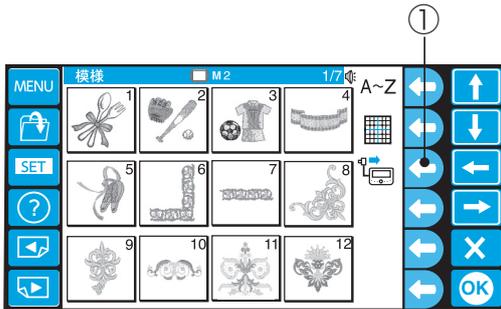
※ もとの画面に戻るときは、「キャンセルキー」を押します。

⑥キャンセルキー

# RCS の操作

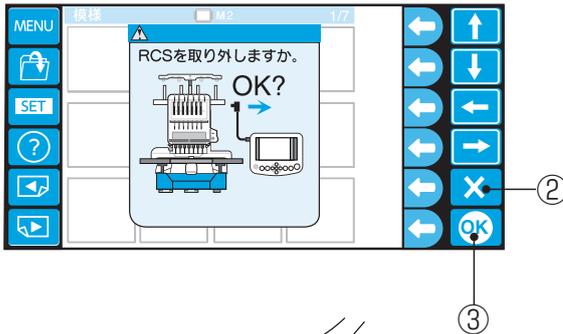
## ● RCS 取り外し

1

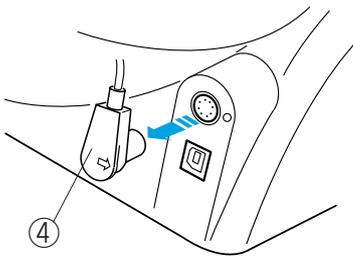


- 1 ファンクションキー「RCS」を押します。  
①ファンクションキー「RCS」

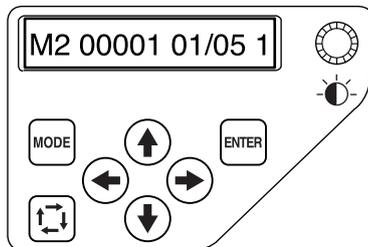
2



- 2 「RCS を取り外しますか。」を画面表示します。  
※ 「キャンセルキー」を押すと、前の画面に戻ります。  
良い場合には「OK キー」を押して、RCS 端子を抜きます。  
②キャンセルキー  
③ OK キー  
④ RCS 端子



3



- 3 コントロールパネルに RCS 操作時の表示がでます。  
※ RCS 操作に戻す場合には、RCS 端子を差し込みます。  
※ 刺しゅうの途中、または PC との交信中に RCS 端子の差し込みは行わないでください。

# RCS の操作

## ●電源投入時



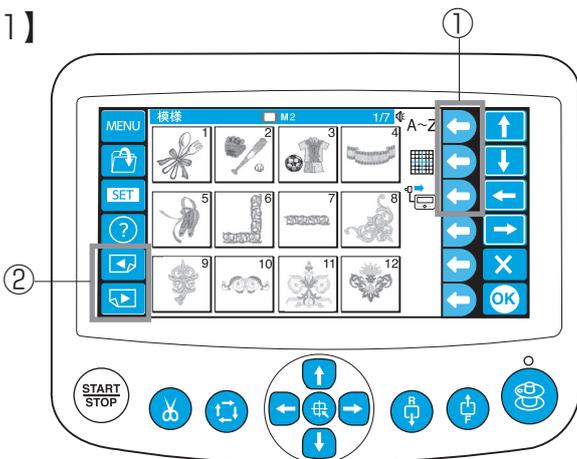
- 1 電源を入れると注意画面が表示します。  
キャリッジから手を離してください。
- 2 「OK キー」を押します。  
① OK キー



- 3 「前回の縫い画面を開きますか?」と表示します。  
「OK キー」を押すと、電源を切る前の状態（縫い画面）にセットされます。
- ※「キャンセルキー」(X) を押すと、模様選択モードになります。  
②キャンセルキー

## ●モードの選び方

【1】

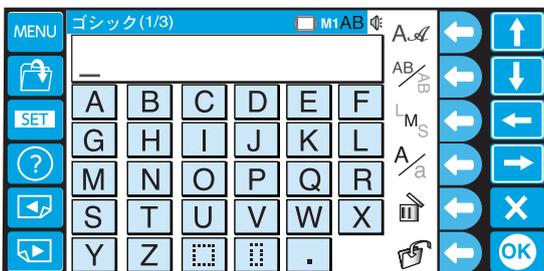


モードは内蔵模様、文字刺しゅう、編集刺しゅう、本体切りかえ（コントロールパネル）使用の4つにわかれています。  
ファンクションキーを押してモードを選びます。  
①ファンクションキー

### 【1】内蔵模様

7画面 50種類の模様が入っています。  
「ページキー」で画面を切りかえて模様を選んでください。  
②ページキー

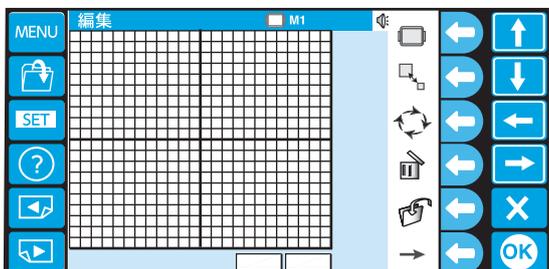
【2】



### 【2】文字刺しゅう

10種類の書体、2レター、3レター、ボーダー模様が入っています。  
文字を組み合わせる刺しゅうします。

【3】

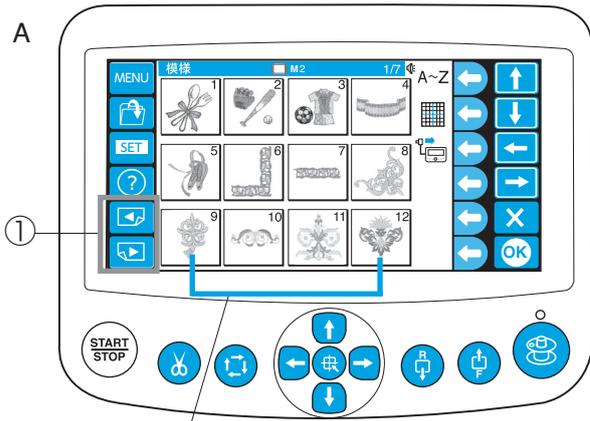


### 【3】編集刺しゅう

刺しゅうデータを編集して刺しゅうすることができます。

# RCS の操作

## ● 模様を選び方



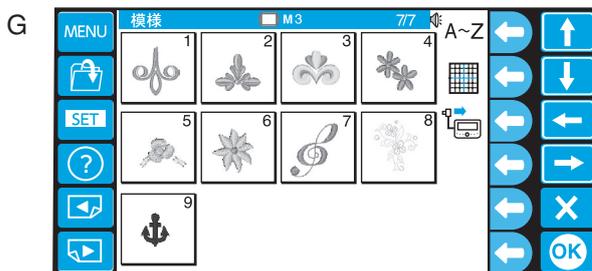
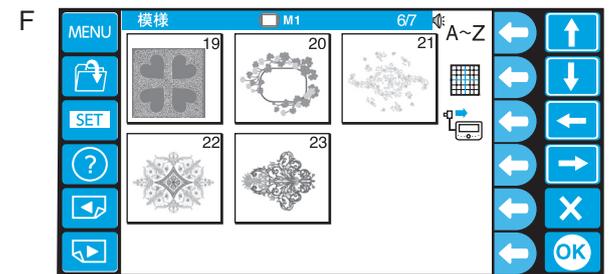
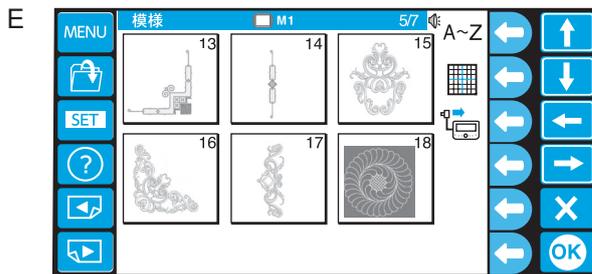
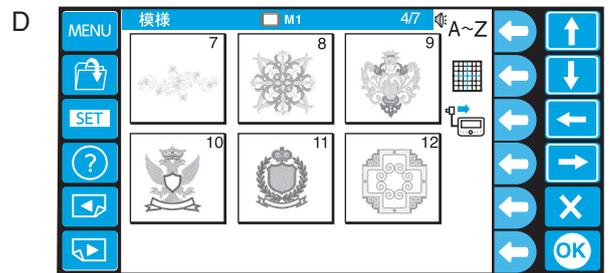
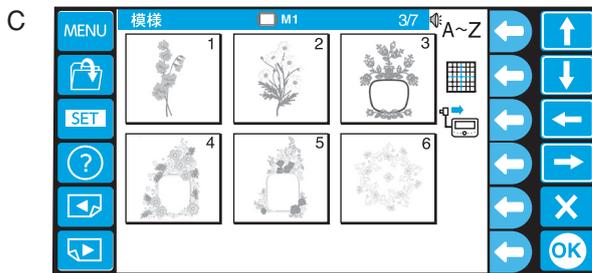
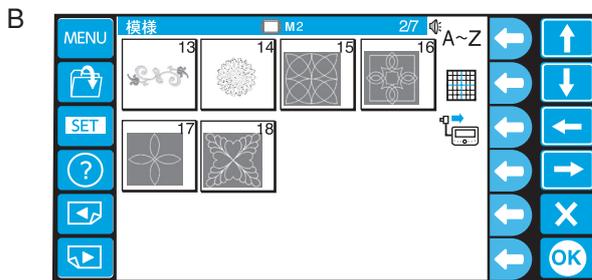
「ページキー」で画面を切りかえて「模様選択キー」を押して模様を選びます。

- ① ページキー
- ② 模様選択キー

※ 画面 A, B の模様 # 1 ~ 18 は刺しゅう枠 M2 (126mm×110mm) 用模様。

※ 画面 C ~ F の模様 # 1 ~ 23 は刺しゅう枠 M1 (240mm×200mm) 用模様。

※ 画面 G の模様 # 1 ~ 9 は刺しゅう枠 M3 (50mm×50mm) 用模様。

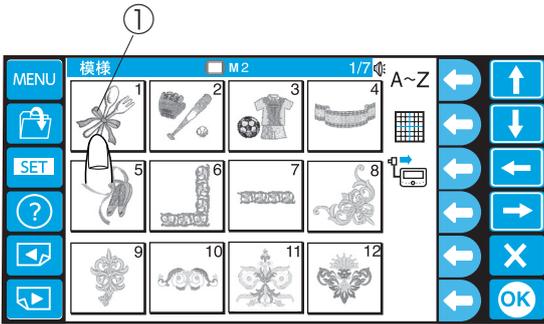


# RCS の操作

## ●ぬい始め

### (例) 模様 # 1

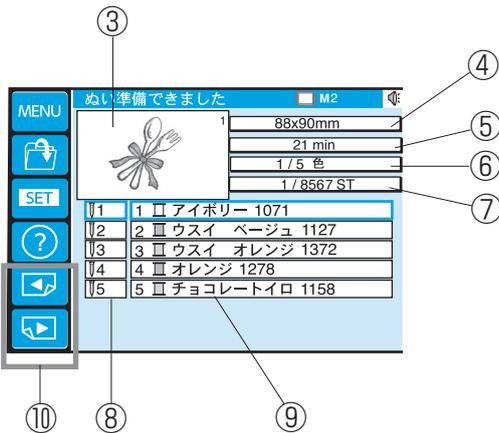
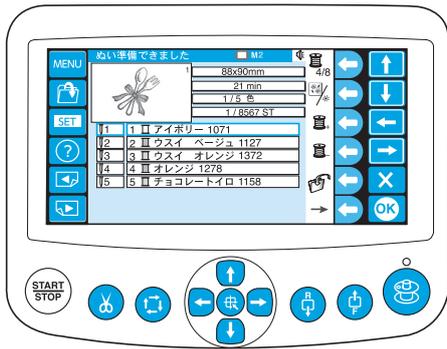
1



1 「模様選択キー」を押して、模様を選びます。

- ① 模様選択キー
- ② ぬい実行画面

②



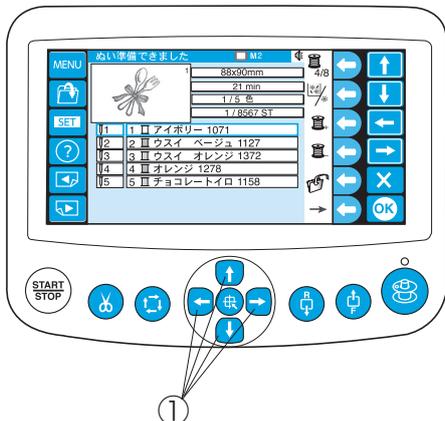
### 【ぬい実行画面説明】

- ③ 模様表示
- ④ 模様大きさ表示
- ⑤ ぬい上がり時間表示
- ⑥ 色替え数表示
- ⑦ ステッチ数表示
- ⑧ 針番号表示
- ⑨ ぬい番号、色表示、糸色名、糸番号表示
- ※ 糸番号は、初期の状態（購入時のセット状態）は、Madeira (Rayon 40) の糸番号に設定されています。
- ※ 画面に表示しきれない色替えは「ページキー」で表示させます。
- ⑩ ページキー

## ●ぬい位置の調節

「ジョグボタン」を押して枠を移動させます。

① ジョグボタン



- ボタンを押すと刺しゅう枠を手前に移動します。
- ボタンを押すと刺しゅう枠を後方に移動します。
- ボタンを押すと刺しゅう枠を左に移動します。
- ボタンを押すと刺しゅう枠を右に移動します。

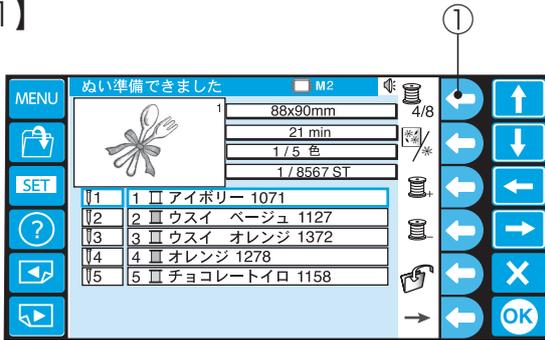
※ ボタンは、一度押すと枠が 0.1mm 移動します。ボタンを押し続けている間は、ボタンを離すまでぬいはんい内で移動します。

※ ぬい開始後は「ジョグボタン」の操作はできません。

# RCS の操作

## ●機能説明

【1】

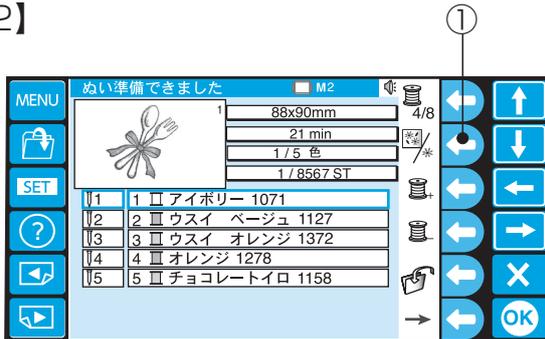


【1】 色替え画面表示数の設置

ファンクションキー「色替え画面表示数」を押す毎に、画面に表示する色替え数を4または8に設定します。

①ファンクションキー「色替え画面表示数」

【2】

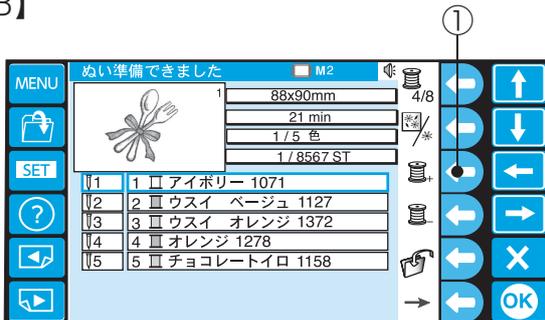


【2】 模様表示切りかえ

ファンクションキー「模様表示切りかえ」を押す毎に、模様表示を全体表示または、色替え毎の表示に切りかえます。

①ファンクションキー「模様表示切りかえ」

【3】

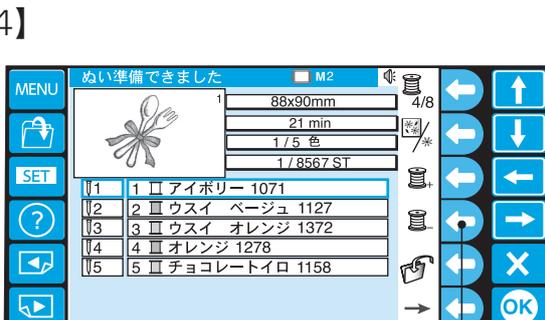


【3】 ぬい設定 (+)

ファンクションキー「+」を押すと、ぬい順序が次のぬいに設定されます。

①ファンクションキー「+」

【4】



【4】 ぬい設定 (-)

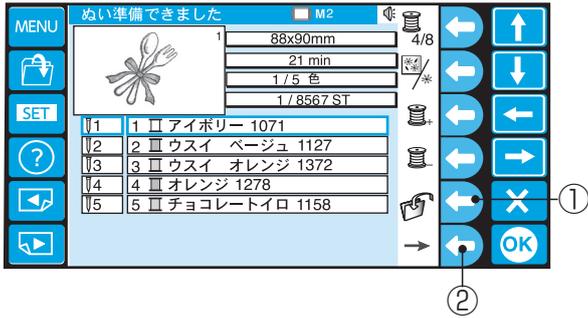
ファンクションキー「-」を押すと、ぬい順序が1つ手前のぬいに設定されます。

※ はじめのぬいが選択されていた場合には、いちばん最後のぬいが選択されます。

①ファンクションキー「-」

# RCS の操作

【5】



## 【5】 ファイルの保存

ファンクションキー「保存」を押すと、設定をかえて模様を保存できます。

※ 保存方法は 80 ページをごらんください。

①ファンクションキー「保存」

※ ファンクションキー「画面切りかえ」で次の画面にある機能に切りかえます。

②ファンクションキー「画面切りかえ」

【6】

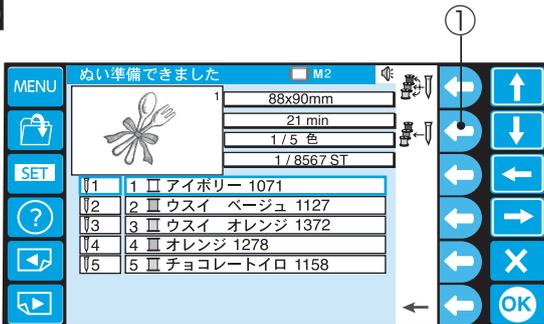


## 【6】 自動針番号設定

ファンクションキー「自動針番号」を押すと、色替え毎の針番号を自動設定します。

①ファンクションキー「自動針番号」

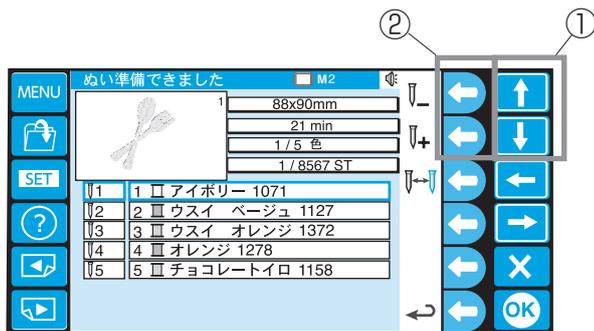
【7】



## 【7】 手動針番号設定

ファンクションキー「手動針番号」を押すと、針番号設定画面になります。

①ファンクションキー「手動針番号」



「選択キー」で変更する針番号を選びます。

ファンクションキー「-」または「+」を押して設定します。

①選択キー

②ファンクションキー「-」、「+」

【8】



## 【8】 色替え停止の設定

糸替えの為に、一時停止する針番号を設定します。

「選択キー」で停止させる針番号を選びます。

ファンクションキー「色替え停止」を押します。

設定されると、針番号の色が赤になります。

①選択キー

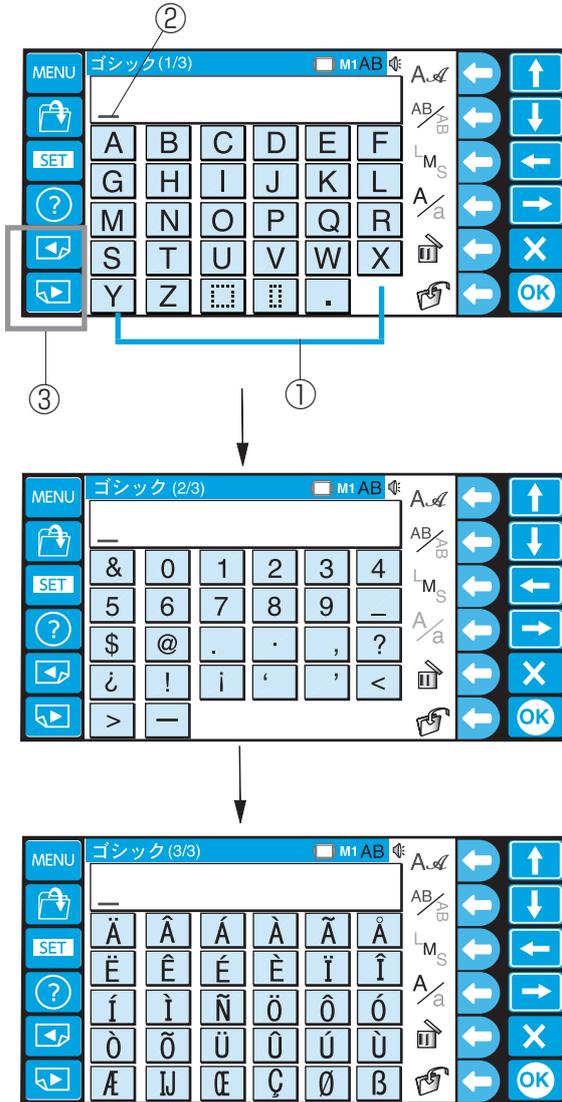
②ファンクションキー「色替え停止」

※ ファンクションキー「戻り」を押すと、前の画面（ぬい実行画面）に戻ります。

③ファンクションキー「戻り」

# 文字刺しゅう

## ●文字選択画面



文字選択画面で文字を組み合わせて、文字列を刺しゅうすることができます。

直接「文字キー」を押して、文字を組み合わせます。「文字キー」を押すと、押された文字は確定し、カーソルが移動します。

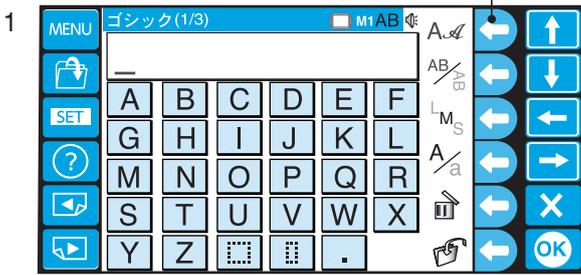
- ①文字キー
- ②カーソル

※ 「ページキー」で画面を切りかえます。数字、記号画面とヨーロッパ文字の画面があります。  
③ページキー

# 文字刺しゅう

## ●機能説明

### 【1】



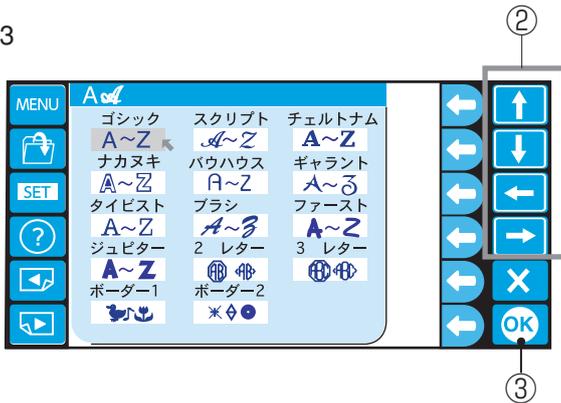
### 【1】 書体選択

書体またはワンポイント模様が選択できます。

1 ファンクションキー「書体」を押して書体、ワンポイントを選択します。

①ファンクションキー「書体」

2, 3



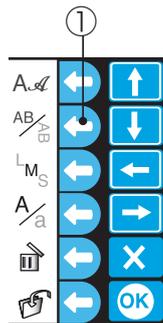
2 「選択キー」で書体を選びます。

②選択キー

3 「OK」キーで書体を確定します。

③ OK キー

### 【2】



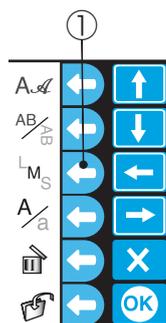
### 【2】 よこ書き、たて書き選択

横書きまたは縦書きが選択できます。

1 ファンクションキー「よこ書き、たて書き」を押してよこ書き、または、たて書きを選択します。

①ファンクションキー「よこ書き、たて書き」

### 【3】



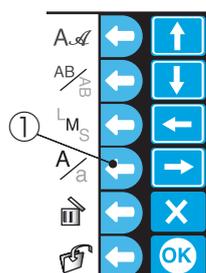
### 【3】 文字大きさ選択

文字の大きさを大 (L)、中 (M)、小 (S) に選択できます。文字を選択する前に選びます。

1 ファンクションキー「文字大きさ」を押して文字の大きさの大、中、小を選択します。

①ファンクションキー「文字大きさ」

### 【4】



### 【4】 大文字、小文字選択

大文字、小文字の選択ができます。

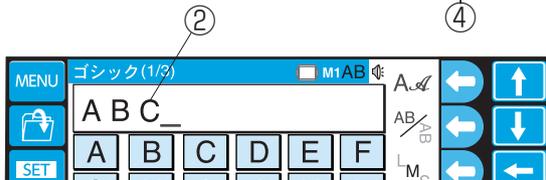
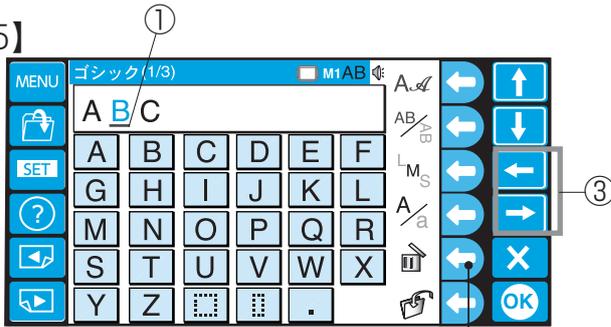
1 ファンクションキー「大文字、小文字」を押して大文字、小文字を選択します。

①ファンクションキー「大文字、小文字」

※ 記号、数字は選択できません。

# 文字刺しゅう

【5】



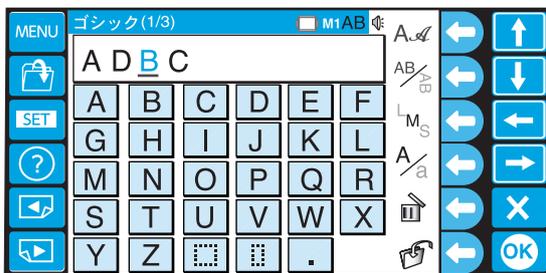
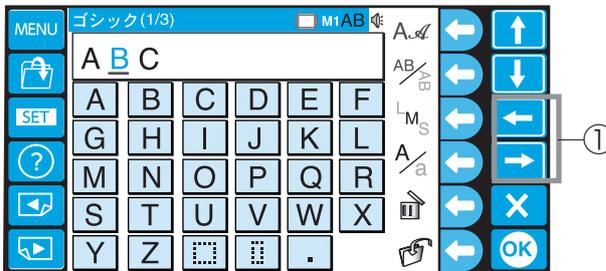
## 【5】 文字の削除

カーソルの付いている文字、またはカーソル手前の文字を削除します。

- ①カーソル
- ②カーソル手前の文字

- 1 「選択キー」でカーソルを削除する文字に合わせます。
- ③選択キー
- 2 ファンクションキー「削除」を押します。
- ④ファンクションキー「削除」

【6】

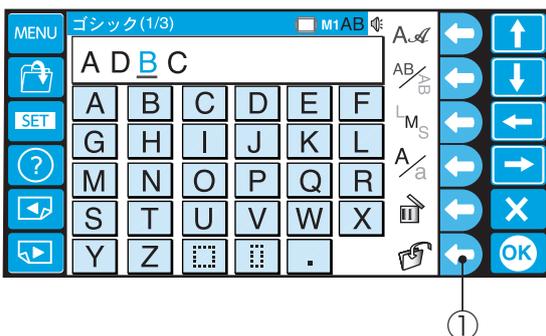


## 【6】 文字の追加

カーソルの付いている文字の前、またはカーソル手前に文字を追加します。

- 1 「選択キー」で文字の追加場所を選択します。
- ①選択キー
- 2 文字 D を入力します。

【7】



## 【7】 文字の保存

作成した文字の組み合わせを保存します。

- 1 ファンクションキー「保存」を押します。
- ①ファンクションキー「保存」
- ※ 保存方法は 80 ページをごらんください。

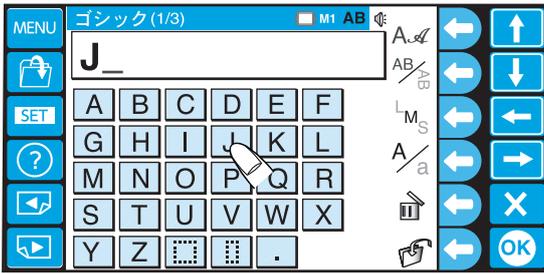
# 文字刺しゅう

## ●文字の組み合わせ

例 . ゴシック体 (Jump)

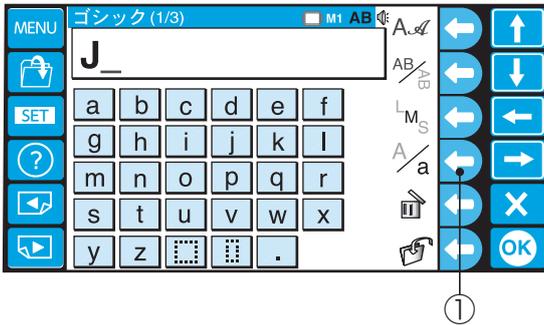
1 文字「J」を入力します。

1



2 ファンクションキー「大文字、小文字」を押して小文字に切りかえます。

2

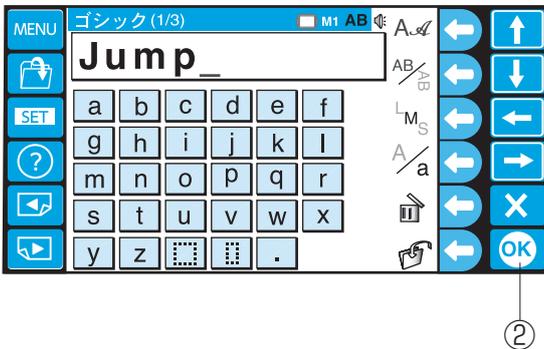


①ファンクションキー「大文字、小文字」

3, 4

3 「u」「m」「p」の順に選びます。

4 「OK キー」を押します。



② OK キー

5

5 めい実行画面が表示されます。



# 文字刺しゅう

## ●ぬい実行画面の機能説明

### 【1】

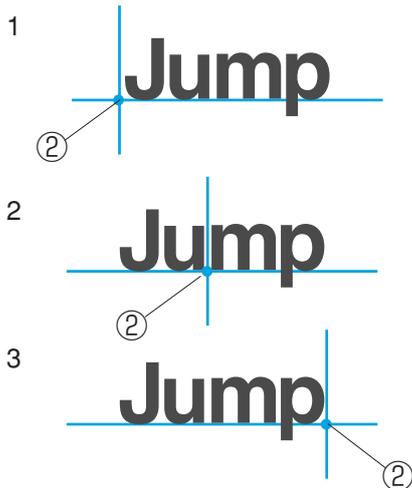


### 【1】ぬい原点の選択

模様（模様）のぬい原点は、3種類（左、中、右）のぬい原点から選択できます。

ファンクションキー「ぬい原点」を押す毎に、ぬい原点が変更します。

①ファンクションキー「ぬい原点」



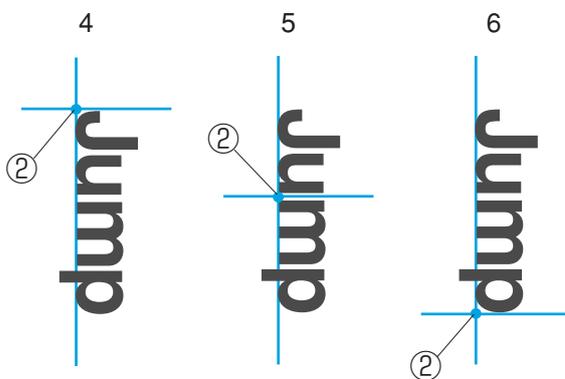
（横書きの場合）

1 左（先頭）ぬい原点のぬい上がり

2 中（中央）ぬい原点のぬい上がり

3 右（最終）ぬい原点のぬい上がり

②ぬい原点



（縦書きの場合）

4 左（先頭）ぬい原点のぬい上がり

5 中（中央）ぬい原点のぬい上がり

6 右（最終）ぬい原点のぬい上がり

②ぬい原点

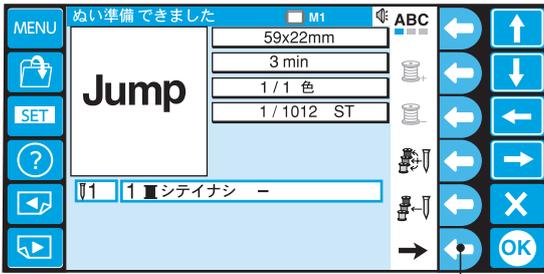


※ 糸色名の「シテイナシ」は文字刺しゅう等の模様糸色が選択されていないことを表示しています。

③糸色名

※ その他のファンクションキー「ぬい設定」(+)(-)、「自動針番号」、「手動針番号」の説明は、内蔵模様の41～42ページをごらんください。

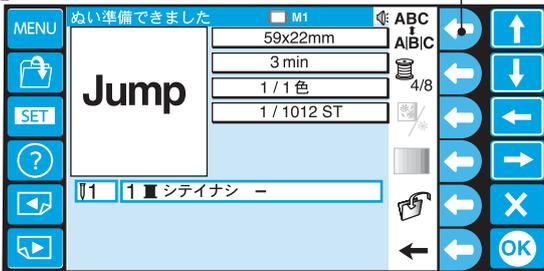
# 文字刺しゅう



※ ファンクションキー「画面切りかえ」で次の画面にある機能に切りかえます。

①ファンクションキー「画面切りかえ」

[2]

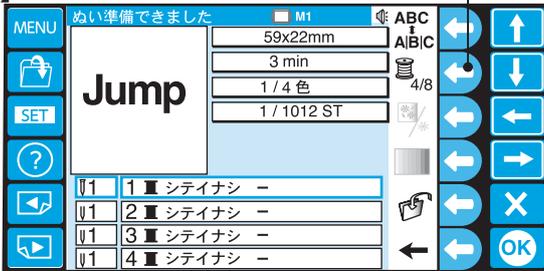


## [2] めい分解、合体設定

ファンクションキー「分解、合体」を押すと、文字を個々にめうか、文字を合体させてめうかを設定します。

①ファンクションキー「分解、合体」

[3]

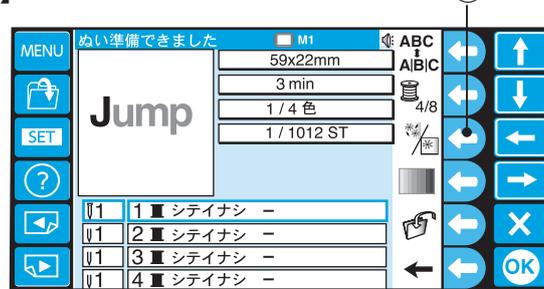


## [3] 色替え画面表示数の設定

ファンクションキー「色替え画面表示数」を押す毎に、画面に表示する色替え数を4または8に設定します。

①ファンクションキー「色替え画面表示数」

[4]



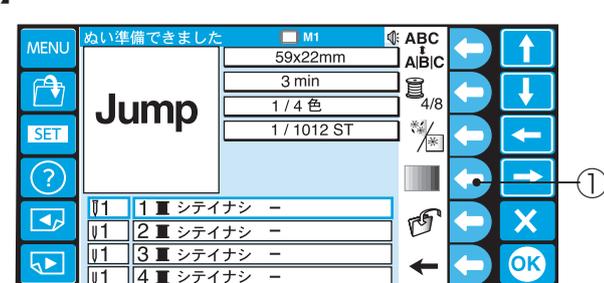
## [4] 模様表示切りかえ

ファンクションキー「模様表示切りかえ」を押す毎に、模様表示を全体表示または、色替え毎の表示に切りかえます。

①ファンクションキー「模様表示切りかえ」

※ ファンクションキー「分解、合体」キーを押したときに、表示されます。

[5]



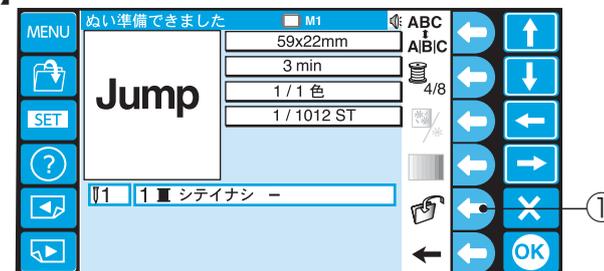
## [5] 糸色替えの設定

ファンクションキー「糸色替え」を押すと、色替え画面になり、糸の色替えができます。

①ファンクションキー「糸色替え」

※ 色替え方法は49ページをごらんください。

[6]



## [6] ファイルの保存

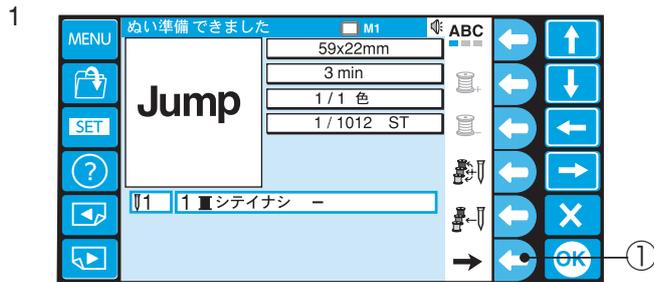
ファンクションキー「保存」を押すと、設定した項目が保存できます。

※ 保存方法は80ページをごらんください。

①ファンクションキー「保存」

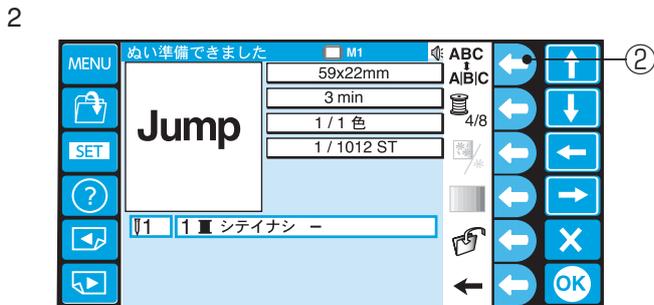
# 文字刺しゅう

## ●色替えの設定



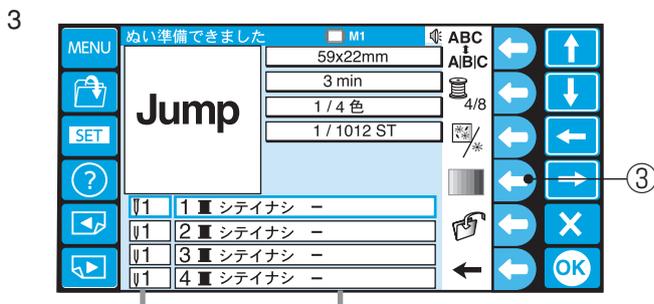
1 ファンクションキー「画面切りかえ」を押して、次のページを開きます。

①ファンクションキー「画面切りかえ」



2 ファンクションキー「分解、合体」を押します。

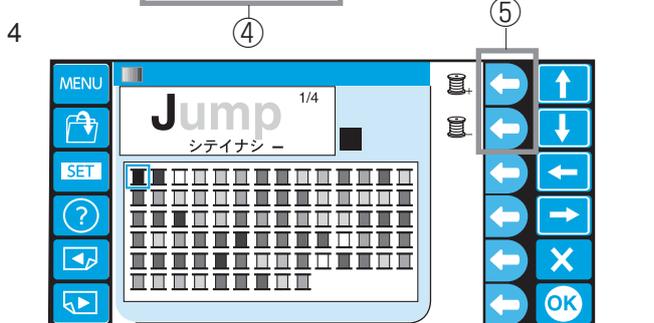
②ファンクションキー「分解、合体」



3 ファンクションキー「糸色替え」を押します。

③ファンクションキー「糸色替え」

④糸色分解表示



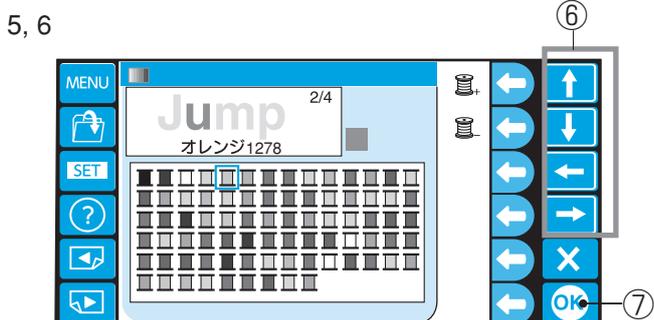
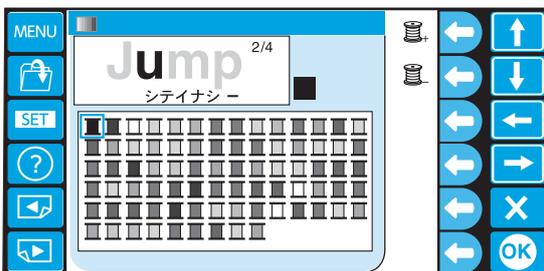
4 ファンクションキー「+」、「-」で文字を選びます。

ファンクションキー「+」を押すと、次の文字を選択します。

ファンクションキー「-」を押すと、1つ前の文字を選択します。

※ いちばん始めの文字が選ばれていて、ファンクションキー「-」を押すと、最後の文字が選択されます。

⑤ファンクションキー「+」「-」



5 「選択」キーで糸色を選びます。

⑥選択キー

6 「OK キー」を押します。

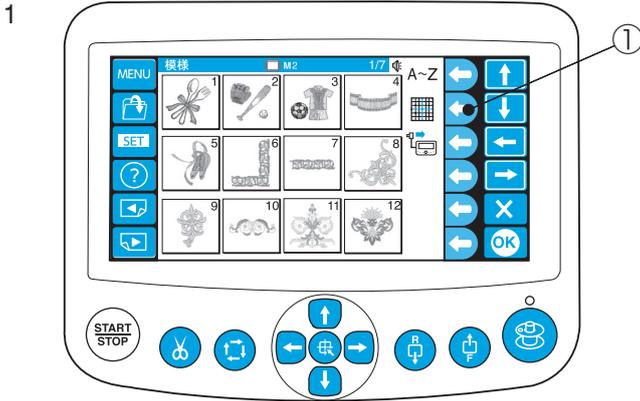
⑦ OK キー

※ 他の文字も3～6の手順で文字の色替えをします。

# 編集刺しゅう

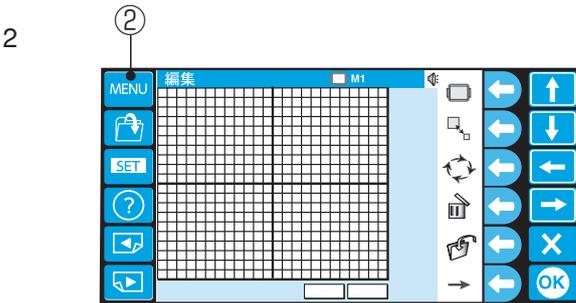
## ●編集画面

編集刺しゅうでは、刺しゅうデータを編集して、刺しゅうすることができます。



1 ファンクションキー「編集」を押すと、編集画面が表示されます。

①ファンクションキー「編集」



2 「MENU」キーを押して、データを読み込みます。

※ 編集刺しゅうでは、「MENUキー」は編集画面へのデータ読み込みの選択画面となります。

②MENUキー



3 ファンクションキー「項目」を押します。  
内蔵模様、文字から選びます。

③ファンクションキー「項目」

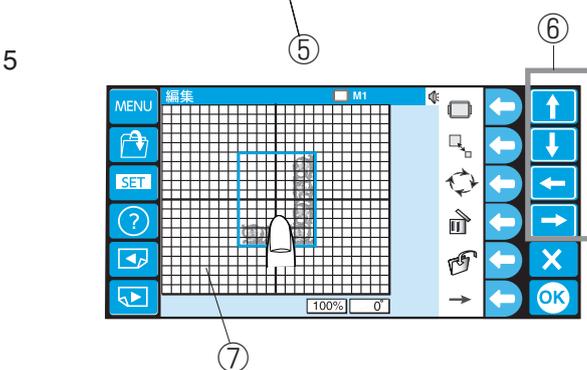
※ ファンクション「戻り」を押すと、前の画面に戻ります。

④ ファンクションキー「戻り」



4 「模様選択キー」を押して模様を選びます。

⑤模様選択キー



5 編集画面に模様が表示されます。

### 【模様の指定】

編集画面の中の変更する模様は画面上のその模様に触れることで選択され、緑色の枠で囲まれます。  
緑色の枠で囲まれた模様は、いろいろな機能を使って画面上で変更（編集）することができます。

また、模様に触れ、そのまま移動すると、それに従い模様も移動するドラッグ機能と、「選択キー」を使って模様を移動する方法があります。

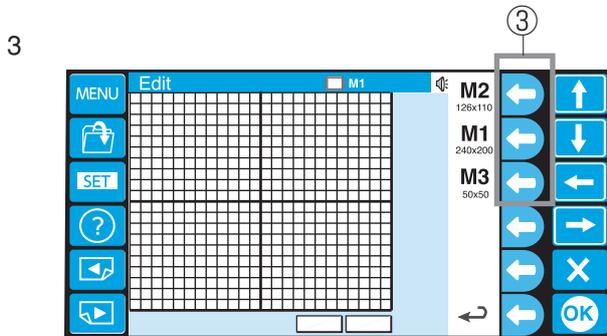
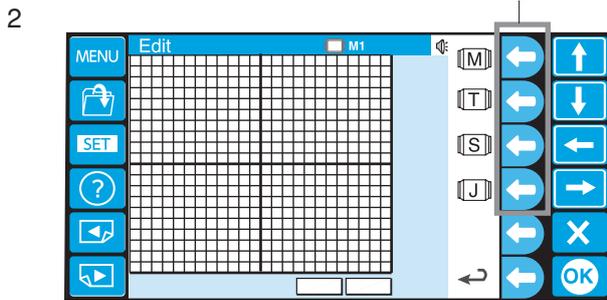
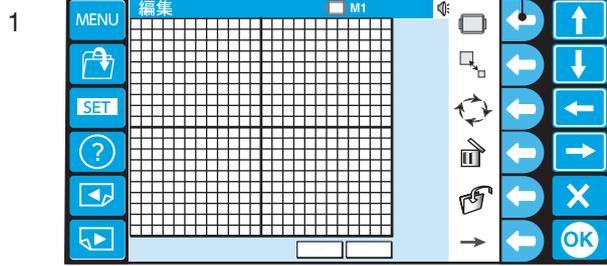
⑥選択キー

⑦グリッドライン

# 編集刺しゅう

## ●機能説明

### 【1】



### 【1】 枠選択

模様にあった枠、または用途にあった枠が選択ができます。

1 ファンクションキー「枠選択」を押して枠を選択します。

①ファンクションキー「枠選択」

2 ファンクションキー「枠種」を押して、使用する枠を選びます。

②ファンクションキー「枠種」

M: 標準付属刺しゅう枠

T: タジマ製刺しゅう枠 (市販品)

S: 特殊刺しゅう枠 (オプション)

J: Janome 製刺しゅう枠 (オプション)

3 ファンクションキー「枠」を押して、使用する枠を選びます。

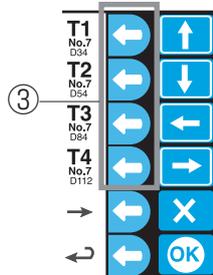
③ファンクションキー「枠」

(枠の種類)

M1 (240x200mm)

M2 (126x110mm)

M3 (50x50mm)



T1 No.7(D34mm)(タジマ製 933100239A00\*)

T2 No.9(D54mm)(タジマ製 933100439A00\*)

T3 No.12(D84mm)(タジマ製 933100639A00\*)

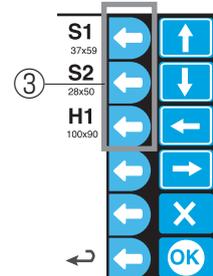
T4 No.15(D112mm)(タジマ製 933100839A00\*)

T5 No.18(D142mm)(タジマ製 933101039A00\*)

T6 200x115(78x168mm)

(タジマ製 933200239A00\*)

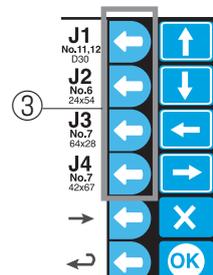
\* 印は、市販品です。



S1 (37x59mm) ソックス枠 (大) (オプション)

S2 (28x50mm) ソックス枠 (小) (オプション)

H1 (100x90mm) 帽子枠 (オプション)



J1 No.11,12 (D30mm) (オプション)

J2 No.6 (24x54mm) (オプション)

J3 No.13 (64x28mm) (オプション)

J4 No.8 (42x67mm) (オプション)

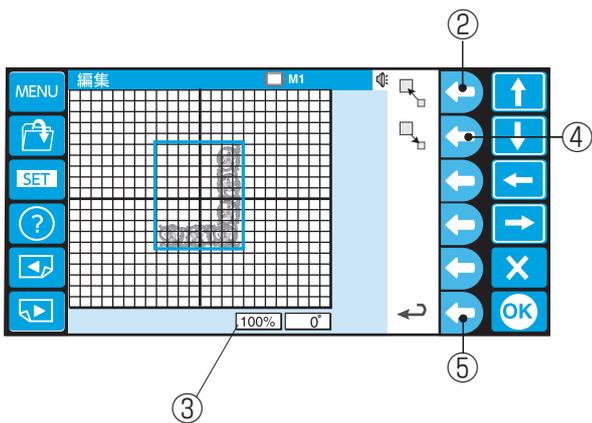
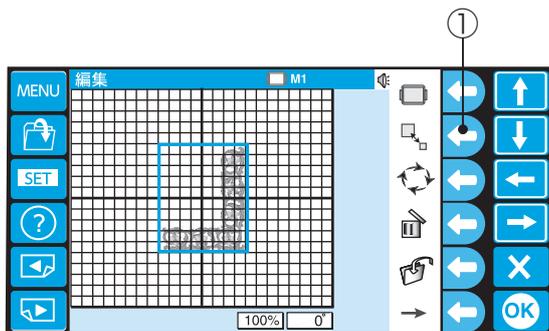
J5 No.3 (46x46mm) (オプション)

J6 No.2,9 (66x66mm) (オプション)

J7 No.1 (110x95mm) (オプション)

J8 No.7 (120x121mm) (オプション)

## 【2】



## 【2】 拡大、縮小選択

選択した模様（緑色の枠で選択されている）の大きさを80%～120%の範囲で拡大、縮小ができます。

1 ファンクションキー「拡大、縮小」を押します。

①ファンクションキー「拡大、縮小」

2 模様を拡大する場合はファンクションキー「拡大」を押します。

②ファンクションキー「拡大」

③拡大、縮小表示

3 模様を縮小する場合には、ファンクションキー「縮小」を押します。

④ファンクションキー「縮小」

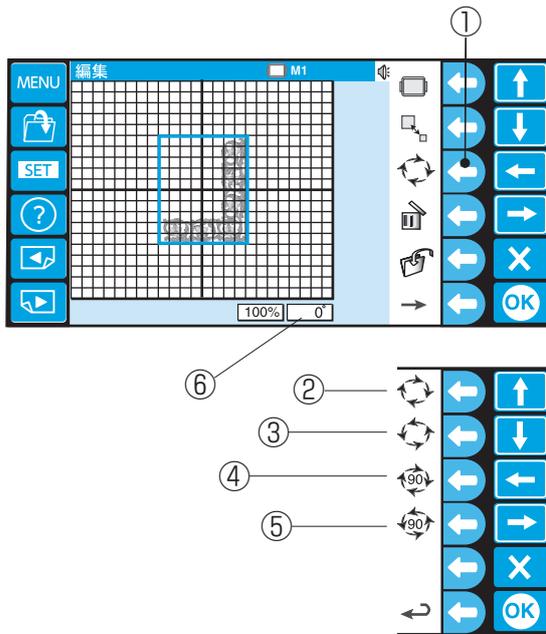
③拡大、縮小表示

※ ファンクション「戻り」を押すと、前の画面に戻ります。

⑤ ファンクションキー「戻り」

## 編集刺しゅう

【3】

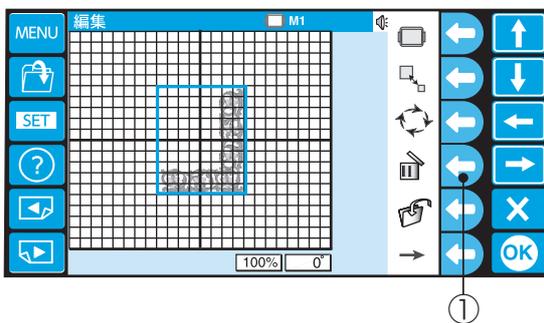


### 【3】 回転選択

選択した模様（緑色の枠で選択されている）を回転させることができます。

- 1 ファンクションキー「回転」を押します。  
①ファンクションキー「回転」
- 2 模様を右に1°ずつ回転させる場合には、ファンクションキー「右回転」を押します。  
②ファンクションキー「右回転」
- 3 模様を左に1°ずつ回転させる場合には、ファンクションキー「左回転」を押します。  
③ファンクションキー「左回転」
- 4 模様を右に90°ずつ回転させる場合には、ファンクションキー「右90°回転」を押します。  
④ファンクションキー「右90°回転」
- 5 模様を左に90°ずつ回転させる場合には、ファンクションキー「左90°回転」を押します。  
⑤ファンクションキー「左90°回転」
- ⑥回転角度表示

【4】

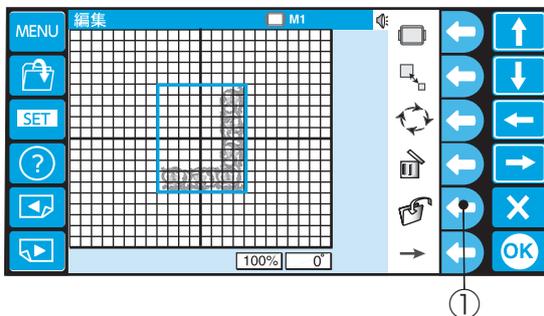


### 【4】 削除選択

選択した模様（緑色の枠で選択されている）を削除します。

- 1 ファンクションキー「削除」を押すと、選択した模様は削除されます。  
①ファンクションキー「削除」

【5】



### 【5】 ファイルの保存選択

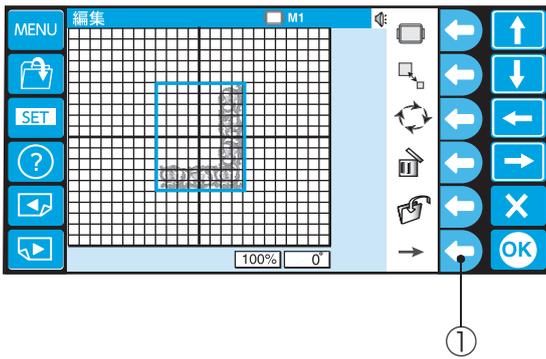
編集した模様の保存ができます。

- 1 ファンクションキー「保存」を押します。  
①ファンクションキー「保存」

※ 保存方法は、80ページをごらんください。

## 編集刺しゅう

【6】

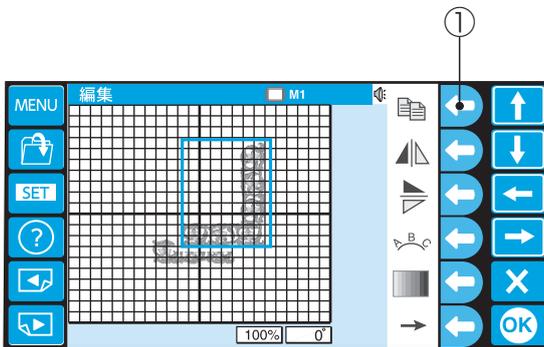


### 【6】 画面切りかえ選択

ファンクションキー「画面切りかえ」を押して、次の画面にある機能に切りかえます。

- ①ファンクションキー「画面切りかえ」

【7】



### 【7】 コピー選択

選択した模様（緑色の枠で選択されている）をコピーすることができます。

- 1 ファンクションキー「コピー」を押すと、選択した模様がコピーされます。

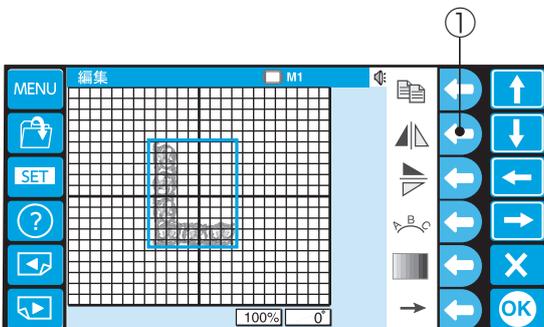
①ファンクションキー「コピー」

※ コピーした模様は、重なって表示します。

模様を移動して確認してください。

模様の移動は 50 ページをごらんください。

【8】



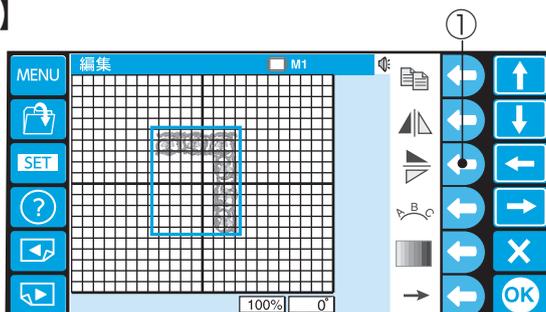
### 【8】 左右反転選択

選択した模様（緑色の枠で選択されている）を左右に反転することができます。

- 1 ファンクションキー「左右反転」を押すと、選択した模様が左右反転します。

①ファンクションキー「左右反転」

【9】



### 【9】 上下反転選択

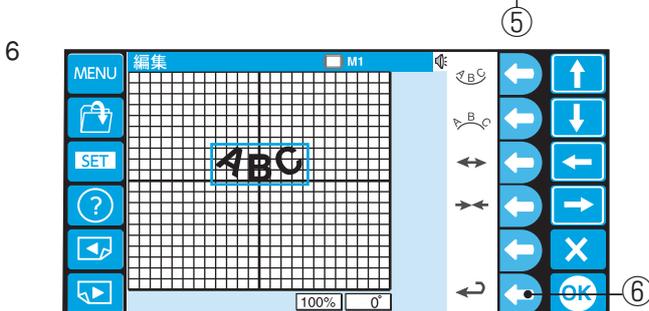
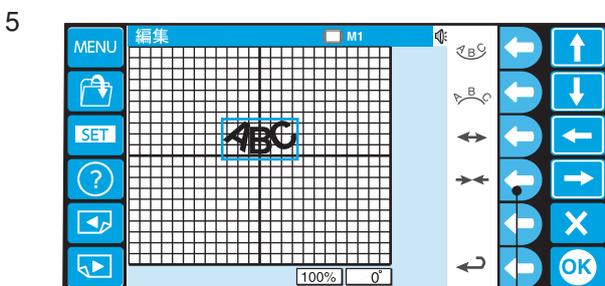
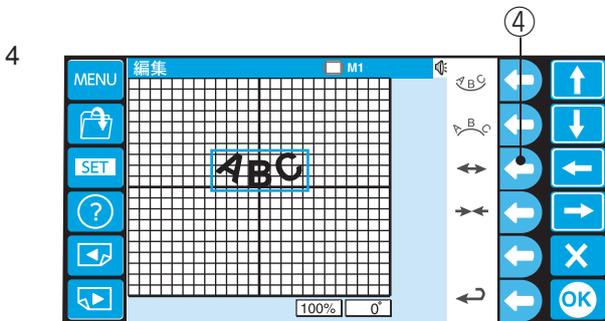
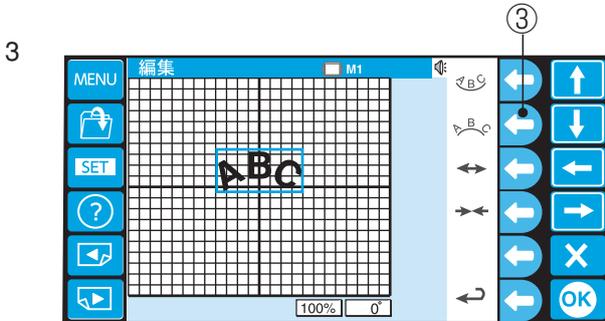
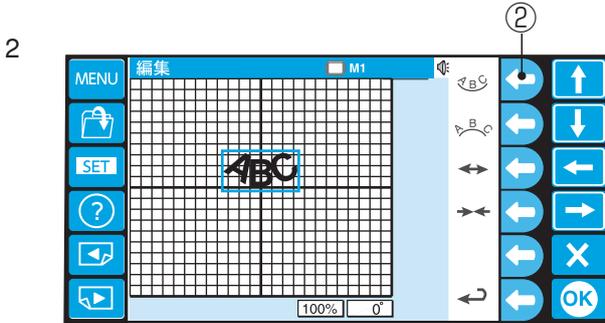
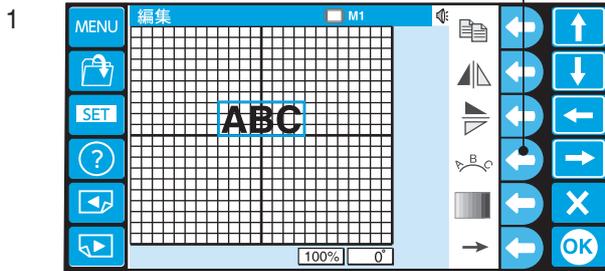
選択した模様（緑色の枠で選択されている）を上下に反転することができます。

- 1 ファンクションキー「上下反転」を押すと、選択した模様が上下反転します。

①ファンクションキー「上下反転」

# 編集刺しゅう

【10】



## 【10】 アーク選択（文字刺しゅう）

組み合わせた文字（緑色の枠で囲まれている）を上向き、または下向きの円（アーク）に並べることができます。

1 ファンクションキー「アーク」を押します。

①ファンクションキー「アーク」

2 文字を上向きにアークさせる場合には、ファンクションキー「上向きアーク」を押します。

②ファンクションキー「上向きアーク」

3 文字を下向きにアークさせる場合には、ファンクションキー「下向きアーク」を押します。

③ファンクションキー「下向きアーク」

4 文字の間隔を広げる場合には、ファンクションキー「文字間隔大」を押し、文字の間隔を広げます。

④ファンクションキー「文字間隔大」

5 文字の間隔を狭くする場合には、ファンクションキー「文字間隔小」を押し、文字の間隔を狭くします。

⑤ファンクションキー「文字間隔小」

6 編集が終わったら、ファンクションキー「戻り」を押します。

⑥ファンクションキー「戻り」

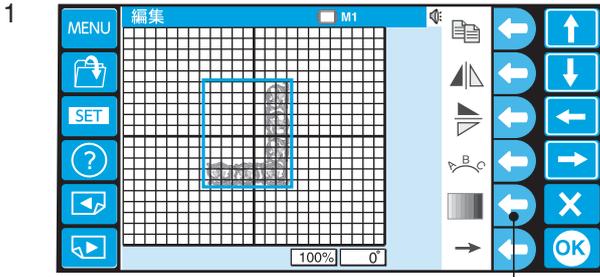
# 編集刺しゅう

## 【11】

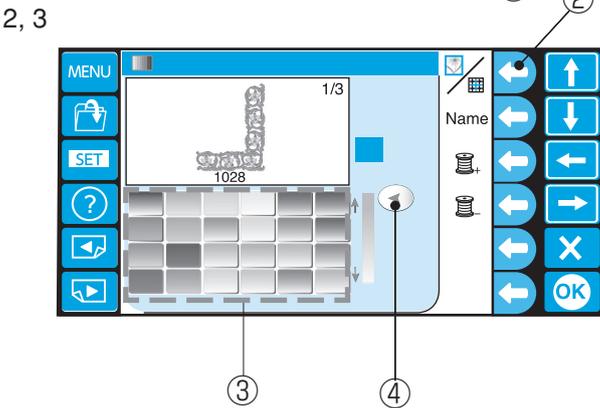
## 【11】 糸色／背景色選択

選択した模様の手色と編集画面の背景色の変更ができます。

- 1 ファンクションキー「色替え」を押します。  
①ファンクションキー「色替え」

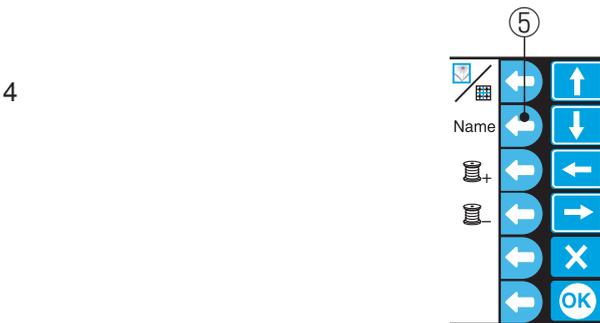


- 2 ファンクションキー「色替え対象変更」を押して、模様の手色または背景色に切りかえます。  
②ファンクションキー「色替え対象変更」



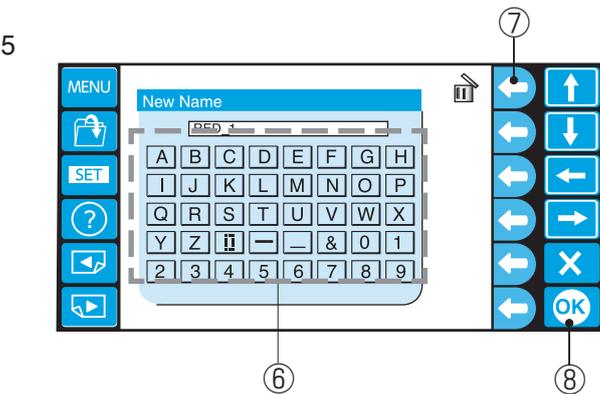
- 3 「カラーパレット」を押して色を選びます。  
③カラーパレット  
※ 色の濃淡を調整する場合には、「濃淡調整キー」を指で押しながら、上下させ調整します。  
④濃淡調整キー

- 4 糸の名前を付ける場合には、ファンクションキー「Name」を押します。「英、数字」キーを押して名前を付けます。  
⑤ファンクションキー「Name」

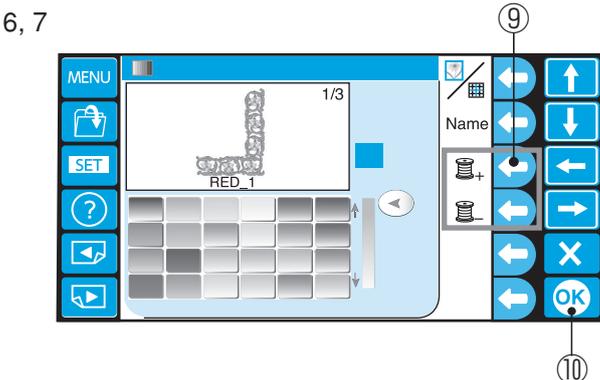


- ⑥「英、数字」キー  
※ 入力した文字の削除は、ファンクションキー「削除」を押します。1文字ずつ削除します。  
⑦ファンクションキー「削除」

- 5 「OK キー」を押します。  
⑧ OK キー



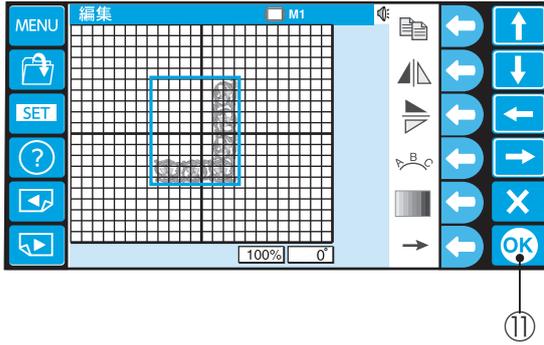
- 6 次の糸色をかえるときには、ファンクションキー「+」または「-」を押して、手順3～5を行います。  
⑨ファンクションキー「+」「-」



- 7 糸色または背景色の設定が終わったら「OK キー」を押します。  
⑩ OK キー

# 編集刺しゅう

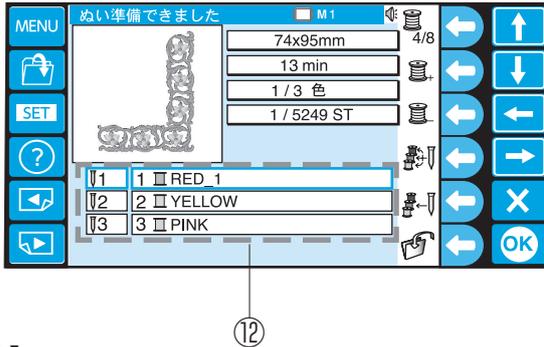
8



8 編集画面になったら「OK キー」を押します。

⑪ OK キー

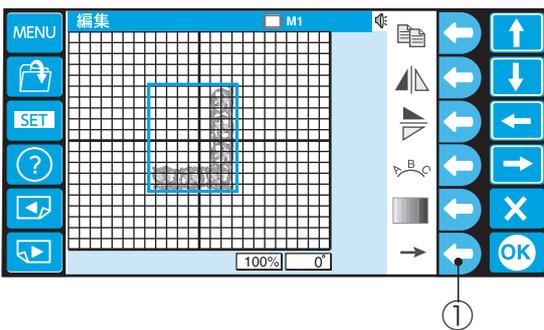
9



9 ぬい実行画面に変更した糸色名が表示されます。

⑫ 糸色名

【12】



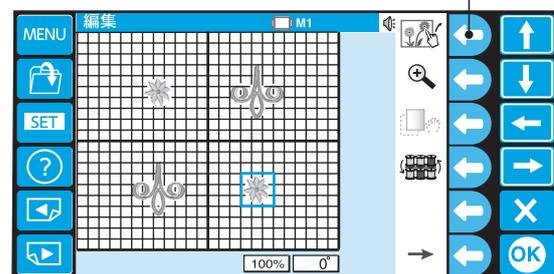
【12】画面切りかえ選択

ファンクションキー「画面切りかえ」を押して、次の画面にある機能に切りかえます。

①ファンクションキー「画面切りかえ」

【13】

1



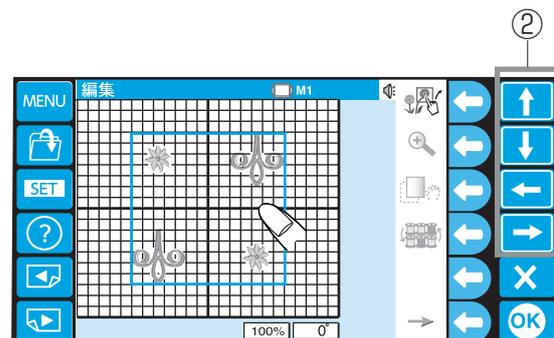
【13】複数模様の合成と合成解除設定

編集した模様を合成して、移動することができます。

1 ファンクションキー「合成 / 合成解除」を押すと、編集した模様が合成します。  
もう一度押すと、合成が解除されます。

①ファンクションキー「合成 / 合成解除」

2

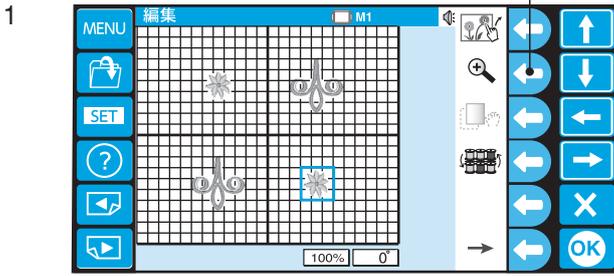


2 ドラッグ、または「選択キー」を使って模様の変動ができます。

②選択キー

# 編集刺しゅう

## 【14】



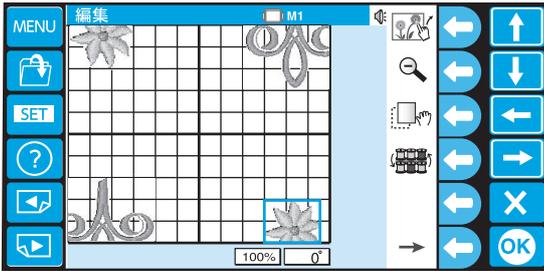
## 【14】画面拡大設定

画面を拡大表示することができます。

- 1 ファンクションキー「拡大/縮小」を押すと、画面を拡大することができます。  
もう一度押すと、もとの画面に戻ります。

①ファンクションキー「拡大/縮小」

2



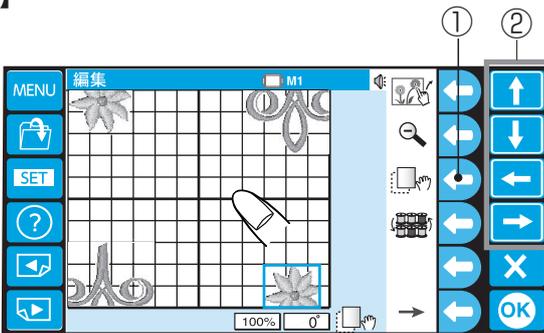
- 2 模様を選択して移動ができます。

## 【お願い】

針数の多い模様は、メモリの関係で拡大表示できない場合がありますので、ご了承ながいませう。

## 【15】

1, 2



## 【15】画面表示領域の移動

- 1 画面拡大のときに、ファンクションキー「表示領域移動」を押します。

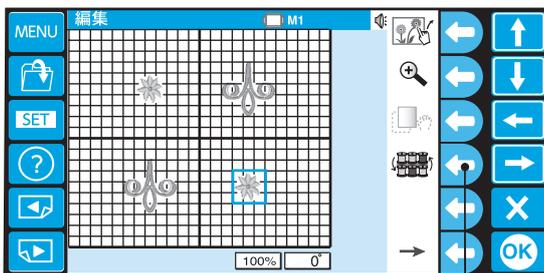
①ファンクションキー「表示領域移動」

- 2 表示画面をドラッグすると、拡大された表示が移動します。

※「選択キー」を押すと、選択された模様（緑枠で囲まれた模様）の移動になります。

②選択キー

1



## 【16】同色まとめ機能

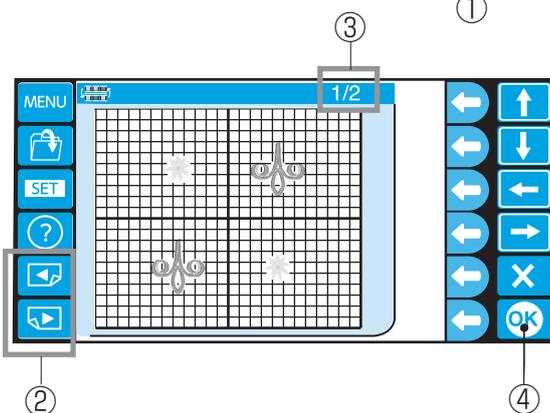
編集中の模様の内、色構成がすべて一致する模様を1つのグループとしてまとめることができます。

- 1 ファンクションキー「同色まとめ」を押します。

①ファンクションキー「同色まとめ」

※ 色構成が一致する模様がない場合、1グループ1模様になります。

2, 3



- 2 グループの切りかえは「ページキー」で行います。

②ページキー

③グループ数表示

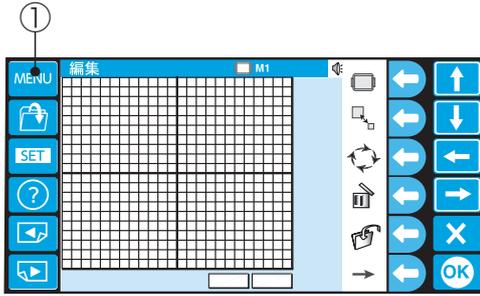
- 3 「OK キー」を押します。

④OK キー

# 編集刺しゅう

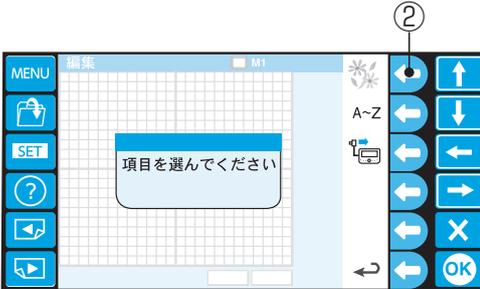
## ●編集例（模様と文字の組み合わせ）

1



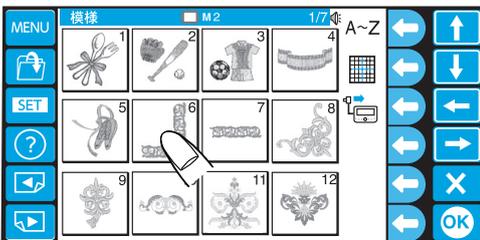
- 1 「MENU キー」を押して、データを読み込みます。  
① MENU キー

2

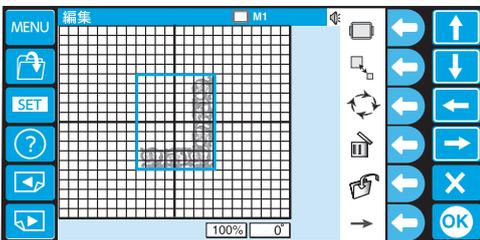


- 2 ファンクションキー「内蔵模様」を押します。  
②ファンクションキー「内蔵模様」

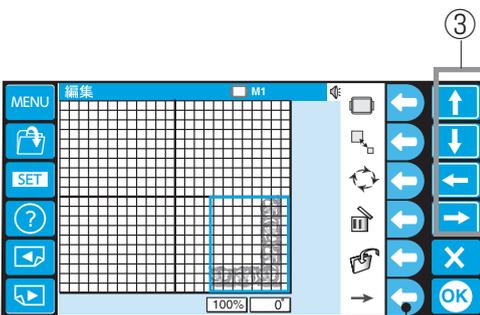
3



- 3 模様 # 6 を選びます。

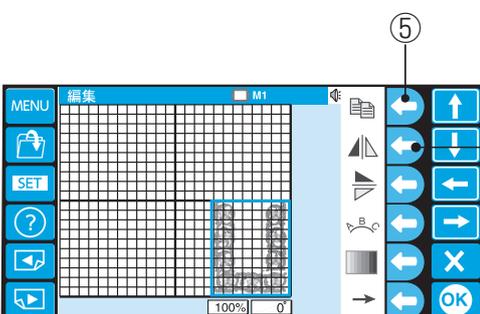


4, 5



- 4 指で移動、または「選択キー」で模様を移動します。  
③選択キー  
5 ファンクションキー「画面切りかえ」を押します。  
④ファンクションキー「画面切りかえ」

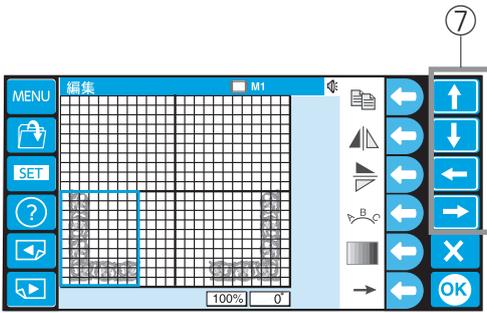
6, 7



- 6 ファンクションキー「コピー」を押します。  
⑤ファンクションキー「コピー」  
7 ファンクションキー「左右反転」を押します。  
⑥ファンクションキー「左右反転」

## 編集刺しゅう

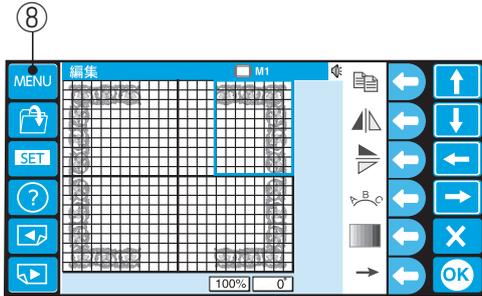
8



8 指でドラック、または「選択キー」で模様を移動します。

⑦ 選択キー

9, 10

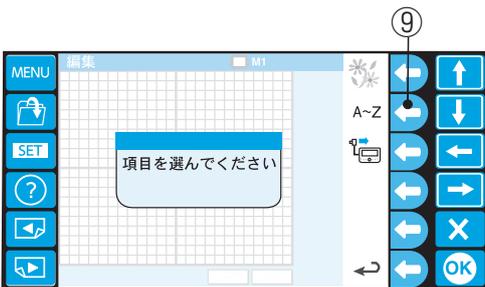


9 コピーと反転をくり返して、模様の移動をします。

10 模様の移動が終わったら文字を入力するので「MENU」キーを押します。

⑧ MENU キー

11

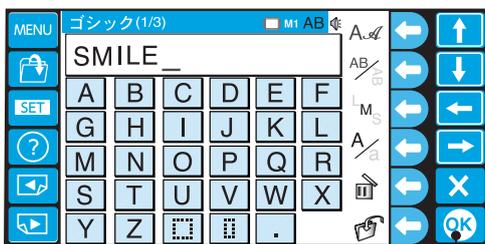


11 ファンクションキー「文字」を押します。

⑨ ファンクションキー「文字」

12, 13

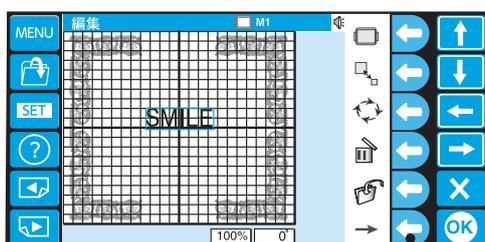
12 「S」「M」「I」「L」「E」と入力します。



13 「OK キー」を押します。

⑩ OK キー

14



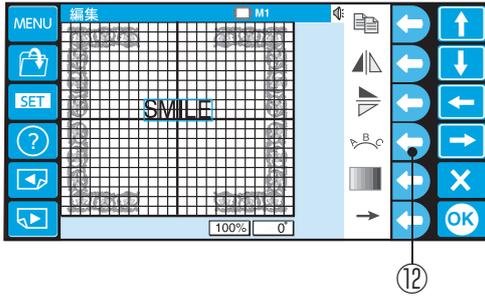
14 文字をアーク状にするため、ファンクションキー「画面切りかえ」を押します。

⑪ ファンクションキー「画面切りかえ」

# 編集刺しゅう

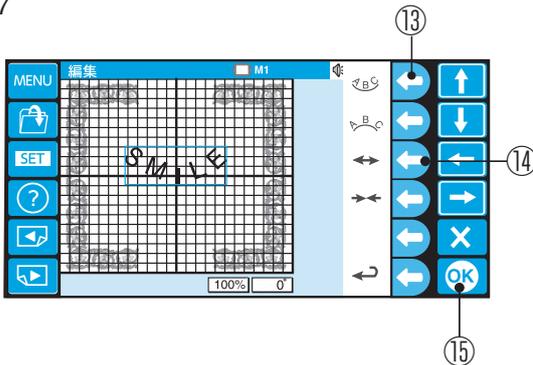
15

15 ファンクションキー「アーク」を押します。  
⑫ファンクションキー「アーク」



16, 17

16 ファンクションキー「上向きアーク」とファンクションキー「文字間隔大」を押してアーク文字を作ります。  
⑬ファンクションキー「上向きアーク」  
⑭ファンクションキー「文字間隔大」



17 「OK キー」を押します。  
⑮ OK キー

18

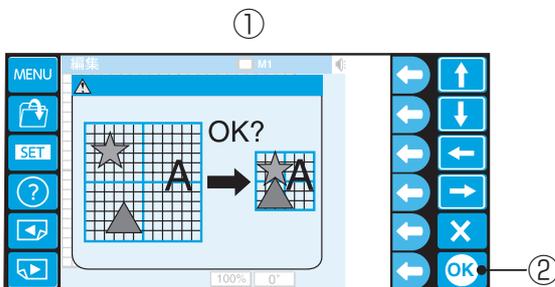
18 「スタート/ストップボタン」を押してぬいませう。

※ データの保存方法は、80 ページをごらんください。



## 【編集後の枠変更】

編集後、小さい枠に変更する場合、模様の大きさはかわらず、枠の大きさのみがかわります。模様を配置したはんいが変更後の枠サイズをオーバーしている場合は、警告画面が出ます。「OK キー」を押すと、模様が移動して枠サイズが小さくなります。



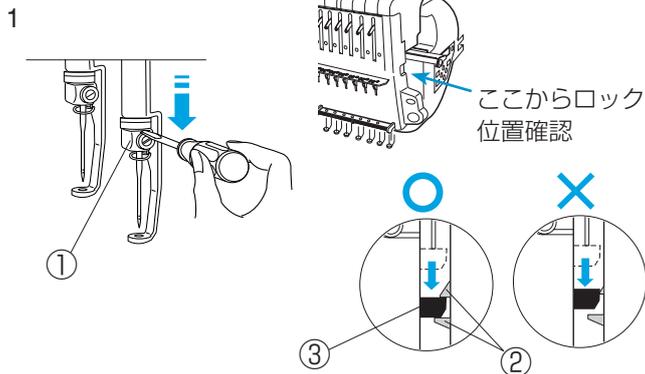
- ①警告画面
- ② OK キー

※ 変更後は、もとに戻りません。  
※ 配置のし方によっては、模様が重なります。

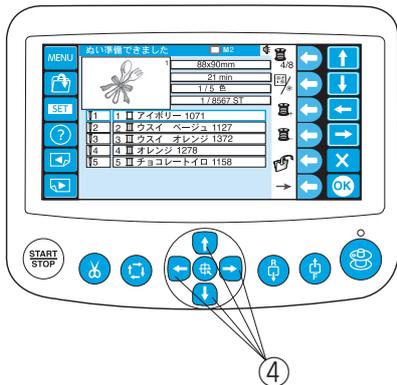
# ぬってみましょう（内蔵模様）

## ●ぬい位置の確認

### 【1】

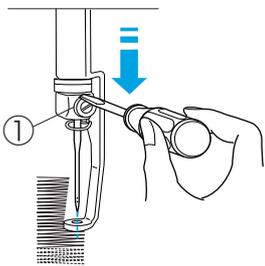


2, 3

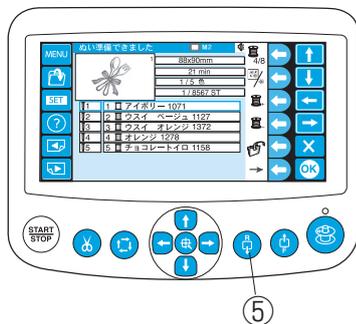


### 【2】

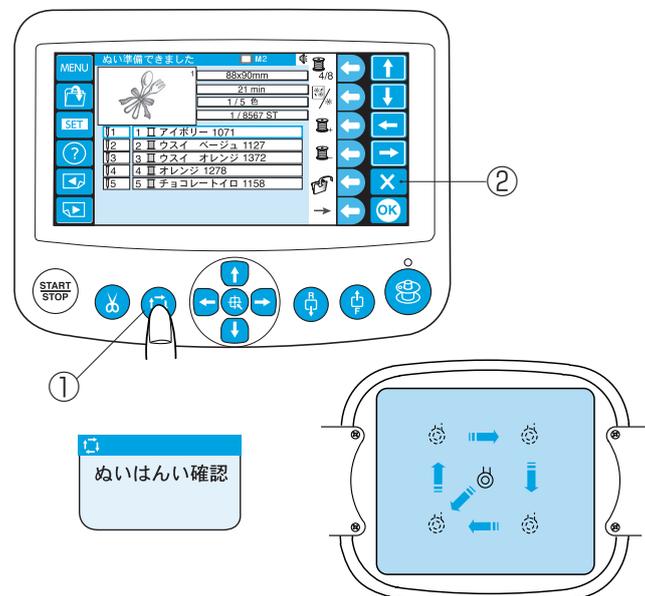
1



2, 3



## ●ぬいはんいの確認



### 【1】ぬい始めの位置合わせ

模様を選ぶとスタート位置（模様を中心）に枠が移動します。

針位置に刺しゅうをぬいたい位置の中心がくるように、刺しゅう枠を移動します。

1 針止めにドライバーをあて、針と押さえをロックする位置までさげ、ぬい位置を確認します。

①針止め ②つめ ③針棒ダキ

※ 針をさげるとき、ロック位置を確認してください。針棒ダキが2つのつめにきちんと入っていないと、位置合わせができません。

2 「ジョグボタン」を押して、ぬい位置を合わせます。

④ジョグボタン

ボタンを押すと、刺しゅう枠が手前、または後方に移動します。

ボタンを押すと、刺しゅう枠が左、または右に移動します。

※ ボタンを一度押すと、枠が0.1mm移動します。ボタンを押し続けている間は、ボタンをはなすまで、ぬいはんい内で移動します。

3 確認が終わったら、針と押さえをさげたま「スタート/ストップボタン」を押してぬいます。

### 【2】糸切れ時の位置合わせ

1 針止めにドライバーをあて、針と押さえをロックする位置までさげます。

※ ロック位置の確認をしてください。

上記、【1】ぬい始めの位置合わせをごらんください。

2 「針後進ボタン」を押して、ぬっている部分と少し重なったところに針位置がくるように、調整します。

⑤針後進ボタン

3 確認が終わったら、針と押さえをさげたま「スタート/ストップボタン」を押してぬいます。

「ぬいはんい確認ボタン」を押して、模様のぬいはんいを確認します。

①ぬいはんい確認ボタン

※ ぬいはんい確認中に「ぬいはんい確認ボタン」を押すと、一時停止します。

再度「ぬいはんい確認ボタン」を押すとぬいはんいの確認を再開します。

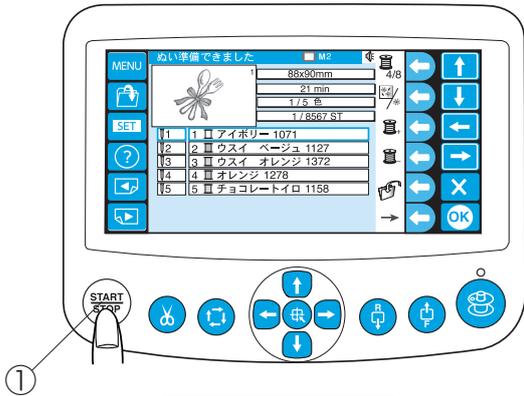
※ ぬいはんい確認中に「キャンセルキー」を押すと、ぬいはんい確認を中止します。

②キャンセルキー

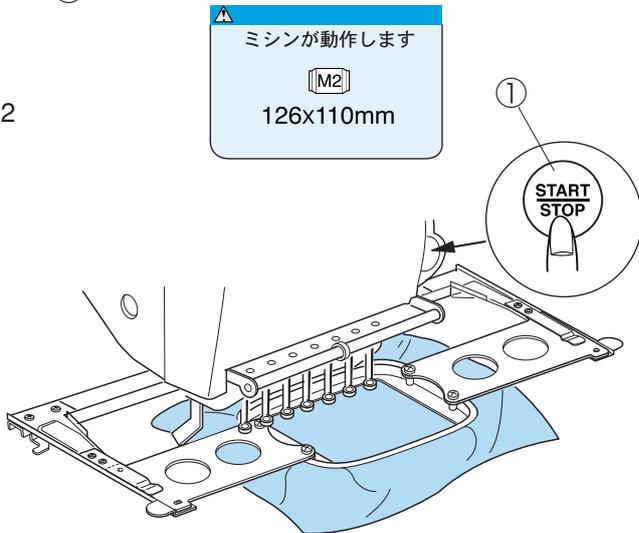
# ぬってみましょう (内蔵模様)

## ●ぬいスタート

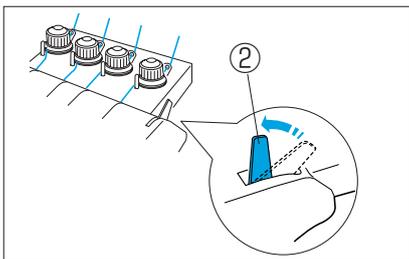
1



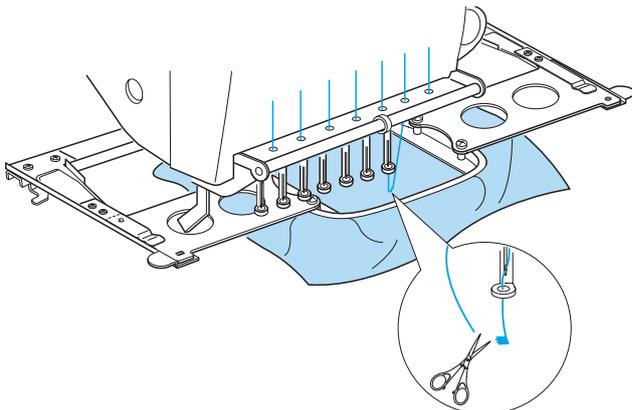
2



糸調子レバーを引いてください。



3, 4



### 《お願い》

※ 糸と布の組み合わせにより仕上がり状態がかわりますので、試しぬいをしてください。

- 1 「スタート/ストップボタン」を押します。
- ※ 機能設定でぬい確認メッセージ設定をした場合「ミシンが動作します。」の注意画面が表示されます。(76 ページをごらんください。)

①スタート/ストップボタン

- 2 もう一度「スタート/ストップボタン」を押してスタートします。

※ 本体の「スタート/ストップボタン」も使えます。

※ スタート/ストップボタンを押して左の警告画面が出たら、糸調子レバーを引きます。

②糸調子レバー

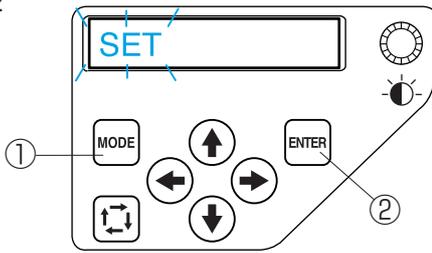
- 3 5～6針ぬったら「スタート/ストップボタン」を押してミシンを止めます。  
ぬい始めの糸を切ります。

- 4 「スタート/ストップボタン」を押して、ぬいます。

# 機能設定 (コントロールパネル)

## ●機能設定 (マイセット)

1, 2



機能設定の入り方

1 「MODE ボタン」を押して、表示を「SET」(点滅)にします。

2 「ENTER ボタン」を押します。

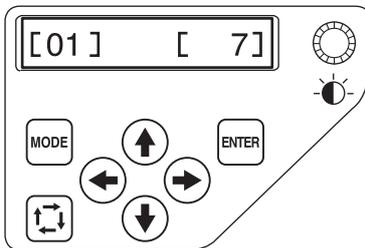
① MODE ボタン

② ENTER ボタン

※ 機能設定の項目を切りかえるときは  または  ボタンを押します。

※ 画面の表示は、初期の状態 (購入時のセット状態) を表示しています。

【1】



### 【1】ブザー音量の設定

 画面の表示は、ブザー音量の設定画面です。

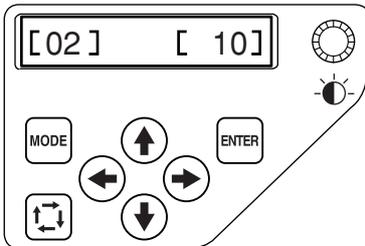
お好みにより、ボタンを押したときなどの音量を 0 から 10 でかえることができます。

1 ブザー音を大きくしたいときは、 ボタンを押して、数値を大きくします。

2 ブザー音を小さくしたいときは、 ボタンを押して、数値を小さくします。

※ 「ENTER ボタン」を押すと、確定してぬい実行画面に戻ります。

【2】



### 【2】省エネモードの設定

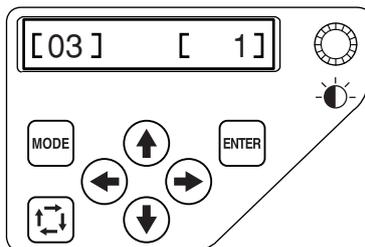
 画面の表示は、省エネモードの設定画面です。

電源を入れたままで刺しゅう機を使用しないとき、省エネモードで設定した時間がたつと液晶表示画面が暗くなり、ランプが消えます。

1  または  ボタンを押して、1分から30分、OFFの間で設定することができます。

※ 「ENTER ボタン」を押すと、確定してぬい実行画面に戻ります。

【3】



### 【3】パソコン PC に対する刺しゅう機の ID の設定

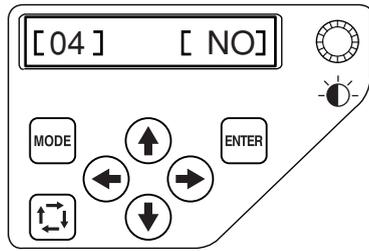
 画面の表示は、パソコン PC に対する刺しゅう機の ID の設定画面です。

1  または  ボタンを押して、1から3で設定することができます。

※ 「ENTER ボタン」を押すと、確定してぬい実行画面に戻ります。

## 機能設定 (コントロールパネル)

【4】



### 【4】 本体内部メモリのフォーマット設定

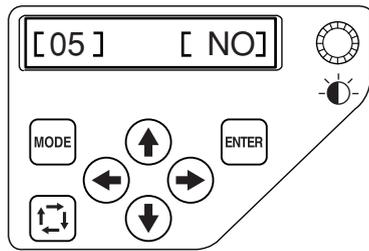
[04] [NO] 画面の表示は、本体内部メモリのフォーマット設定画面です。

1 ◀ または ▶ ボタンを押して、「YES」を選ぶとフォーマット設定になります。

※ 実行すると、データは削除されます。

※ 「ENTER ボタン」を押すと、確定してぬい実行画面に戻ります。

【5】



### 【5】 設定値のデフォルト設定

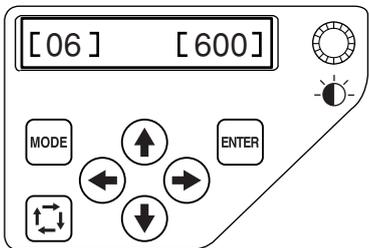
[05] [NO] 画面の表示は、設定値のデフォルト設定画面です。

すべての設定を初期の状態（購入時のセット状態）に戻します。

1 ◀ または ▶ ボタンを押して、「YES」を選ぶと初期の状態（購入時のセット状態）になります。

※ 「ENTER ボタン」を押すと、確定してぬい実行画面に戻ります。

【6】



### 【6】 最高ぬい速度の設定

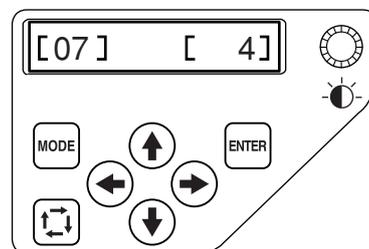
[06] [600] 画面の表示は、最高ぬい速度の設定画面です。

ぬい速度を 400 ~ 800spm (針 / 分) の間で 100spm ごとにかえることができます。

1 ◀ または ▶ ボタンを押して、ぬい速度を決めます。

※ 「ENTER ボタン」を押すと、確定してぬい実行画面に戻ります。

【7】



### 【7】 糸メーカの設定

[07] [4] 画面の表示は、糸メーカの設定画面です。使用する糸を選択すると、その糸に対応した糸番号が自動セットされます。

1 ◀ または ▶ ボタンを押して、番号 1 から 8 を選びます。

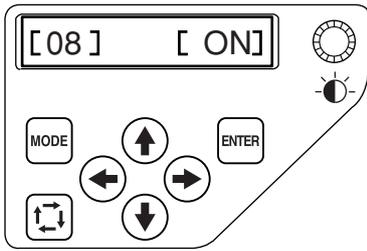
(番号と糸メーカ表を参考にしてください。)

- 1 JANOME
- 2 Gütermann SULKY (Rayon 40)
- 3 Madeira (Polyneon 40)
- 4 Madeira (Rayon 40)
- 5 Robison-Anton (Polyester 40)
- 6 Robison-Anton (Rayon 40)
- 7 Mettler (Poly Sheen)
- 8 Pearl Yacht (Rayon)

※ 「ENTER ボタン」を押すと、確定してぬい実行画面に戻ります。

## 機能設定 (コントロールパネル)

【8】



### 【8】ぬい実行確認メッセージ表示設定

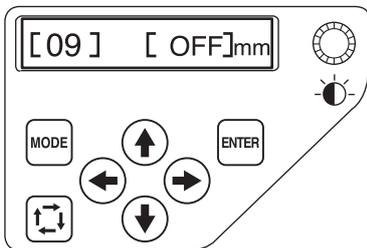
【08】 [ON] 画面の表示は、ぬい実行確認メッセージ表示設定画面です。

ぬい実行時の確認メッセージを表示設定できます。

- 1 メッセージを表示させるときは「ON」を、メッセージを表示させないときは「OFF」を ボタン、または ボタンを押して選びます。

※ 「ENTER ボタン」を押すと、確定してぬい実行画面に戻ります。

【9】



### 【9】小ピッチ削除設定

【09】 [OFF]mm 画面の表示は、小ピッチ削除設定画面です。

模様のピッチが細かすぎると、糸切れや針折れが発生するおそれがあります。防止するためにあらかじめ細かいピッチのステッチを削除するように設定することができます。

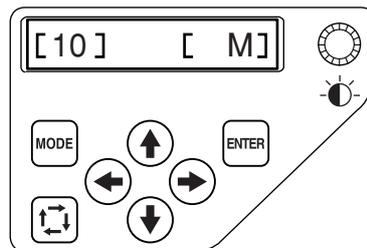
設定したピッチ以下の模様が削除されます。

初期の値（購入時のセット状態）は「OFF」です。

- 1 または ボタンを押して選びます。  
(0 から 1.0mm まで 0.1mm ごとに選べます)

※ 「ENTER ボタン」を押すと、確定してぬい実行画面に戻ります。

【10】



### 【10】糸切り後の残糸長さ設定

【10】 [M] 画面の表示は、糸切り後の残糸長さ設定画面です。

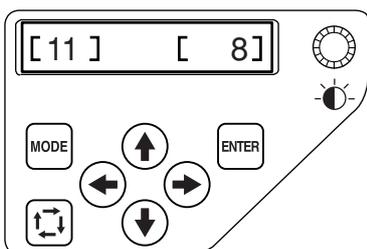
糸切り後の残糸長さを短い「S」、ふつう「M」、長い「L」の3段階で選びます。

初期の値（購入時のセット状態）は「M」です。

- 1 または ボタンを押して選びます。

※ 「ENTER ボタン」を押すと、確定してぬい実行画面に戻ります。

【11】



### 【11】糸切れ検出針数設定

【11】 [ 8] 画面の表示は、糸切れ検出針数設定画面です。

糸切れ時の検出する針数を 14 段階（3～16 針）で設定できます。

初期の値（購入時のセット状態）は「8」です。

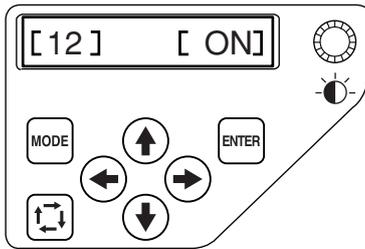
- 1 または ボタンを押して選びます。

※ ぬい始めでの糸切れ検出は、針数設定値より数針遅く糸切れ検出されます。

※ 「ENTER ボタン」を押すと、確定してぬい実行画面に戻ります。

## 機能設定 (コントロールパネル)

【12】



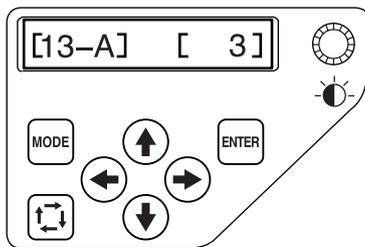
### 【12】 渡り糸の糸切り設定

【12】 [ON] 画面の表示は、渡り糸の糸切り設定画面です。渡り糸の糸切り有「ON」無「OFF」を設定します。

1 ◀ または ▶ ボタンを押して選びます。

※ 「ENTER ボタン」を押すと、確定してぬい実行画面に戻ります。

【13-A】



### 【13-A】 渡り糸の糸切り判定ジャンプコード数設定

【13-A】 [3] 画面の表示は、渡り糸の糸切り判定ジャンプコード数設定画面です。

渡り糸の糸切り実行を判定するジャンプコード個数を1～8で設定します。(デジタイザーソフトをご利用の方で、渡り糸の糸切り判定をジャンプコード個数で行う場合におすすめします。)

初期の値(購入時のセット状態)は3です。

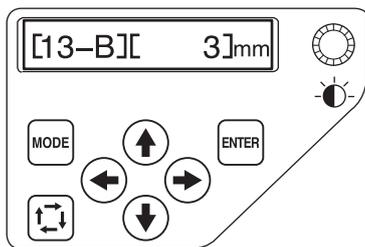
1 ◀ または ▶ ボタンを押して選びます。

※ この設定を使用するときは、【13-B】 渡り糸の糸切り長さを「OFF」にします。

※ 「ENTER ボタン」を押すと、確定してぬい実行画面に戻ります。

※ デジタイザーソフトを利用していない方は、【13-B】 の設定をおすすめします。

【13-B】



### 【13-B】 渡り糸の糸切り長さ設定

【13-B】 [3]mm 画面の表示は、渡り糸の糸切り長さ設定画面です。

1～5、10から5mmずつ30mm、OFFのはんいで設定できます。

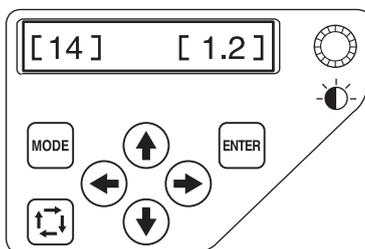
初期の値(購入時のセット状態)は3mmです。

1 ◀ または ▶ ボタンを押して選びます。

※ この設定を使用するときには、【13-A】 ジャンプコード数設定を8にしてください。

※ 「ENTER ボタン」を押すと、確定してぬい実行画面に戻ります。

【14】



### 【14】 糸切り位置の設定

【14】 [1.2] 画面の表示は、糸切り位置の設定画面です。

糸切りをする針落ち位置を、最後のぬい位置(OFF)か、または、最後のぬい位置から移動させたい場合、糸切りをする針落ち位置の設定ができます。

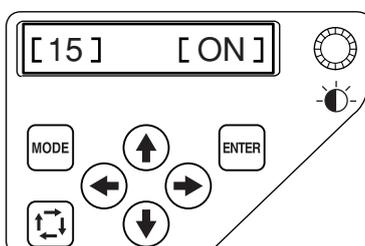
初期の値(購入時のセット状態)は1.2mmです。

OFF、0.5mm～1.5mmの間でかえられます。

1 ◀ または ▶ ボタンを押して選びます。

※ 「ENTER ボタン」を押すと、確定してぬい実行画面に戻ります。

【15】



### 【15】 お好み記憶モードの設定

【15】 [ON] 画面の表示は、お好み記憶(リジューム機能)設定画面です。

お好み記憶(リジューム機能)とは、電源投入時に最後に実行していたぬいの続きから作業が実行できる機能です。

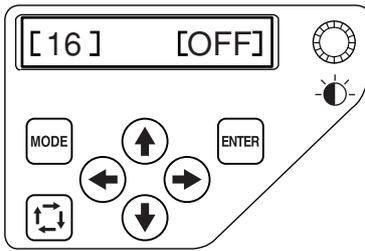
お好み記憶有「ON」無「OFF」を設定します。

1 ◀ または ▶ ボタンを押して選びます。

※ 「ENTER ボタン」を押すと、確定してぬい実行画面に戻ります。

## 機能設定 (コントロールパネル)

【16】



【16】ぬい始めの止めぬい (色替え毎) の設定

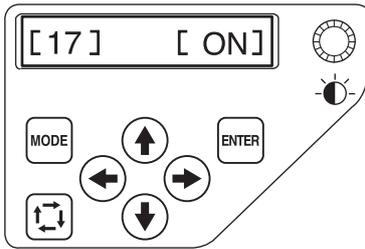
[16] [OFF] 画面の表示は、ぬい始めに止めぬい (色替え毎) を追加する設定画面です。

止めぬい有「ON」無「OFF」を設定します。

1 ◀ または ▶ ボタンを押して選びます。

※ 「ENTER ボタン」を押すと、確定してぬい実行画面に戻ります。

【17】



【17】ぬい始めの止めぬい

(渡り糸の糸切り後) の設定

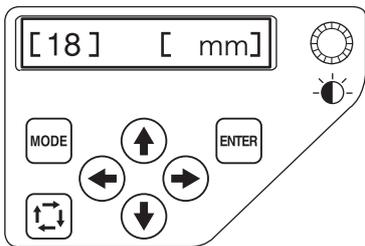
[17] [ON] 画面の表示は、渡り糸を切った後に、止めぬいを追加する設定画面です。

止めぬい有「ON」無「OFF」を設定します。

1 ◀ または ▶ ボタンを押して選びます。

※ 「ENTER ボタン」を押すと、確定してぬい実行画面に戻ります。

【18】



【18】長さ単位の設定

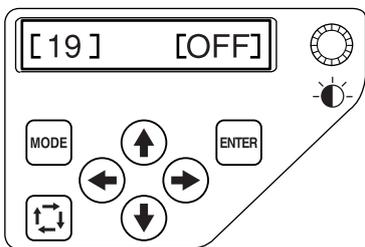
[18] [mm] 画面の表示は、長さの単位をインチまたはミリメートルにする設定画面です。

初期の値 (購入時のセット状態) は「ミリメートル」です。

1 ◀ または ▶ ボタンを押して選びます。

※ 「ENTER ボタン」を押すと、確定してぬい実行画面に戻ります。

【19】



【19】ぬい開始後の刺しゅう位置調節設定

[19] [OFF] 画面の表示は、ぬい開始後でも「ジョグボタン」で刺しゅう位置の調節ができる設定画面です。

初期の値 (購入時のセット状態) は「OFF」です。

1 各パーツのぬい始めや、ぬい途中で刺しゅう位置を調節したいときは「ON」を、通常の模様をぬうときには「OFF」を ◀ ボタンまたは ▶ ボタンを押して選びます。

※ 「ENTER ボタン」を押すと、確定してぬい実行画面に戻ります。

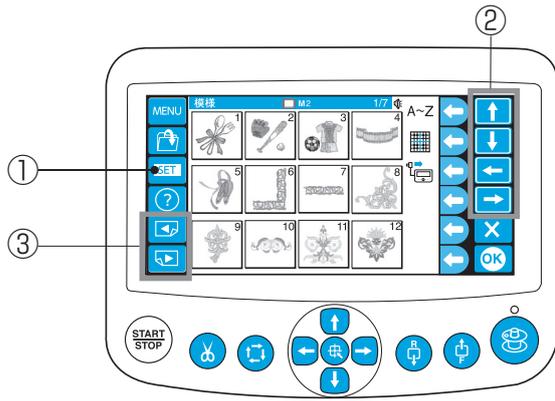
※ 刺しゅう位置を調節したときは、以降のパーツ (レイヤー) の刺しゅう位置もかわるので、必ずぬいはんいを確認してください。

※ 刺しゅう位置をかえると、模様が枠の刺しゅうはんいをオーバーする場合は、「ジョグボタン」を押しても移動できません。

※ 通常の模様のおときは、必要ありませんので「OFF」にしておきます。

# 機能設定 (RCS)

## ●機能設定 (マイセット)



刺しゅう機の機能をお好みの状態にセットできます。

「SET キー」を押します。

① SET キー

※ 設定項目の切りかえは、「選択キー」 で行います。

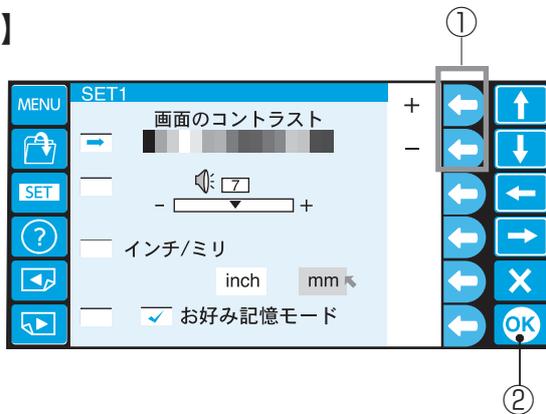
※ 色選択や言語選択は、「選択キー」 で行います。

② 選択キー

※ 画面の切りかえは「ページキー」で行います。

③ ページキー

### 【1】



### 【1】画面のコントラスト調整

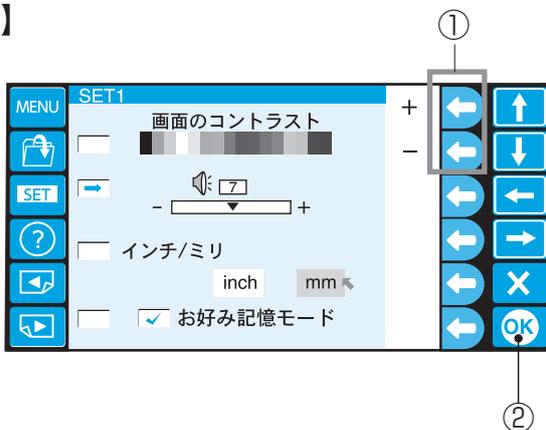
- 1 画面を淡く（明るく）したいときには「+」のファンクションキーを押します。  
画面を濃く（暗く）したいときには「-」のファンクションキーを押します。

① ファンクションキー「+」、「-」

- 2 「OK キー」を押します。

② OK キー

### 【2】



### 【2】ブザー音の設定

お好みにより、キーを押したときなどの音量を 0 から 10 の間でかえることができます。

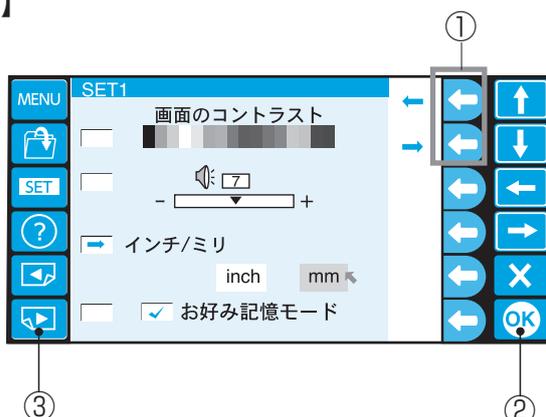
- 1 ブザー音を大きくしたいときには「+」のファンクションキーを押します。  
ブザー音を小さくしたいときには「-」のファンクションキーを押します。

① ファンクションキー「+」、「-」

- 2 「OK キー」を押します。

② OK キー

### 【3】



### 【3】長さ単位の設定

画面に表示される数値の単位をインチまたはミリメートルで表示することができます。

- 1 ファンクションキー「←」、「→」でインチまたはミリメートルを選びます。

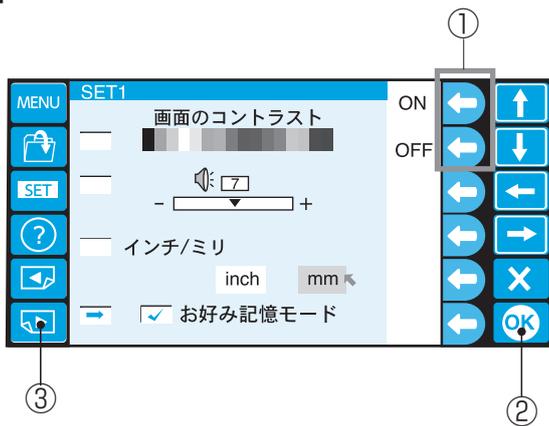
① ファンクションキー「←」、「→」

- 2 「OK キー」を押します。

② OK キー

## 機能設定 (RCS)

【4】



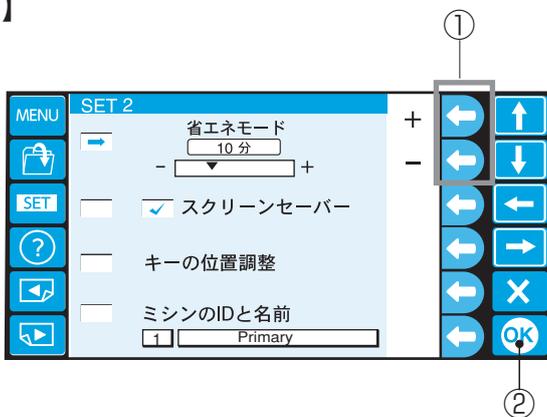
### 【4】 お好み記憶モードの設定

お好み記憶（リジューム機能）とは、電源投入時に最後に実行していたぬいの続きから作業が実行できる機能です。

- 1 ファンクションキー「ON」、「OFF」で選びます。  
①ファンクションキー「ON」、「OFF」
- 2 「OK キー」を押します。  
② OK キー

※ 次の設定画面へは「ページキー」を押します。  
③ページキー

【5】



### 【5】 省エネモードの設定

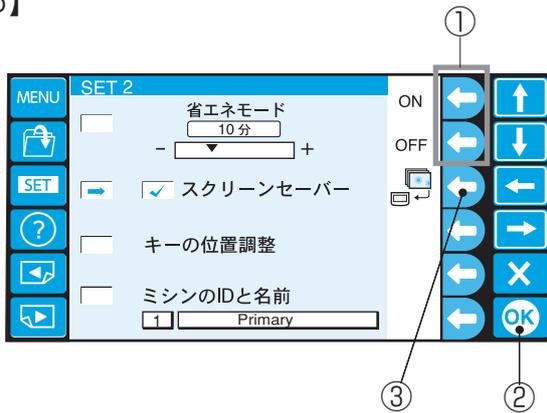
電源を入れたままで刺しゅう機を使用しないとき、省エネモードで設定した時間がたつと液晶表示画面が暗くなり、ランプが消えます。

※ スクリーンセーバーの設定をした場合は、スクリーンセーバー画像が表示されます。  
画面に触れると、使用中の画面にもどります。

- 1 消えるまでの時間をファンクションキー「+」、「-」を押して1分から30分、OFFの間で設定することができます。  
①ファンクションキー「+」、「-」
- 2 「OK キー」を押して確定します。  
② OK キー

## 機能設定 (RCS)

【6】



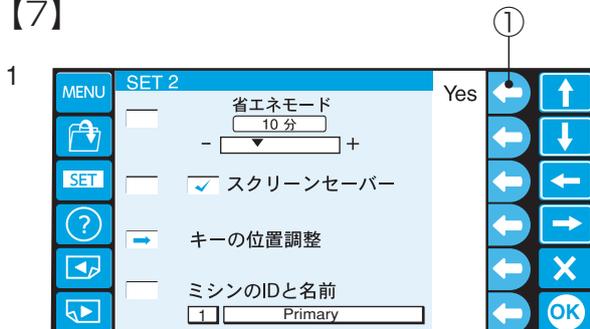
### 【6】 スクリーンセーバーの設定

電源を入れたままで刺しゅう機を使用していないとき、一定時間がたつと画面上にスクリーンセーバー画像が表示されます。

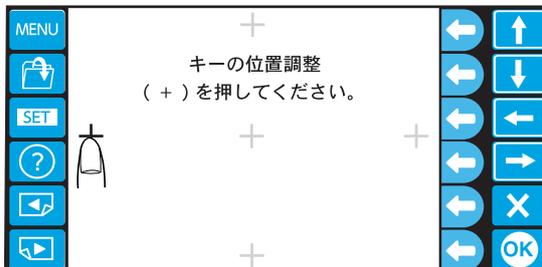
画面に触れると、使用中の画面にもどります。

- 1 ファンクションキー「ON」、「OFF」で選びます。  
①ファンクションキー「ON」、「OFF」
  - 2 「OK」キーを押します。  
② OK キー
- ※ スクリーンセーバーの設定をしたとき、省エネモードは「OFF」になり、省エネモード設定時間がスクリーンセーバー設定時間になります。
- ※ ファンクションキー「スクリーンセーバー」は、スクリーンセーバーの内容を変更するときに使用します。  
(変更の詳細は、「M770Tools」ヘルプをごらんください。)
- ③ファンクションキー「スクリーンセーバー」

【7】



2, 3



### 【7】 タッチパネルのキー位置設定

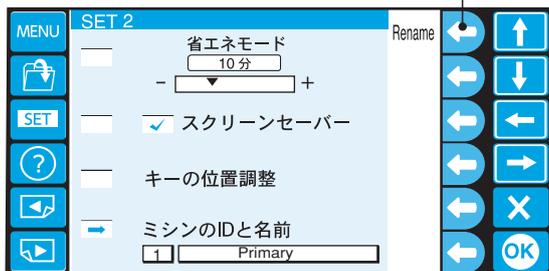
画面と実際のキーの位置がずれて、うまく押せないときに次の方法で調整します。

- 1 ファンクションキー「Yes」を押します。  
①ファンクションキー「Yes」
- 2 調整画面に切りかわります。  
表示される「+」の中心を順番に押していきます。
- 3 最後の「+」を押すと、終了画面が表示されたあと、もとの画面に戻ります。

## 機能設定 (RCS)

【8】

1

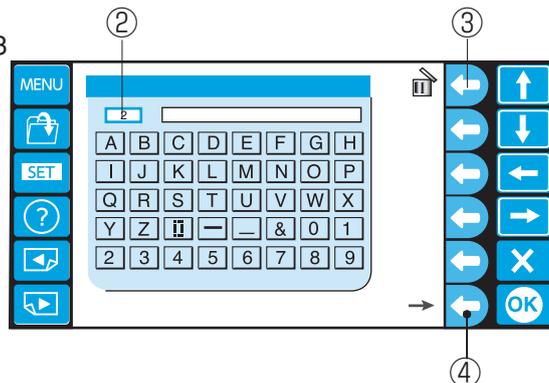


### 【8】 パソコン (PC) に対する刺しゅう機の ID および名前の設定

1 ファンクションキー「Rename」を押すと、ID 設定画面になり、ID を入力します。  
次に名前の設定をします。

①ファンクションキー「Rename」

2, 3



2 ID 入力画面の数字 1 ~ 3 のキー 1 つを押します。

※ 数字 1 ~ 3 以外は受け付けません。

※ 数字を削除する場合には、ファンクションキー「削除」を押します。

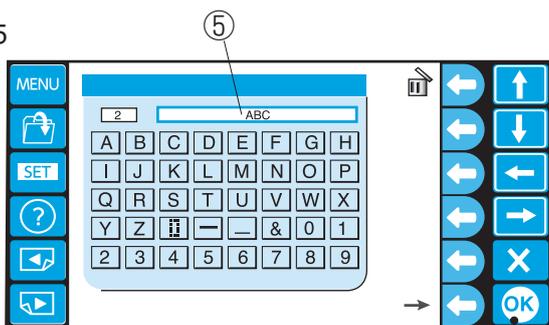
② ID 入力画面

③ファンクションキー「削除」

3 ファンクションキー「画面切りかえ」を押します。

④ファンクションキー「画面切りかえ」

4, 5



4 英数字キーを押して、名前を入力します。

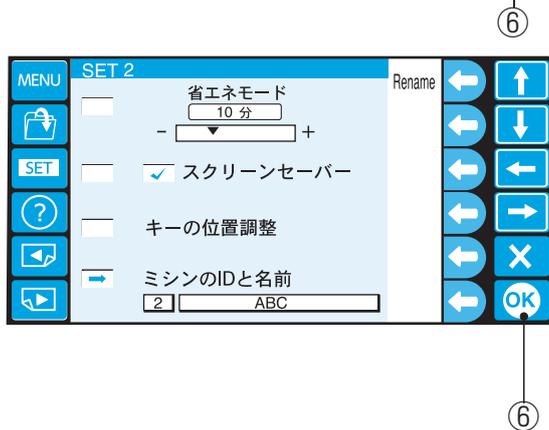
※ 名前を削除する場合には、ファンクションキー「削除」を押します。一文字ずつ削除されます。

⑤名前入力画面

5 「OK キー」を押して、名前を確定します。

⑥ OK キー

6

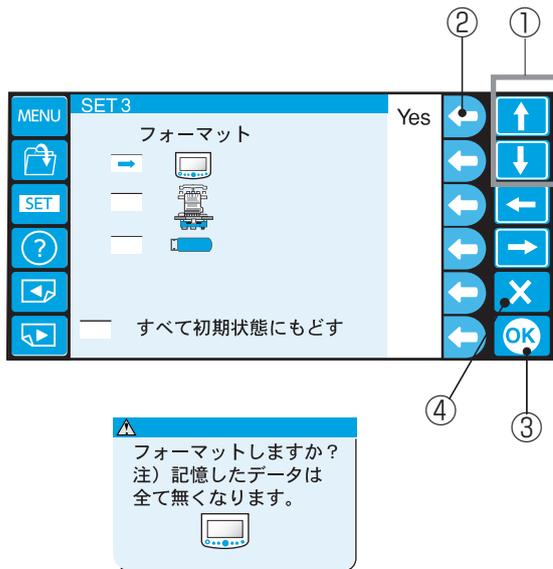


6 「OK キー」を押します。

⑥ OK キー

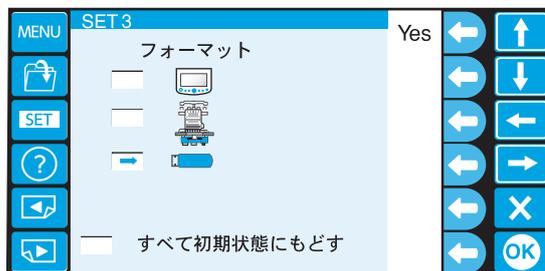
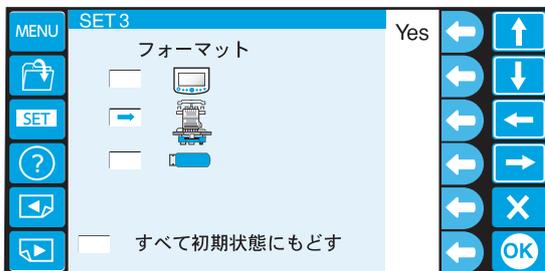
## 機能設定 (RCS)

【9】

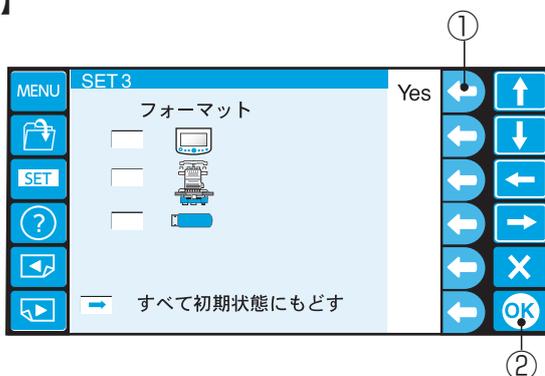


### 【9】 フォーマット設定

- 1 フォーマットする記憶装置の項目を「選択キー」  
↑ ↓ で選びます。  
① 選択キー
- 2 ファンクションキー「Yes」を押します。  
② ファンクションキー「Yes」
- 3 注意表示が出ます。  
フォーマットする場合には、「OK キー」を、し  
ない場合は、「キャンセルキー」を押します。  
③ OK キー  
④ キャンセルキー



【10】



### 【10】 設定値のデフォルト設定

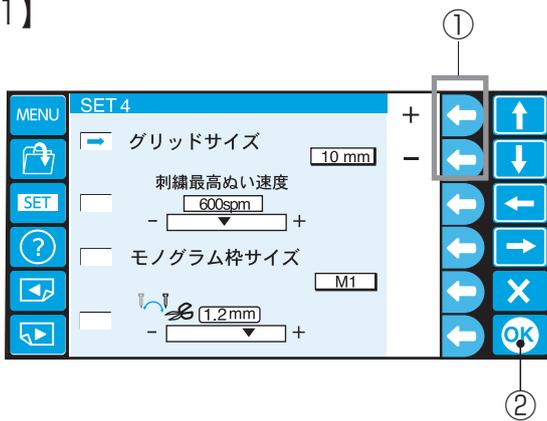
すべてのセットを初期の状態（購入時のセット状態）  
に戻します。

※ 保存した模様データは削除されません。

- 1 ファンクションキーで「Yes」を選びます。  
① ファンクションキー「Yes」
- 2 「OK キー」を押します。  
② OK キー

## 機能設定 (RCS)

【11】

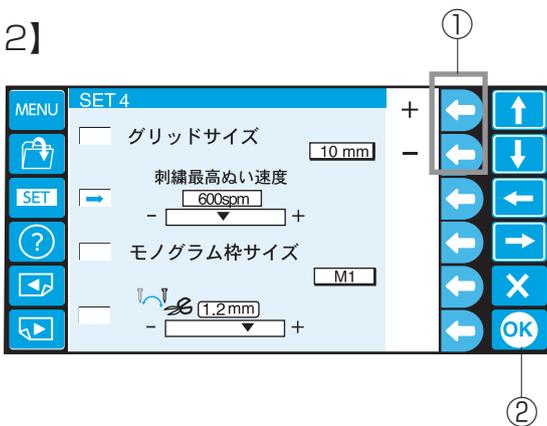


【11】 グリッドサイズの設定

グリッドラインの間隔の切りかえができます。

- 1 ファンクションキー「+」、「-」で OFF、10mm、20mm、30mm のお好みを選びます。  
①ファンクションキー「+」、「-」
- 2 「OK キー」を押します。  
② OK キー

【12】



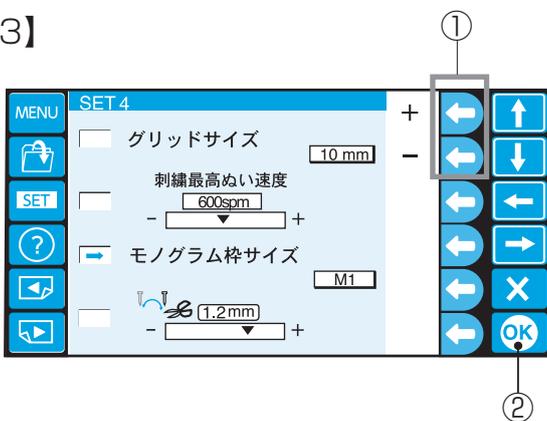
【12】 最高ぬい速度の設定

ぬい速度を 400 ~ 800spm (針 / 分) の間で 100spm ごとにかえることができます。

※ 小さい模様をきれいにぬうときには、速度を遅くしてください。

- 1 ファンクションキー「+」、「-」でぬい速度を選びます。  
①ファンクションキー「+」、「-」
- 2 「OK キー」を押します。  
② OK キー

【13】

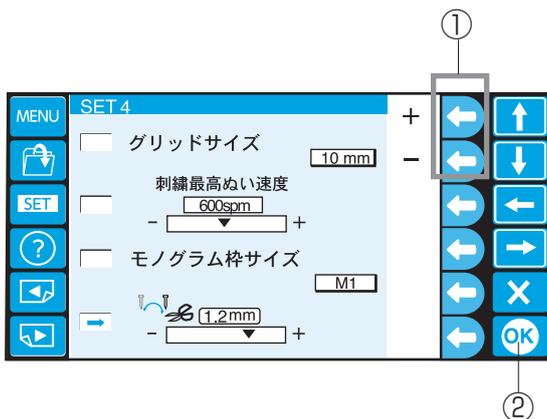


【13】 文字刺しゅう用刺しゅう枠の設定

文字刺しゅう用の枠を選びます。

- 1 ファンクションキー「+」を押すと、次の枠が選択でき、ファンクションキー「-」を押すと前の枠が選択できます。  
①ファンクションキー「+」、「-」
- 2 「OK キー」を押します。  
② OK キー

【14】



【14】 糸切り位置の設定

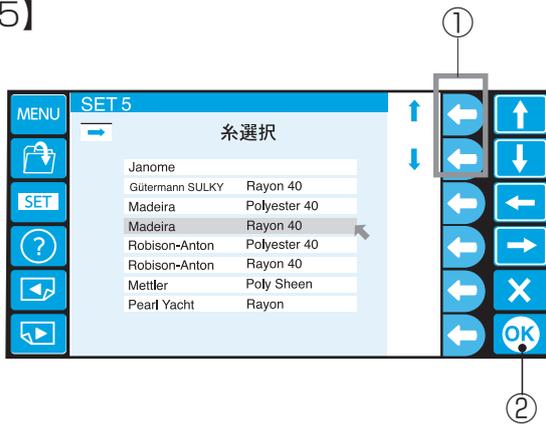
糸切りをする針落ち位置を、最後のぬい位置 (OFF) か、または、最後のぬい位置から移動させたい場合、糸切りをする針落ち位置の設定ができます。

初期の値 (購入時のセット状態) は 1.2mm です。OFF、0.5mm ~ 1.5mm の間でかえられます。

- 1 ファンクションキー「+」、「-」で糸切り位置を決めます。  
①ファンクションキー「+」、「-」
- 2 「OK キー」を押します。  
② OK キー

## 機能設定 (RCS)

【15】



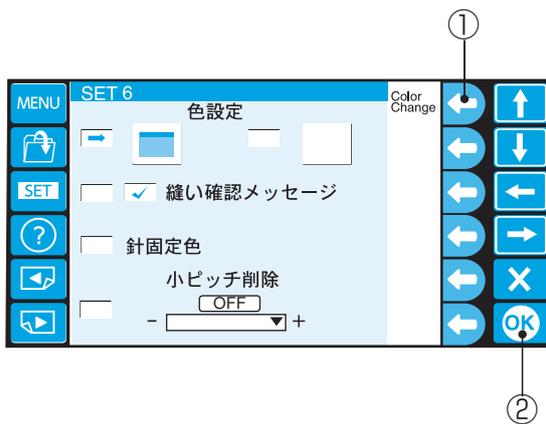
【15】 刺しゅう糸の設定

使用する糸を選択すると、その糸に対応した糸番号が自動セットされ、刺しゅう画面に表示されます。

- 1 ファンクションキー「↑」「↓」で糸を選びます。  
①ファンクションキー「↑」「↓」
- 2 「OK キー」を押します。  
② OK キー

※ ニット地に刺しゅうするときには、レーヨン糸を推奨致します。

【16】



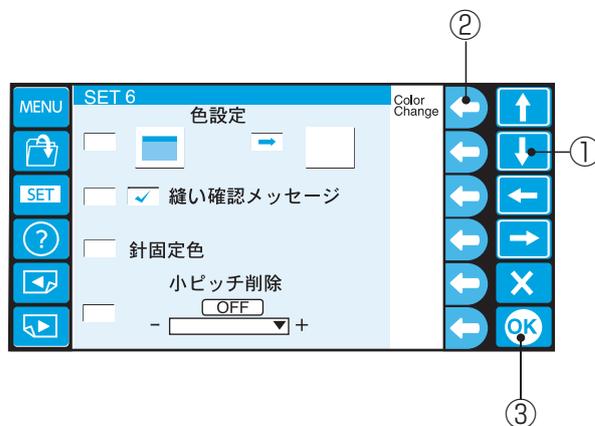
【16】 色設定

画面の背景色と、模様選択キーの色をかえることができます。

【画面の背景色設定】

- 1 ファンクションキー「Color Change」を押す毎に色が変わり（3色）、画面の背景色を選択します。  
①ファンクションキー「Color Change」
- 2 「OK キー」を押します。  
② OK キー

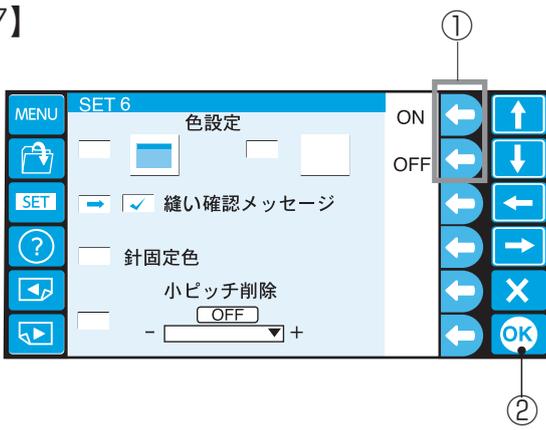
【模様選択キーの色設定】



- 1 「選択キー」を押して、模様選択キーの色設定に切りかえます。  
①選択キー
- 2 ファンクションキー「Color Change」を押す毎に色が変わり（3色）、模様選択キーの色を選択します。  
②ファンクションキー「Color Change」
- 3 「OK キー」を押します。  
③ OK キー

# 機能設定 (RCS)

## 【17】



## 【17】ぬい確認メッセージ設定

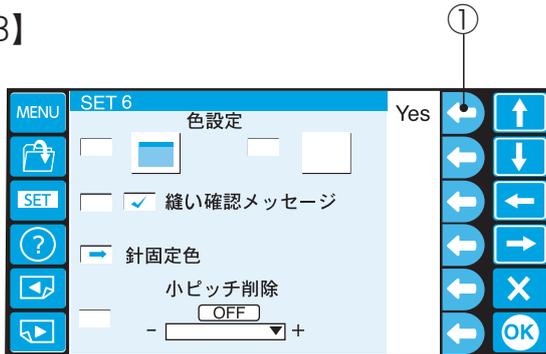
ぬい実行前に確認メッセージを表示することができます。

- 1 メッセージを表示させるときにはファンクションキー「ON」を押します。  
メッセージを表示させないときにはファンクションキー「OFF」を押します。  
①ファンクションキー「ON」、「OFF」

- 2 「OK キー」を押します。  
② OK キー

## 【18】

1

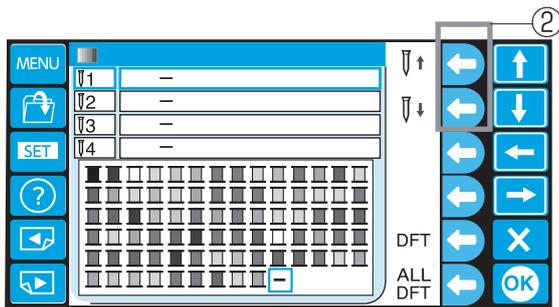


## 【18】針固定色設定

針に使用する糸色を固定できます。

- 1 ファンクションキー「Yes」を押します。  
①ファンクションキー「Yes」

2

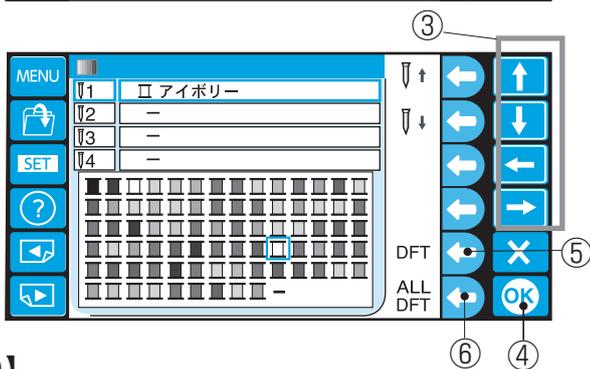


- 2 設定画面が表示されたら、ファンクションキー「針設定」で針を選びます。  
②ファンクションキー「針設定」

※ 設定できる針数は6針です。

- 3 「選択キー」 で糸色を選びます。  
③選択キー
- 4 「OK キー」を押します。  
④ OK キー

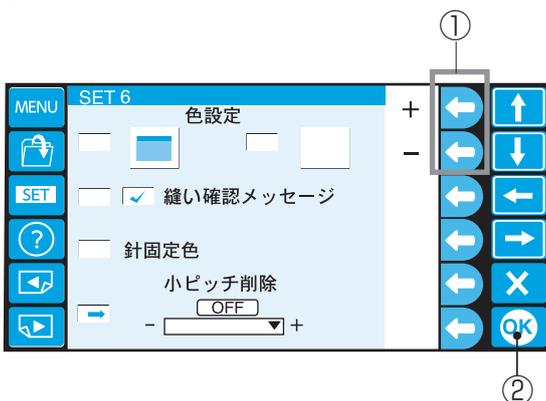
3, 4



※ 選択している針の糸色を取り消す場合は、ファンクションキー「DFT」(デフォルト)キーを押します。  
すべての針の糸色を取り消す場合は、ファンクションキー「ALL DFT」(オールデフォルト)キーを押します。

- ⑤ファンクションキー「DFT」
- ⑥ファンクションキー「ALL DFT」

## 【19】



## 【19】小ピッチ削除設定

模様のピッチが細かすぎると、糸切れや針折れが発生するおそれがあります。防止するためにあらかじめ細かいピッチのステッチを削除するように設定することができます。

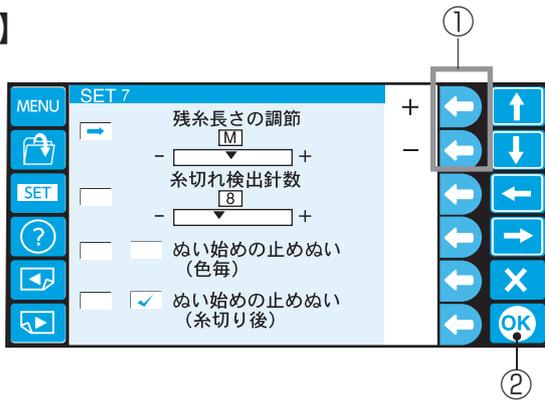
設定したピッチ以下のステッチが削除されます。

初期の値(購入時のセット状態)は「OFF」です。

- 1 ファンクションキー「+」、「-」でピッチを選びます。0.0 ~ 1.0mm、OFFで設定できます。  
①ファンクションキー「+」、「-」
- 2 「OK キー」を押します。  
② OK キー

# 機能設定 (RCS)

【20】



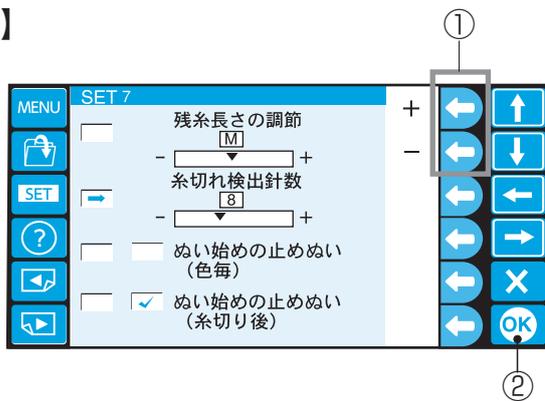
## 【20】 糸切り後の残糸長さ設定

糸切り後の残糸長さを（短い「S」、ふつう「M」、長い「L」）3段階で調節できます。

※ 初期の値（購入時のセット状態）は「M」です。

- 1 ファンクションキー「+」、「-」で選びます。  
①ファンクションキー「+」、「-」
- 2 「OK キー」を押します。  
② OK キー

【21】



## 【21】 糸切れ検出針数設定

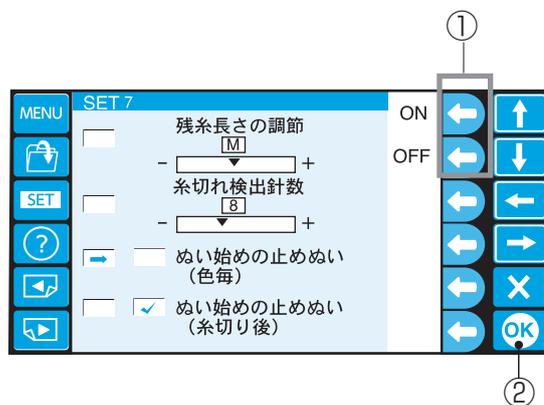
糸切れ時の検出針数設定を 14 段階（3～16 針）で調節できます。

初期の値（購入時のセット状態）は「8」です。

※ ぬい始めでの糸切れ検出は、針数設定値より数針遅く糸切れ検出されます。

- 1 ファンクションキー「+」、「-」で選びます。  
①ファンクションキー「+」、「-」
- 2 「OK キー」を押します。  
② OK キー

【22】

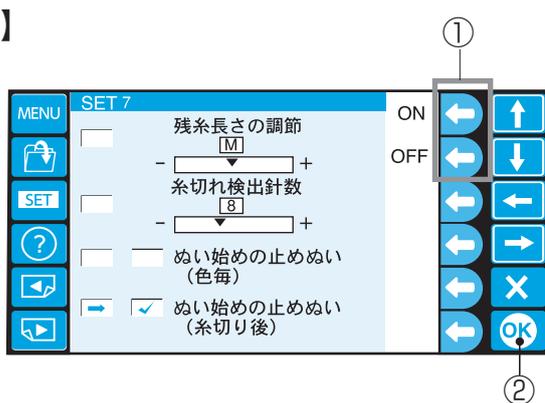


## 【22】 ぬい始めの止めぬい（色替え毎）設定

ぬい始めに止めぬい（色替え毎）をする設定です。

- 1 ファンクションキー「ON」（止めぬい有）、「OFF」（止めぬい無）で選びます。  
①ファンクションキー「ON」、「OFF」
- 2 「OK キー」を押します。  
② OK キー

【23】



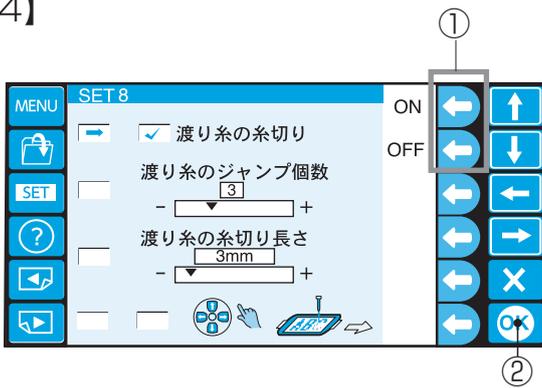
## 【23】 ぬい始めの止めぬい（渡り糸の糸切り後）設定

ぬい始めに止めぬい（渡り糸の糸切り後）をする設定です。

- 1 ファンクションキー「ON」（止めぬい有）、「OFF」（止めぬい無）で選びます。  
①ファンクションキー「ON」、「OFF」
- 2 「OK キー」を押します。  
② OK キー

## 機能設定 (RCS)

【24】

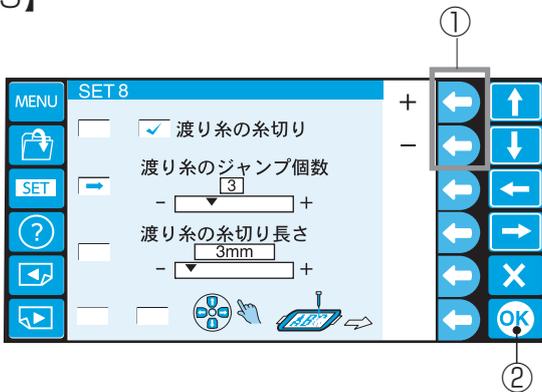


### 【24】 渡り糸の糸切り設定

渡り糸の糸切り有無を設定します。

- 1 ファンクションキー「ON」、「OFF」で選びます。  
①ファンクションキー「ON」、「OFF」
- 2 「OK キー」を押します。  
② OK キー

【25】



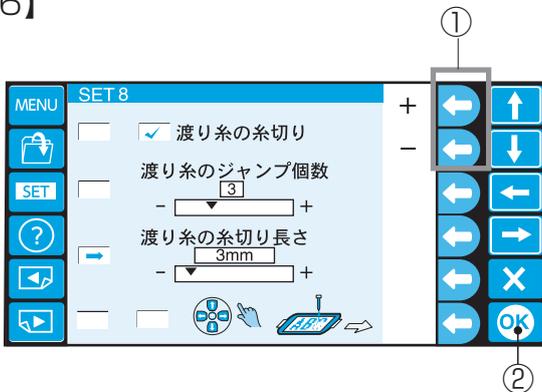
### 【25】 渡り糸の糸切り判定ジャンプコード数設定

渡り糸の糸切り実行を判定する、ジャンプコード数設定をします。(デジタイザーソフトをご利用の方で、渡り糸の糸切り判定をジャンプコード回数で行う場合におすすめます。)

初期の値（購入時のセット状態）は「3」です。

- 1 ファンクションキー「+」、「-」で選びます。  
①ファンクションキー「+」、「-」
  - 2 「OK キー」を押します。  
② OK キー
- ※ この設定を使用するときは、【26】の設定は「OFF」にしてください。
- ※ デジタイザーソフトを利用していない方は、【26】の設定をおすすめします。

【26】



### 【26】 渡り糸の糸切り長さ設定

渡り糸の糸切り長さを設定をします。

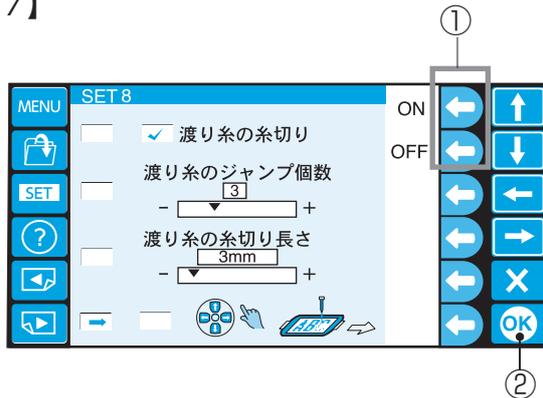
初期の値（購入時のセット状態）は「3mm」です。

1～5、10から5mmずつ30mm、OFFのはんいで設定できます。

- 1 ファンクションキー「+」、「-」で糸切り長さを設定します。  
①ファンクションキー「+」、「-」
  - 2 「OK キー」を押します。  
② OK キー
- ※ この設定を使用するときには、【25】ジャンプコード数設定を8にしてください。
- ※ 渡り糸の糸切りは、糸切り設定が「ON」で【25】または【26】のどちらかの条件を満足した場合に実行します。

# 機能設定 (RCS)

【27】

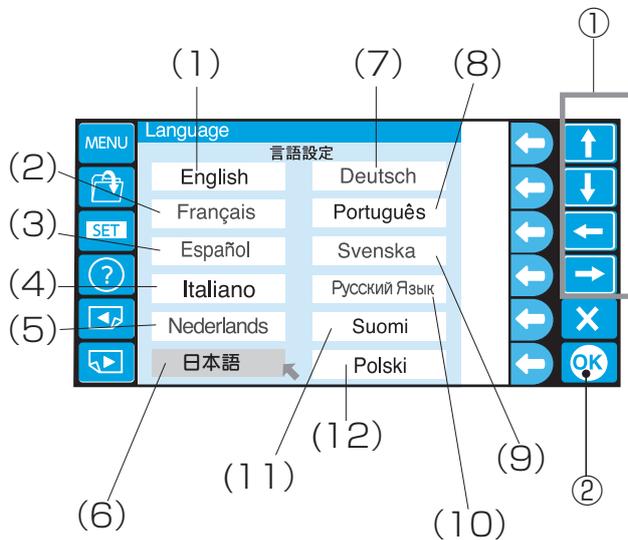


【27】ぬい開始後の刺しゅう位置調節設定

ぬい開始後でも「ジョグボタン」で刺しゅう位置の調節ができます。

- 各パーツのぬい始めや、ぬい途中で刺しゅう位置を調節したいときは、ファンクションキー「ON」を押します。  
通常の模様をぬうときには、ファンクションキー「OFF」を押します。  
①ファンクションキー「ON」、「OFF」
  - 「OK キー」を押します。  
②OK キー
- ※ 刺しゅう位置を調節したときは、以降のパーツ（レイヤー）の刺しゅう位置もかわるので、必ず、ぬいはんいを確認してください。
  - ※ 刺しゅう位置をかえると、模様が枠の刺しゅうはんいをオーバーする場合は、「ジョグボタン」を押しても移動できません。
  - ※ 通常の模様の場合は、必要ありませんので「OFF」にしておきます。

【28】



【28】言語設定

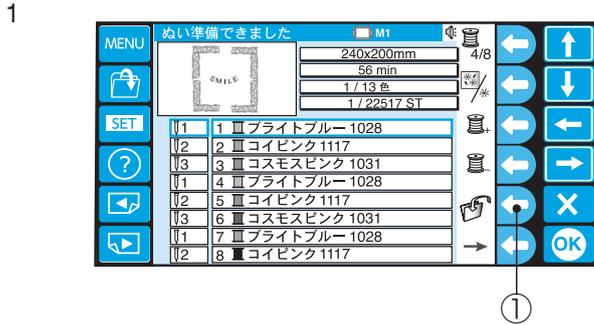
- 「選択キー」 で言語を選びます。  
①選択キー
  - 「OK キー」を押します。  
②OK キー
- |              |             |
|--------------|-------------|
| (1) 英語       | (2) フランス語   |
| (3) スペイン語    | (4) イタリア語   |
| (5) オランダ語    | (6) 日本語     |
| (7) ドイツ語     | (8) ポルトガル語  |
| (9) スウェーデン語  | (10) ロシア語   |
| (11) フィンランド語 | (12) ポーランド語 |

# ファイルの保存

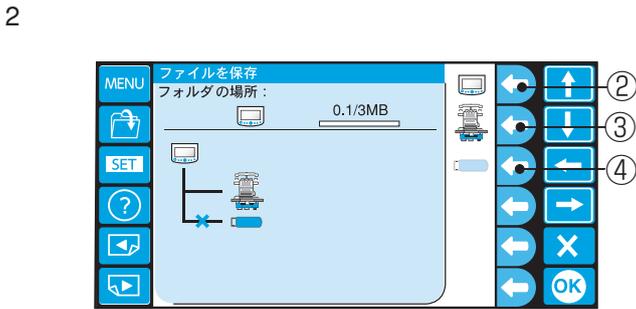
## ●ファイルの保存

編集した模様を記憶しておくことができます。  
また、よく使う模様を記憶しておくこと、すぐに呼び出すことができ便利です。

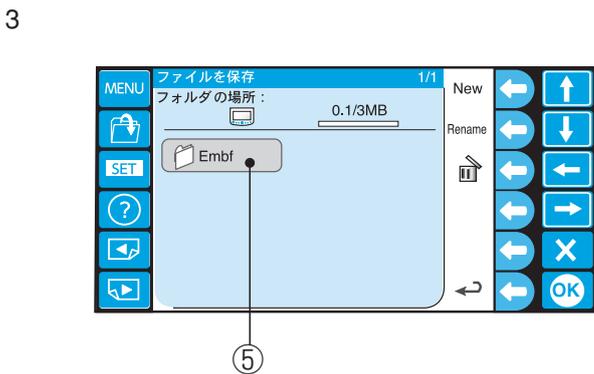
- 1 ファンクションキー「保存」を押します。  
①ファンクションキー「保存」



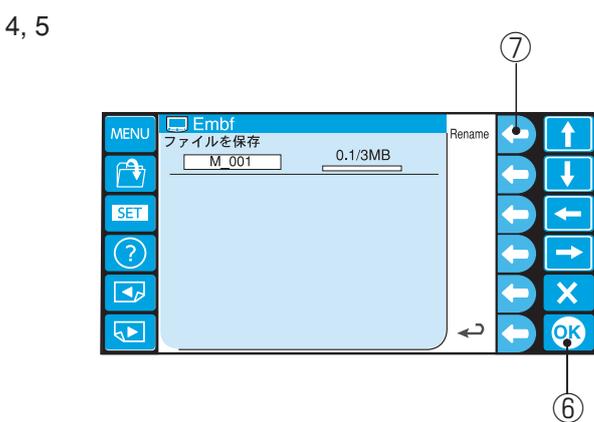
- 2 保存先をファンクションキーで選択します。  
※ 保存出来ない装置は、接続状態を (X) で表示し、ファンクションキーのアイコンも薄く表示します。  
②ファンクションキー「RCS」  
③ファンクションキー「本体」  
④ファンクションキー「USB-Memory」



- 3 「フォルダ」を押します。  
⑤フォルダ  
※ 新しくフォルダを作る場合は 81 ページをごらんください。  
※ 「本体」は、フォルダを作ることはできません。ファイルのみとなります。



- 4 M\_001 からの連番でファイルを保存できます。
- 5 「OK キー」を押します。  
⑥ OK キー  
※ ファイル名を変更する場合は、ファンクションキー「Rename」を押します。  
(81 ページをごらんください。)  
⑦ファンクションキー「Rename」



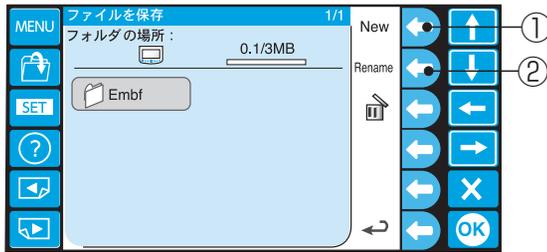
- 6 ぬい実行画面に戻ります。



# ファイルの保存

## ●新規フォルダの作成

1



データを保存するフォルダを作成します。

1 ファンクションキー「New」を押すと、フォルダ作成モードになり、フォルダ名入力画面になります。

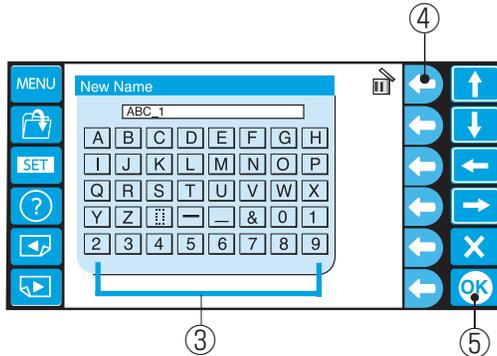
①ファンクションキー「New」

※ ファンクションキー「Rename」を押すと、フォルダ名の変更モードになります。

②ファンクションキー「Rename」

※ 「本体」にはフォルダはありません。

2, 3



2 「英、数字キー」を押して、フォルダ名を入力します。

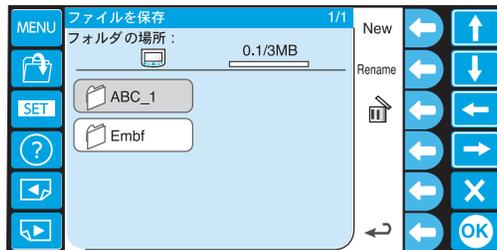
③英、数字キー

※ ファンクションキー「削除」を押すと、1文字ずつ入力した文字を削除します。

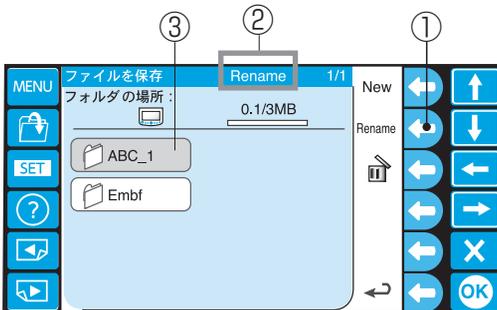
④ファンクションキー「削除」

3 「OK キー」を押します。

⑤ OK キー



1, 2



### 【フォルダ名の変更】

※ ファイル名の変更も同じ方法で行います。

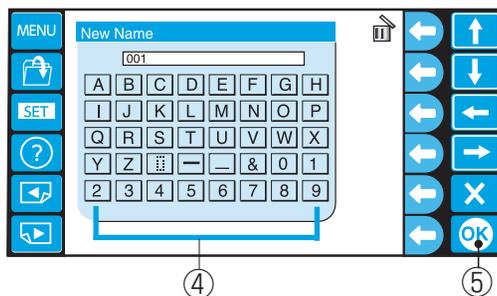
1 ファンクションキー「Rename」を押すと、フォルダ名の変更モードになります。

もう一度ファンクションキー「Rename」を押すと、画面のRenameが消え、変更モードが解除になります。

①ファンクションキー「Rename」

②変更モード

3, 4



2 「フォルダ」を押します。

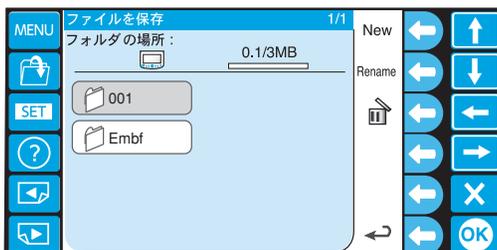
③フォルダ

3 「英、数字キー」を押して、フォルダ名を入力します。

④英、数字キー

4 「OK キー」を押します。

⑤ OK キー



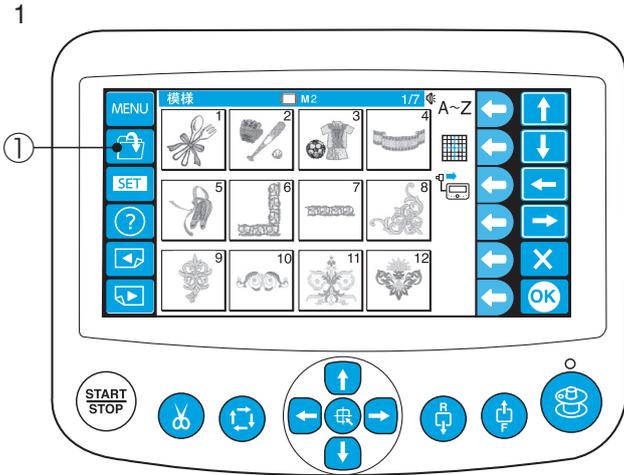
# ファイルオープン

## ●ファイルオープン

保存したデータは「ファイルオープンキー」を押して読み出します。

1 「ファイルオープンキー」を押します。

①ファイルオープンキー



2 読み出し先をファンクションキーで選択します。

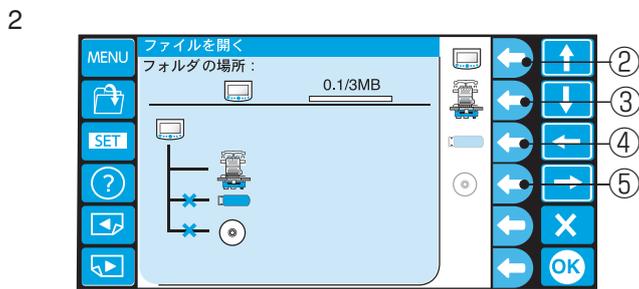
※ 読み出し出来ない装置は、接続状態を (×) で表示し、ファンクションキーのアイコンも薄く表示します。

②ファンクションキー「RCS」

③ファンクションキー「本体」

④ファンクションキー「USB メモリ」

⑤ファンクションキー「CD-ROM」



### 【例】「RCS」からの読み出し

3 保存したデータ（ファイル）のフォルダを選びます。

⑥フォルダ

4 データ（ファイル）を選びます。

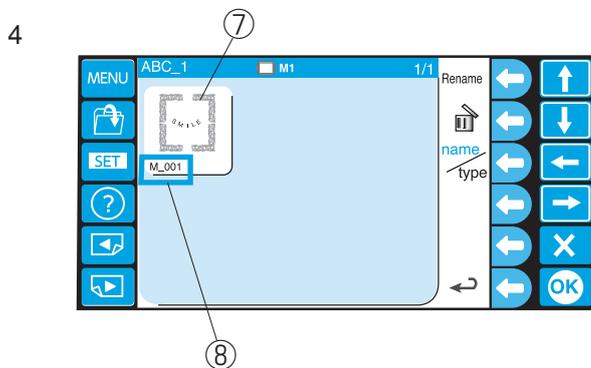
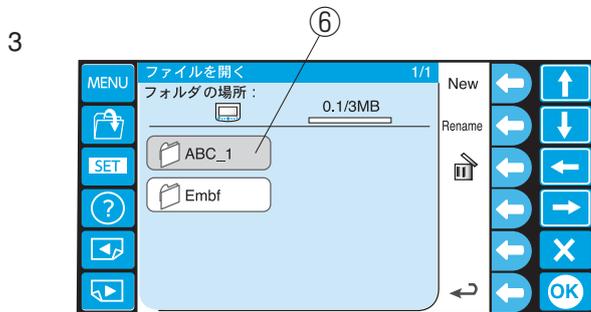
⑦データ（ファイル）

※ ファイル名で表示されます。

⑧ファイル名

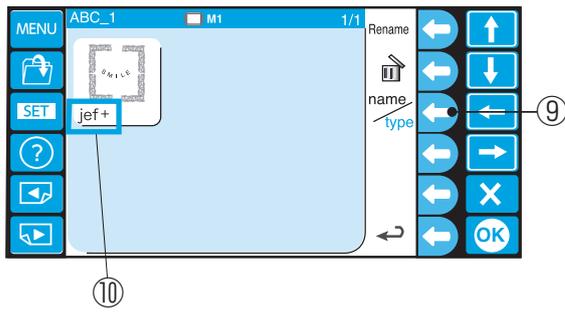
※ 拡張子表示切りかえは、83 ページをごらんください。

5 ぬい実行画面の表示になります。



# ファイルオープン

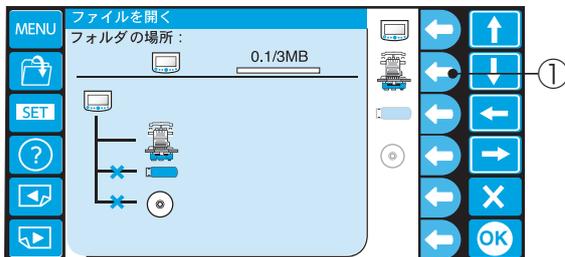
## 【拡張子表示切りかえ】



- ※ 拡張子表示にする場合は、ファンクションキー「ファイル名／拡張子表示切りかえ」を押します。ファイル名から拡張子表示に切りかわります。
- ⑨ファンクションキー「ファイル名／拡張子表示切りかえ」
- ⑩拡張子 jef+, jef (ジャノメフォーマット)  
dst (タジマフォーマット)

## 【例】「本体」からの読み出し

1

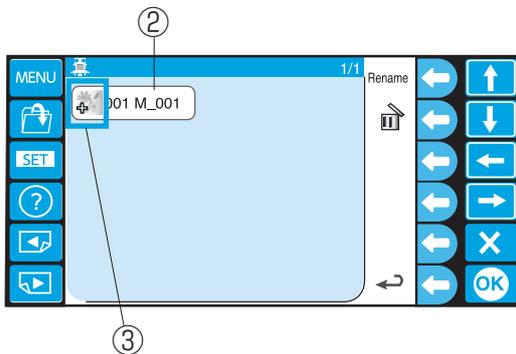


- 1 ファンクションキー「本体」を選択します。
- ①ファンクションキー「本体」

- 4 データ (ファイル) を選びます。
- ②データ (ファイル)

※ 拡張子表示は、データに記載のアイコンで表示しています。

2



- |  |                        |
|--|------------------------|
|  | jef+ (ジャノメフォーマット) アイコン |
|  | jef (ジャノメフォーマット) アイコン  |
|  | dst (タジマフォーマット) アイコン   |

③アイコン

3

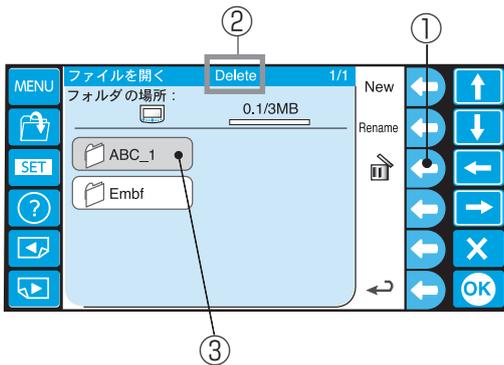


- 3 めい実行画面の表示になります。

# ファイルオープン

## ●フォルダの削除

1, 2

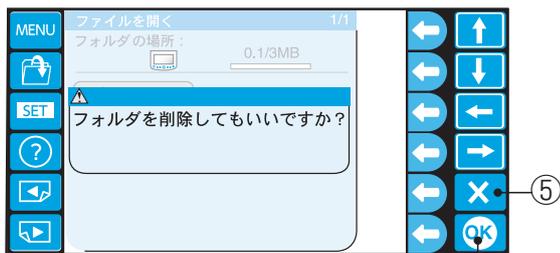


1 ファンクションキー「削除」を押します。  
もう一度ファンクションキー「削除」を押すと、  
画面の Delete が消え、フォルダの削除が解除に  
なります。

- ①ファンクションキー「削除」
- ②画面表示 Delete

2 削除するフォルダを選びます。  
③フォルダ

3



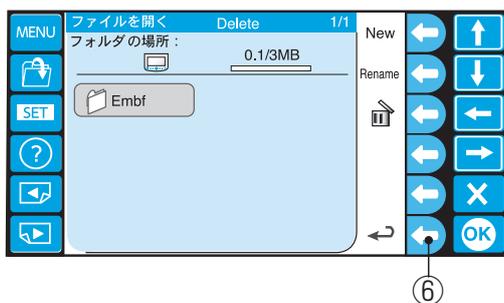
3 「フォルダを削除してもいいですか？」の表示が  
出ます。削除しても良いときは、「OK」キーを押  
します。

- ④ OK キー

※ 削除しないときは、「キャンセルキー」を押しま  
す。

- ⑤キャンセルキー

4



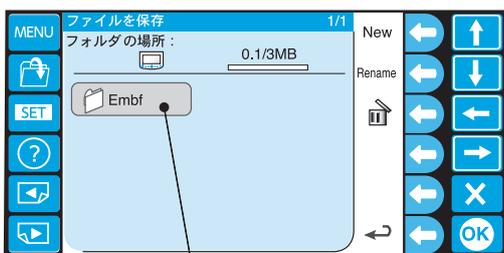
4 フォルダが削除されます。

ファンクションキー「戻り」を押すと、もとの画  
面に戻ります。

- ⑥ファンクションキー「戻り」

## ●フォルダ内のデータ（ファイル）の削除

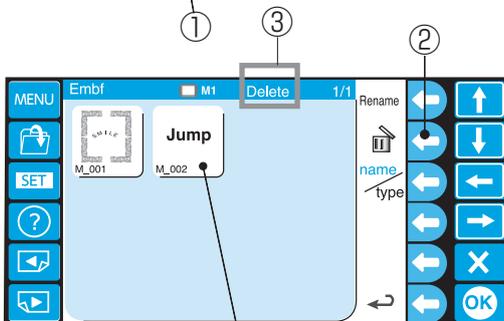
1



1 データ（ファイル）の保存してある「フォルダ」  
を押します。

- ①フォルダ

2



2 ファンクションキー「削除」を押します。

もう一度ファンクションキー「削除」を押すと、  
画面の Delete が消え、フォルダ内のデータの削  
除が解除になります。

- ②ファンクションキー「削除」
- ③画面表示 Delete

3 削除するデータ（ファイル）を選びます。

「ファイルを削除してもいいですか？」の表示が  
出ます。削除しても良いときは、「OK キー」を押  
します。

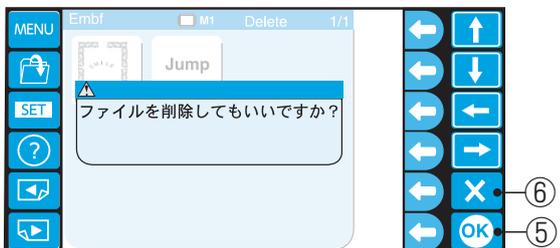
※ 削除しないときは、「キャンセルキー」を押します。

- ④データ（ファイル）

- ⑤ OK キー

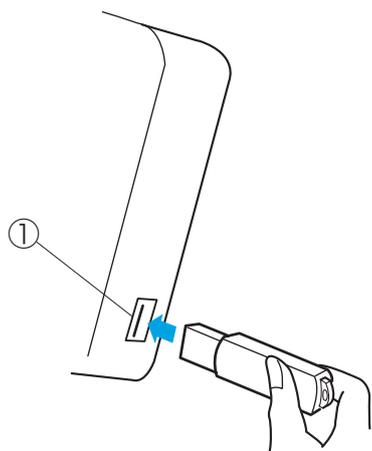
- ⑥キャンセルキー

3



# USB メモリ (市販品)

## ● USB メモリのセット



市販の USB メモリに保存したデータを読み出し、刺しゅうすることができます。

(使用する USB メモリの容量は 2GB のものをおすすめします。その他の USB メモリは使用できない場合があります。)

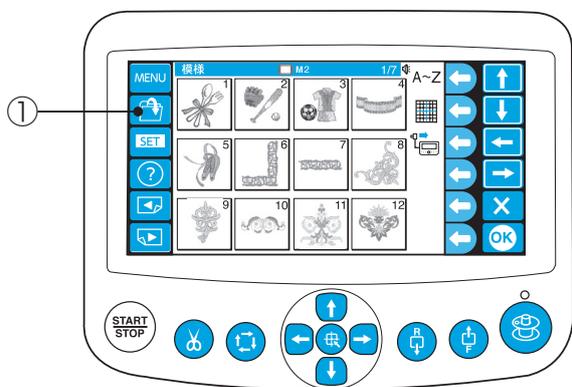
RCS の右側にある USB ポートに差し込みます。

① USB ポート

※ USB メモリを差し込むと、自動で「Embfi」フォルダが作成されます。

## ● データの読み出し方

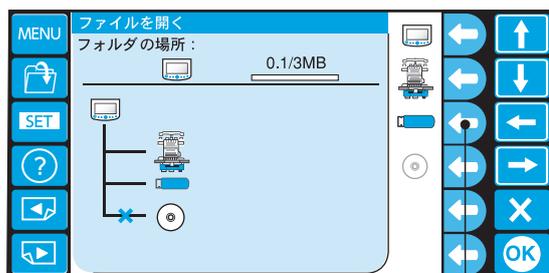
1



1 「ファイルオープンキー」を押します。

①ファイルオープンキー

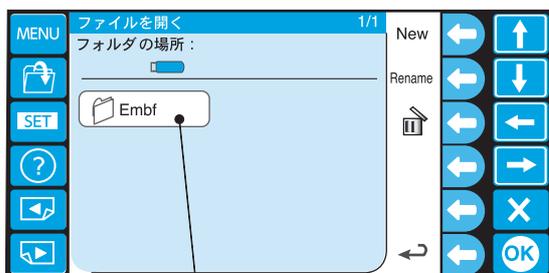
2



2 ファンクションキー「USB メモリ」を押します。

②ファンクションキー「USB メモリ」

3



3 フォルダの中の模様を選びます。

③フォルダ

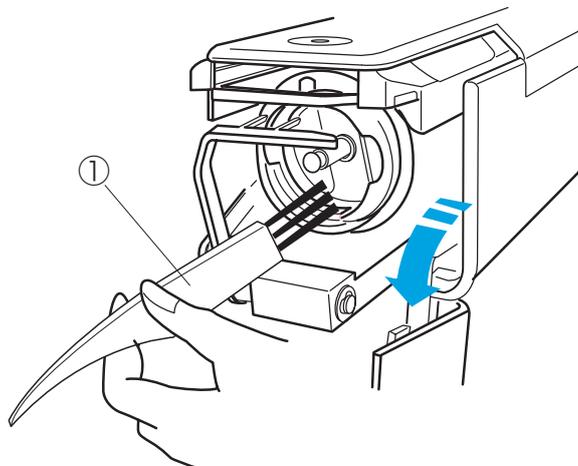
※ データの読み出し方は、《●ファイルオープン／【例】「RCS」からの読み出し》と同じです。(82 ページ) をごらんください。

## 刺しゅう機のお手入れ

### ●かまの掃除

#### ⚠ 注意

かまの掃除をするときには、電源スイッチを切って、電源プラグをコンセントから抜いてください。ケガの原因になります。



かまカバーを開き、ボビンケースを外します。

(15 ページをごらんください。)

かまに糸くずやほこりがたまると、ぬい調子が悪くなったり、故障の原因になります。

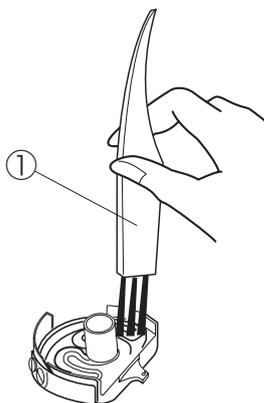
付属のミシンブラシで掃除してください。

①ミシンブラシ

### ●ボビンケースの掃除

ボビンケースには、糸くずなどがたまりやすいので、糸調子不良の原因になります。

ボビンを交換するときなどに掃除をしてください。

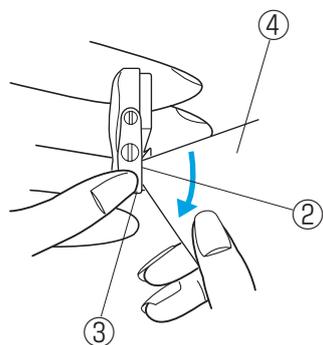


かまカバーを開き、ボビンケースを外し、ボビンを取り出します。

(15 ページをごらんください。)

付属のミシンブラシでボビンケース内側の糸くずを取り除きます。

①ミシンブラシ



糸調子バネの周辺は、糸調子バネの下に紙を差し込み、ゴミを取り出します。

糸口も紙の角でゴミを取り出します。

②糸調子バネ

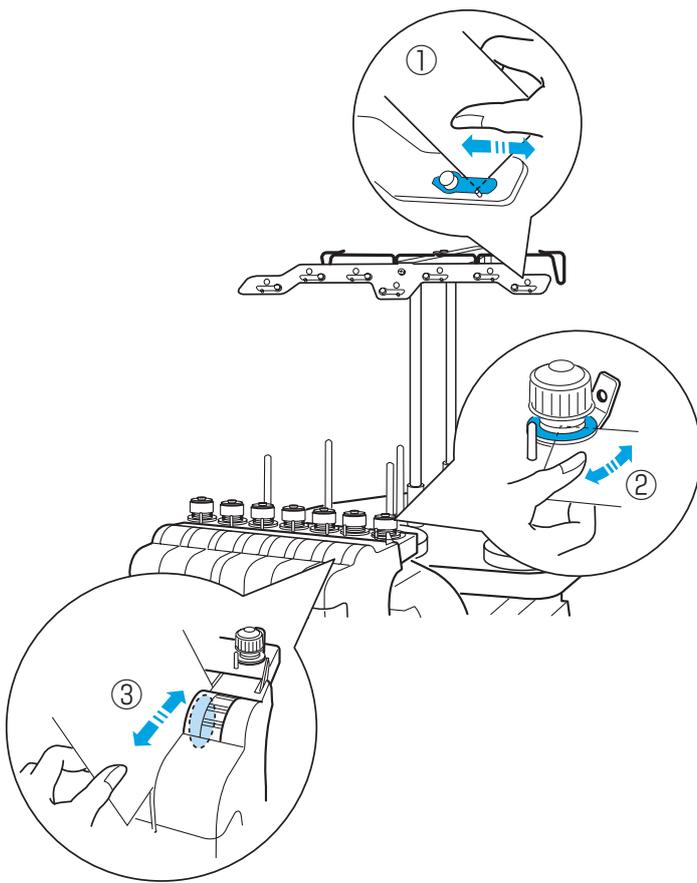
③糸口

④紙

※ 糸調子バネを曲げないように注意してください。厚紙や、紙以外のものでも掃除をしないでください。

# 刺しゅう機のお手入れ

## ●上糸糸道の掃除



上糸の糸道部に糸のワックスや糸くずなどがたまると、ぬい調子不良の原因となりますので、定期的に掃除をしてください。

掃除するときには、はがきほどの厚さの紙を用意し、糸掛けの糸案内板、プリテンションの皿部、糸調子の皿部を紙でこするようにして、たまったワックスや糸くずを取り除いてください。

※ 厚紙や紙以外のものでも掃除をしないでください。

- ① 糸案内板
- ② プリテンションの皿
- ③ 糸調子の皿

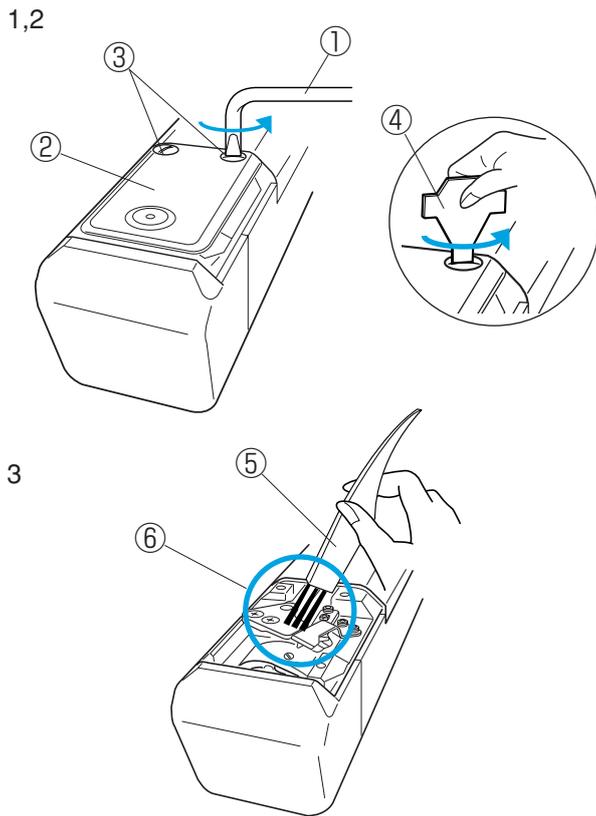
# 刺しゅう機のお手入れ

## ●糸切り部の掃除

### ⚠ 注意

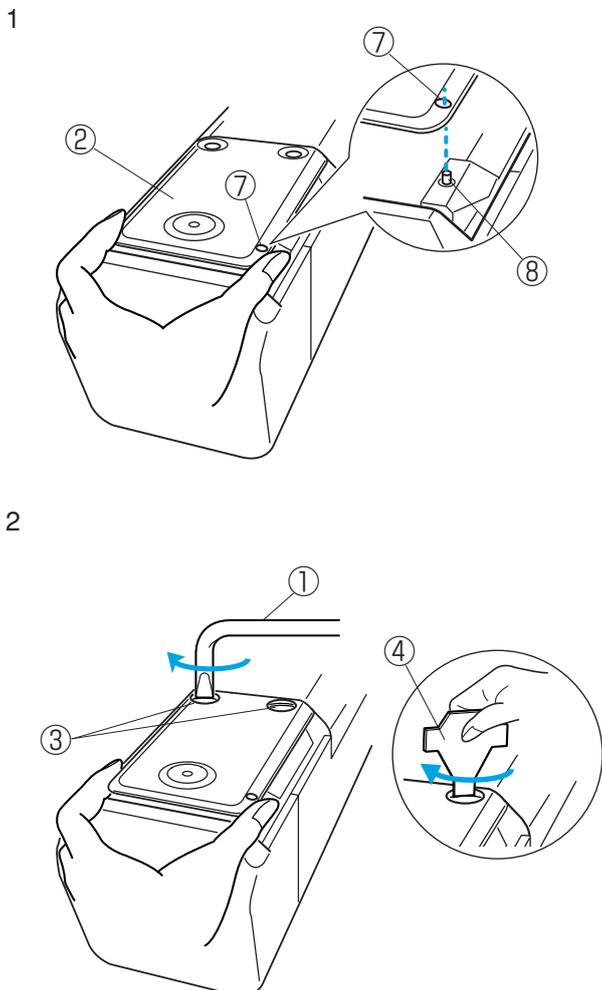
糸切り部の掃除をするときには、電源スイッチを切って、電源プラグをコンセントから抜いてください。ケガの原因になります。

針板の下にある糸切り部に糸クズがたまると、糸切り不良になりますので、針板を外して、掃除をしてください。



- 1 オフセットドライバーでネジ（2個）をゆるめます。
- 2 ドライバーでネジを外して、針板を外します。  
①オフセットドライバー  
②針板  
③ネジ  
④ドライバー
- 3 付属のミシンブラシで糸切り部周囲の糸クズを取り除きます。  
⑤ミシンブラシ  
⑥糸切り部

### 【針板の取り付け方】

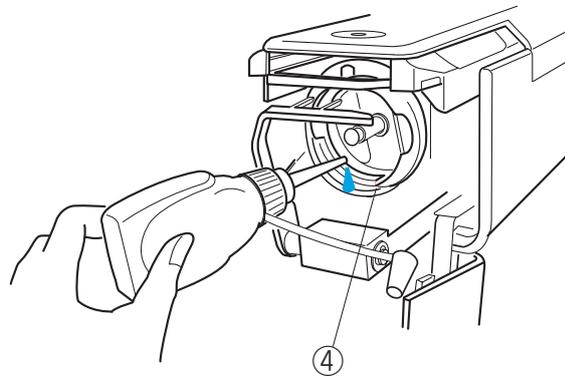
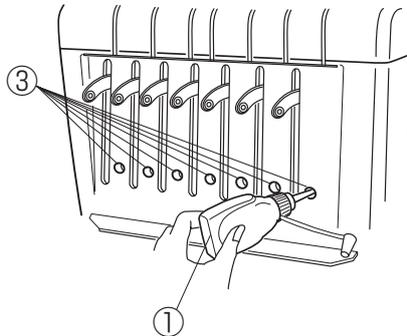
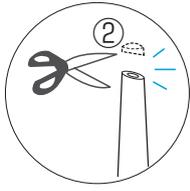


- 1 針板位置決め穴にピンを入れ、針板をネジ位置に合わせて置きます。  
⑦針板位置決め穴  
⑧ピン
- 2 針板が動かないように押さえ、ドライバーでネジをしめていき、最後にオフセットドライバーでしっかりしめます。

# 刺しゅう機のお手入れ

## ●注油

(注油穴とかまの注油)



### ⚠ 注意

- 注油するときには、電源スイッチを切って、電源プラグをコンセントから抜いてください。ケガの原因になります。

油さしは、先端から 1～2mm のところを切ってください。

- ①油さし
- ②先端から 1～2mm

注油箇所は正面 7 箇所の注油穴と、かまのレースに 1～2 滴注油してください。

- ③正面 7 箇所の注油穴
- ④かま

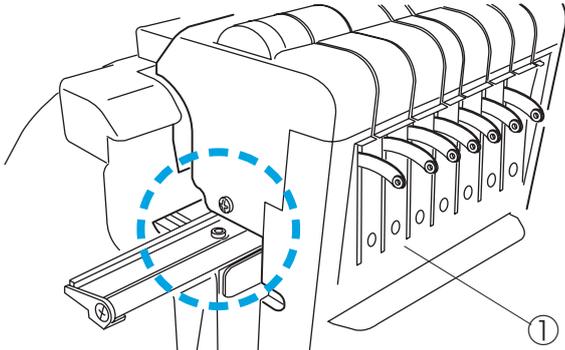
### 《お願い》

- ※ ③の正面 7 箇所（針棒への注油）の注油は、毎日使用する場合には、月 2 回を目安に 1～2 滴注油してください。
- ※ ④のかまへの注油は、毎日使用する場合には、日に 1 回を目安に 1～2 滴注油してください。
- ※ 注油箇所近くに付着した余分な油は、布できれいにふきとってください。
- ※ 油をさしすぎると、布地や糸の汚れの原因となりますので注意してください。油をさしすぎたときには、布切れでふきとってください。
- ※ 油は、必ず付属のミシン油を使用してください。
- ※ かまの注油が終わったら、ポビンケースをセットし、かまカバーを閉めます。

# 刺しゅう機のお手入れ

## (クランクロッドピン接合部、主軸、Y キャリッジ軸への注油)

1



《お願い》

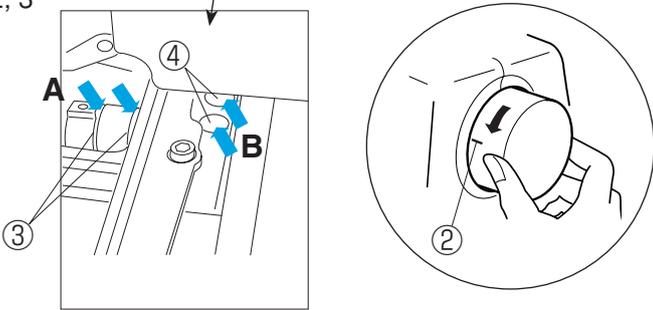
注油する目安は、使用状況により異なります。  
毎日使用している場合は、4ヶ月に1回注油するようにします。

1. 模様# 1 を選び、「手動針番号設定」で7番の針を選択して移動ヘッドをいちばん右に寄せます。  
電源スイッチを切ります。

①移動ヘッド

※ 手動針番号設定は、42 ページをごらんください。

2, 3



2. (クランクロッドのピン接合部の注油) **A** 部はずみ車を手前にまわして、ケガキ線を図の位置にします。

クランクロッドのピン接合部が上位置になるので、ピン接合部2箇所1～2滴注油します。

②ケガキ線

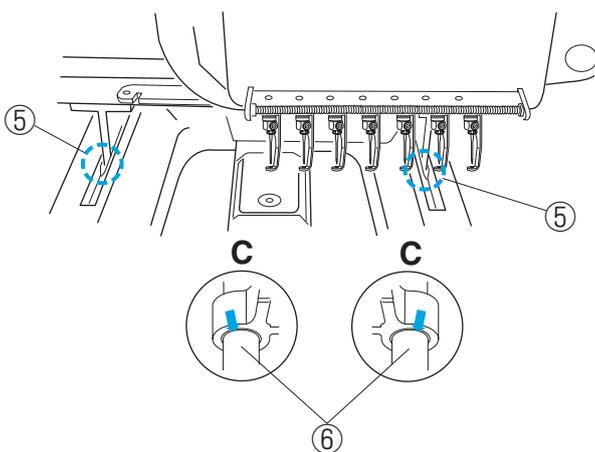
③ピン接合部

3. (主軸の注油) **B** 部

カバーのすきまから主軸2本へ1～2滴注油します。

④主軸

4



4. (Y キャリッジ軸の注油) **C** 部

ベースカバーのすきま(○部)から、左右のY キャリッジ軸に1～2滴注油します。

⑤すきま

⑥Y キャリッジ軸

※ ○部以外の箇所からは注油しないでください。

## エラーメッセージ (コントロールパネル) とブザー音

### ●エラーメッセージ

メッセージ	状態	対処のしかた
[E : 00]	RCS との通信異常	電源を入れ直します。
[E : 01]	初期化異常	電源を入れ直します。
[E : 02]	色替え (針替え) 異常	電源を入れ直します。
[E : 03]	針替え位相異常	「ENTER ボタン」を押します。
[E : 04]	ミシンモータロック異常	安全装置の作動により、緊急停止してから 15 秒後に表示は消えます。しばらくお待ちください。 糸がらみなどがある場合、電源を切り、不要な糸を取り除いてください。
[E : 05]	上糸切れ異常	「MODE ボタン」を押します。 電源を切って、上糸を通し直します。
[E : 06]	針設定異常	「MODE ボタン」を押して、針設定を行います。
[E : 07]	糸切り動作異常	電源を入れ直します。
[E : 08]	糸調子皿開放に伴う緊急停止異常	糸調子レバーを確認ください。
[E : 09]	上軸停止位置異常	電源を入れ直します。
[E : 11]	糸切り動作中の糸つかみモータの初期化異常	「ENTER ボタン」を押して、モータの初期化を行います。
[E : 12]	ぬいはんい設定 (丸枠等) 異常	「MODE ボタン」を押します。 枠の確認及び、ぬい位置の確認を行います。

※繰り返しエラーメッセージが表示する場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

## エラーメッセージ (コントロールパネル) とブザー音

### ●ブザー音の種類

①ピッ (キー操作音)	正常なキー操作時の音
②ピピピピ (キー操作警告音)	無効なキー操作をしたときの音
③ピピッ (色替え毎のぬい終了音)	色替えの終了時、または針番号が設定されていないときの音
④ピピッ、ピピッ (ぬい終了音)	全てのぬいが終了したときの音
⑤ピー (異常発生音)	異常が発生したときの音

# トラブルシューティング

## ●不調の原因と処置

不調の状態	原因	処置	参照ページ
スタート/ストップボタンを押しても動かない	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 電源が入っていない。</li> <li>2. 電源プラグの差し込みが不十分である。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 電源を入れます。</li> <li>2. しっかり差し込みます。</li> </ol>	<p>13 ページ</p> <p>13 ページ</p>
上糸が切れる	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 上糸が正しく掛けられていない。</li> <li>2. 針の取り付け方がまちがっている。</li> <li>3. 針が曲がっていたり、針先がつぶれている。</li> <li>4. 上糸調子が強すぎる。</li> <li>5. 糸くずがかまに詰まっている。</li> <li>6. 糸の品質が悪い。</li> <li>7. ボビンケースからスムーズに糸が出ていない。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 上糸を正しく掛け直します。</li> <li>2. 針を正しく付け直します。</li> <li>3. 針を新しいものと交換します。</li> <li>4. 上糸調子を弱くします。</li> <li>5. かまの掃除をし、注油します。</li> <li>6. 品質の良い糸と交換します。</li> <li>7. 下糸調子の調節をします。</li> </ol>	<p>18 ページ</p> <p>33 ページ</p> <p>33 ページ</p> <p>32 ページ</p> <p>86~89 ページ</p> <p>32 ページ</p>
下糸が切れる	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ボビンの入れ方がまちがっている。</li> <li>2. ボビンに糸が均一に巻かれていない。</li> <li>3. かまに糸くずがたまっている。</li> <li>4. ボビンケースに傷がある。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ボビンを正しく入れ直します。</li> <li>2. 正しく巻かれているボビンと交換、または、糸を巻き直します。</li> <li>3. かまの掃除をし、注油します。</li> <li>4. ボビンケースを交換します。</li> </ol>	<p>17 ページ</p> <p>16 ページ</p> <p>86~89 ページ</p> <p>15,17 ページ</p>
針が折れる	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 針の取り付けがまちがっている。</li> <li>2. 針が曲がっているか、針先がつぶれている。</li> <li>3. 針止めねじがゆるんでいる。</li> <li>4. 布地に対して針が細すぎる。</li> <li>5. 上糸が正しく掛けられていない。</li> <li>6. 上糸調子が強すぎる。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 針を正しく付け直します。</li> <li>2. 針を新しいものと交換します。</li> <li>3. 針止めねじをしっかりとめます。</li> <li>4. 布地に針を合わせます。</li> <li>5. 上糸を正しく掛け直します。</li> <li>6. 上糸調子を弱くします。</li> </ol>	<p>33 ページ</p> <p>33 ページ</p> <p>33 ページ</p> <p>18 ページ</p> <p>32 ページ</p>
ぬい目がとぶ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 上糸が正しく掛けられていない。</li> <li>2. 針が曲がっているか、針先がつぶれている。</li> <li>3. 針の取り付けがまちがっている。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 上糸を正しく掛け直します。</li> <li>2. 針を新しいものと交換します。</li> <li>3. 針を正しく付け直します。</li> </ol>	<p>18 ページ</p> <p>33 ページ</p> <p>33 ページ</p>

## トラブルシューティング

不調の状態	原因	処置	参照ページ
刺しゅう模様がくずれる	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 刺しゅう枠に布地が正しく張られていない。</li> <li>2. 芯地が貼られていない。</li> <li>3. 刺しゅうの大きさに対して大きい刺しゅう枠を使用している。</li> <li>4. 刺しゅう枠を正しく枠保持アームに取り付けていない。</li> <li>5. 刺しゅう枠が周辺に置いてあるものにぶつかっている。</li> <li>6. 糸がかまにからまっている。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 刺しゅう枠に布地を正しく張ります。</li> <li>2. 伸縮性のある布地や薄地には、芯地を貼ります。</li> <li>3. 刺しゅうの大きさに合った刺しゅう枠を使用します。</li> <li>4. 刺しゅう枠を正しく取り付けます。</li> <li>5. 刺しゅう範囲にはものを置かないようにします。</li> <li>6. からまっている糸をピンセットで取り除きます。</li> </ol>	<p>22 ページ</p> <p>21 ページ</p> <p>39 ページ</p> <p>23 ページ</p> <p>86 ページ</p>
ぬい目に輪（ルーピング）ができる	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 上糸調子が弱い。</li> <li>2. 糸の品質が悪い。</li> <li>3. ボビンの入れ方がまちがっている。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 糸調子を調節します。</li> <li>2. 品質の良い糸と交換します。</li> <li>3. ボビンを正しく入れ直します。</li> </ol>	<p>32 ページ</p> <p>17 ページ</p>
ぬい目にしわがよる	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 糸調子が強い。</li> <li>2. 針先がつぶれている。</li> <li>3. ボビンの入れ方がまちがっている。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 糸調子を調節します。</li> <li>2. 針を交換します。</li> <li>3. ボビンを正しく入れ直します。</li> </ol>	<p>32 ページ</p> <p>33 ページ</p> <p>17 ページ</p>
糸調子が合わない	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ボビンの入れ方がまちがっている。</li> <li>2. 上糸と下糸の通し方がまちがっている。</li> <li>3. 下糸の糸調子が合っていない。</li> <li>4. 上糸の糸調子が合っていない。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ボビンを正しく入れ直します。</li> <li>2. 糸を通し直します。</li> <li>3. 糸調子を調節します。</li> <li>4. 糸調子を調節します。</li> </ol>	<p>17 ページ</p> <p>17,18 ページ</p> <p>32 ページ</p> <p>32 ページ</p>
液晶表示画面が見えにくい	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 画面のコントラストが合っていない。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 画面のコントラスト調整をします。</li> </ol>	<p>24,69 ページ</p>
PC と刺しゅう機との通信ができない	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. USB コネクタの接続不良。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. USB コネクタを差し直します。</li> </ol>	<p>14 ページ</p>
模様の一部が消失	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 小ピッチ削除機能が働いている。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 小ピッチ削除設定値を小さくするか、OFF にします。</li> </ol>	<p>66,76 ページ</p>
PC と刺しゅう機を接続したが認識しない	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ID 番号が重複している。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ID 番号の設定をかえます。</li> </ol>	<p>64,72 ページ</p>
上糸切れの誤表示	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 小ピッチのぬいでセンサーの動きが小さい。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 糸切れ検出感度を上げます。</li> </ol>	<p>66,77 ページ</p>
ファイル名が異なるのに「・・・上書きしますか？」と表示される	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ファイルの登録番号が重複している場合には、ファイル名が異なっても表示される。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 登録番号をかえます。</li> </ol>	<p>81 ページ</p>
PC から刺しゅう機へのデータ通信に時間がかかりすぎる	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 刺しゅう機本体の内部メモリ領域の細分化による。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 刺しゅう機本体内部メモリフォーマットを行います。</li> </ol>	<p>65,73 ページ</p>

## トラブルシューティング

不調の状態	原因	処置	参照ページ
糸切れ発生時、模様 にすき間ができてし まう	1. 糸切れ時の位置合わせが合っていない。	1. 「針後進ボタン」を押して、 ぬい位置を合わせます。	62 ページ
運転中に振動、音が 大きくなる	1. 刺しゅう機の据え付け不良。 2. かまに糸くずがたまっている。 3. 油が不足している。	1. 刺しゅう機を据え付け直しま す。 2. かまの掃除をします。 3. かま、針棒、主軸等に注油し ます。	3 ページ 86 ページ 89,90 ページ
電源を入れても、正 常に動作しない または、動かない	1. 予測し得ないプログラムの誤動作。	1. 電源を切り、10 秒後電源を 入れ直します。 ※ 異常が何度も続く場合は、 お買い上げの販売店に連絡し ます。	13 ページ
異常なうなり音がし て、回転しない。 また、運転中、異臭 がする。	1. 刺しゅう機のトラブル。	1. 電源を切り、お買い上げの販 売店に連絡します。	
ぬいはんい確認で、 枠をはみ出す。 また、ぬいはんい確 認ができない。	1. ぬう位置が悪い。 2. 使用する枠が間違っている。	1. ぬい位置を直します。 2. 指定された枠を使用します。	27,62 ページ 25,51 ページ
押さえに針が当たる	1. 使用する枠を間違えた為、押さえを 変形させた。	※ お買い上げの販売店に連絡し ます。	



## 修理サービスのご案内

- お買い上げの際、販売店でお渡する保証書は内容をお確かめの上、大切に保管してください。
- 無料修理保証期間内および、それ以降の修理につきましてもお買い上げの販売店が承りますのでお申しつけください。

## 修理用部品の保有期間

- 当社は動力伝達部品、および縫製機能部品を原則として製造打ち切り後 8 年間を基準として保有し、必要に応じて販売店に供給できる体制を整えています。

## 無料修理保証期間経過後の修理サービス

- 取扱説明書に従って、正しいご使用とお手入れがなされていれば、無料修理保証期間を経過したあとも、修理用部品の保有期間内はお買い上げの販売店が有料で修理サービスをします。  
ただし、次のような場合は修理できないときがあります。
  - 1) 保存上の不備または誤使用により不調、故障または損傷したとき。
  - 2) 浸水、冠水、火災等、天災、地変により不調、故障または損傷したとき。
  - 3) お買い上げ後の移動または輸送によって不調、故障または損傷したとき。
  - 4) お買い上げ店または当社の指定した販売店以外で修理、分解、改造をしたために不調、故障または損傷したとき。
  - 5) 過度なご使用により不調、故障または損傷したとき。
- 長期間にわたってご使用された場合の精度の劣化は、修理によっても元通りにならないことがあります。
- 有料修理サービスの場合の費用は必要部品代、交通費、およびお買い上げ店が別に定める技術料の合計になります。

## お客様の相談窓口

修理サービスについてのお問い合わせやご不審のある場合は下記にお申しつけください。  
お問い合わせの際には、ミシン本体の正面、もしくは保証書にある商品名を控えてください。

## 株式会社ジャノメ

住所 〒 193-0941 東京都八王子市狭間町 1463 番地  
電話 お客様相談室 0120 - 026 - 557 (フリーダイヤル)  
042 - 661 - 2600  
受付 平日 9:00 ~ 12:00、13:00 ~ 17:00  
(土・日・祝日・年末年始を除く)  
メールでのお問い合わせは、ホームページ <https://www.janome.co.jp>  
問合せフォームをご利用ください。

### 本体仕様

- 使用電圧 100V 50/60Hz
- 消費電力 75W
- 外形寸法 幅 365mm、高さ 670mm、奥行 520mm
- 質量 21.0kg (本体のみ)
- 使用針 DB × K5Q1-NY
- 針数 7本
- ぬい速度 最大毎分 800 針、最小毎分 400 針

※仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

# JANOME